

目次

第1章	製品	3概要
1	製品紹	3介
	1.1	Active gateとは
	1.2	Active gateの機能概要 1
	1.3	Active gateの特徴
	1.4	Active gate の各機能
		1.4.1 送信拒否機能
		1.4.2 送信メールの一時保留機能
		1.4.3 添付ファイルの暗号化 (ZIP、 AES、 7-Zip等) 機能
		1.4.4 添付ファイルのwebダウンロード機能
		1.4.5 パスワードの通知方法・管理機能
		1.4.6 添付ファイル変換時の添付ファイル対象機能
	1.5	留意事項
	1.0	1.5.1 画面表示について
		1.5.2 画面表示:プレビュー機能について
		1.5.3 添付ファイル名が255文字より長いメールについて 4
		1.5.3 旅門ファイル石が255文子より後いスールについて
	4.6	1.5.6 対応ブラウザについて 5
	1.6	追加オプション「上司承認機能」について 6
		1.6.1 「上司承認機能」とは
空の幸	۸ ـ ـ	rive oote 設定
第2章	ACT	
1		管理画面へのログイン 8
	1.1	システム管理者画面へのログイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	1.2	パーソナルコントローラへのログイン12
		1.2.1 新規登録
		1.2.2 パスワードの再設定 15
2	システ	⁻ ム設定.
	2.1	Active gate サーバ設定
		2.1.1 統計情報保存期間設定
	2.2	配送メールサーバ設定
		2.2.1 配送メールサーバ 新規登録/更新
	2.3	送信設定
		2.3.1 SMTP Port設定
		2.3.2 Submission Port設定
		2.3.3 配送設定
		2.3.4 SMTP AUTH使用時の通知メール設定
		2.3.5 リレーポリシー設定 22
		2.3.6 リレー許可IPアドレス/ネットワークの設定 新規登録/更新/削除 23
	2.4	ユーザ認証サーバ設定 25
	2.1	2.4.1 ユーザ認証サーバ 新規登録/更新
		2.4.2 ユーザ認証サーバ 一覧
	2.5	LDAP サーバ設定
	2.9	2.5.1 LDAP サーバ設定
		2.5.1 LDAP リーハ設定
		2.5.3 メール配送時のユーザ管理

iv

	2.6	通知メール設定
		2.6.1 送信者向け通知メール管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2.6.1 とは自身が退却が、からは、100mm 300mm 2.6.2 受信者向け通知メール管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		2.6.3 送信者向け言語管理
		2.6.4 受信者向け種別管理 78
	2.7	管理者権限設定
	2.8	管理者設定・管理 85
	2.9	お知らせ管理
	2.10	プロパティ 85
	2.11	環境設定
		2.11.1 全体設定
		2.11.2 SMTP接続
		2.11.3 配送キュー
		2.11.4 配送SMTP接続
		2.11.5 Return Mail
		2.11.6 サーバステータス
		2.11.7 認証
		2.11.8 Web画面
		2.11.9 管理画面用設定
		2.11.10ポリシー
	2.12	パーソナルコントローラ設定99
		2.12.1 メニュー設定 95
		2.12.2 メール詳細設定
		2.12.2 パール計画設定 11. 2.12.3 管理者ポリシー表示設定 12.
2	-1 ° 1 1 > .	
3		- 設定
	3.1	システムポリシー (強制)
		3.1.1 保留ポリシー 134
		3.1.2 添付ファイル暗号化ポリシー 138
		3.1.3 webダウンロードポリシー
		3.1.4 パスワードポリシー140
		3.1.5 ヘッダ変換ポリシー142
		3.1.6 本文変換ポリシー 144
		3.1.7 通知メールポリシー
	3.2	管理者ポリシー(強制)
	3.2	
		3.2.2 保留
		3.2.3 保留詳細
		3.2.4 添付ファイル暗号化15%
		3.2.5 web ダウンロード
		3.2.6 添付ファイル対象
		3.2.7 パスワード
		3.2.8 スコア
		3.2.9 ヘッダ変換
		3.2.10 本文変換
		3.2.11 通知メール
	2.2	·—· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	3.3	グループポリシー (強制)
	3.4	ユーザポリシー
	3.5	グループポリシー (標準)184
	3.6	管理者ポリシー (標準) 184
	3.7	システムポリシー (標準)185
		3.7.1 保留ポリシー 185
		3.7.2 添付ファイル暗号化ポリシー
		3.7.3 webダウンロードポリシー
		3.7.4 パスワードポリシー
		3.7.5 ヘッダ変換ポリシー
		3.7.6 本文変換ポリシー
		3.7.7 通知メールポリシー
		3.7.8 通知メールタイムゾーン

		3.7.9 その他	100
	• •		
	3.8	条件設定	
		3.8.1 各ポリシー共通の条件設定	199
		3.8.2 「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定	204
	2.0		
	3.9	ポリシーチェイン管理	206
4	ユーザ	管理	207
	4.1	ドメイン設定	207
		4.1.1 ドメイン設定後に自動登録されるドメイングループ	211
	4.2	シングルサインオン	212
		4.2.1 シングルサインオンの設定 (Idp側への設定)	213
		4.2.2 シングルサインオンの設定 (ソフトウエア側への設定)	213
	4.0		
	4.3	DKIM設定	215
	4.4	内部外部定義	217
	4.5	グループ管理	218
	4.6	ポリシーグループ管理	220
	4.7	ユーザ設定	222
5	メル	一覧	225
	5.1	受付エラーメール一覧	225
	5.2	送信拒否メール一覧	227
	5.3	保留メール一覧	228
	5.4	承認メール一覧	230
	5.5	配送メール一覧 (メール別)	232
	0.0		
		5.5.1 メール詳細画面とは	234
		5.5.2 送信後メール詳細画面 2	237
	5.6	配送メール一覧 (宛先別)	238
	5.7	通知メール一覧	240
_			
6		ム情報	242
	6.1	サーバステータス	242
	6.2	管理者アクセス状況	244
	6.3	ユーザアクセス状況	245
	6.4	SMTPログ	246
	6.5	全設定エクスポート	247
	6.6	全設定エクスポートファイルのインポート方法	247
7		報	248
/			
	7.1	メール数統計	248
	7.2	送信者別統計	251
8	承認設'	定	253
O		7 to ty to th	253
	8.2	承認者制限設定	
	8.3	必須チェック項目	261
	8.4	承認ポリシー	262
	0.1	8.4.1 システムポリシー(強制)	262
		8.4.2 管理者ポリシー(強制)	263
		8.4.3 グループポリシー (強制)	266
		8.4.4 承認者ユーザポリシー設定	266
		8.4.5 グループポリシー (標準)	266
		8.4.6 管理者ポリシー (標準)	266
		8.4.7 システムポリシー (標準)	267
		8.4.8 承認ポリシー条件設定	273
	8.5	承認者個別設定	274
	0.5		
		8.5.1 被承認者管理	274
		8.5.2 不在設定	276
		8.5.3 代理者設定	278
		8.5.4 承認通知メール設定	280
	0.6		
	8.6	インポート・エクスポート....................................	282
付録A	Activ	ve <mark>l</mark> gateの運用に際して	285
1		・ ス起動・停止・稼働確認手順	285
2	フガ郷		200

	2.1 ログの出力先	8
	2.2 ログファイルの内容 28	8
	2.3 ログレベルの変更方法	9
3	バックアップ及びリストア 29	0
	3.1 データベースのバックアップ 29	0
	3.2 その他データのバックアップ	0
	3.3 データベースのリストア	1
	3.4 その他データのリストア	2
4	条件設定の補足 29	3
	4.1 添付ファイルのキーワード検索について	3
	4.2 添付ファイルの暗号化について 29	4
	4.3電話番号の判定基準について	7
/ I 43 D		_
付録B	コマンドリファレンス 29	-
1	ag_export	9
2	ag_import	0

第1章

製品概要

1 製品紹介

1.1 Active gateとは

電子メールを利用したコミュニケーションの頻度は益々増えていく状況の中、電子メール利用者による情報漏洩に対する対応は今日において必要不可欠なものとなって参りました。しかし電子メールの利用頻度やその特性上、管理者による管理は非常に困難な事も事実です。このような状況においてActive gate はゲートウェイ上で様々なポリシー設定により、流通する電子メールの監査・管理を実行し、電子メールの門番的役割を果すメールセキュリティー製品です。

送信メールの個々の内容を精査し、一時保留や添付ファイルの暗号化、メール本文と添付ファイルの分離、送信拒否といったメール送信の際の情報漏洩や誤送信防止を行う為の様々な処理を管理者やユーザが柔軟に設定する事が可能です。また、ご利用するユーザはウェブブラウザから個人専用の管理画面を使用し、メールの配送状況の確認や、保留ポリシー、zip暗号化等設定を行う事が可能です。

1.2 Active gate の機能概要

- 送信拒否機能
- 送信メールの一時保留機能
- 添付ファイルの暗号化機能
- メール本文と添付ファイルの分離機能
- 添付ファイル変換(添付ファイルの暗号化、添付ファイルの分離)の対象/非対象を設定する機能
- ヘッダ変換機能(Bcc変換/Date変換)
- 各機能で登録したポリシーの優先度設定機能
- Webブラウザを使用した各個人専用の管理画面 (パーソナルコントローラ)による送信メール管理

1.3 Active gate の特徴

- 保留になった場合、通知メールを送信者に通知する事が可能
- 本当に送信してよいかの最終判断を本人がする為、監査する人が不要
- ●「宛先間違い」「大量宛先への一斉配信」「添付ファイル漏洩」「うっかりミス」を阻止
- 個人ごとに自分で必要なポリシーを作成する事が可能。監査ポリシーの作成が必須ではない。
- 宛先に社内がある場合、社内へ先に送信する事が可能。社外に送信する前にミスに気付く事ができる
- 管理者の権限により強制処理(送信拒否等)を監査的なポリシーの作成が可能
- 管理者によるポリシー設定とユーザによる設定が柔軟に選択可能

1.4 Active gate の各機能

Active gate に実装された各機能を簡単にご紹介致します。

1.4.1 送信拒否機能

メールの送信自体の拒否を管理者の条件設定により行う事ができます。送信拒否はユーザによる設定は 行えません。管理者による情報漏洩対策として強制的な処理として設定する事が可能です。

【送信拒否】

管理者画面ポリシー設定の「送信拒否」にて管理者が設定した条件によりメールの送信自体を拒絶する事が可能です。

【送信拒否の通知方法】

送信拒否された場合、送信拒否の通知を送信者に通知するか、しないかを選択する事が可能です。

【監査機能】

送信拒否されたメールを別の宛先(第三者)に通知する事も可能です。例えば送信拒否の通知を 送信者には通知せず、別の宛先(監視者)に通知する事により、監査機能として企業の内部統制 強化を行え強固なセキュリティを確保します。

1.4.2 送信メールの一時保留機能

送信するメールの保留条件の設定や、配送についての設定を行います。保留機能についてはユーザが独 自でポリシーを作成し行う事が可能です。ユーザ独自の設定を行わせない事も可能です。管理者による 設定に全て従わせる事も可能です。

【送信メールの保留】

管理者やユーザが「保留ポリシー」より設定した条件により、メールを一定期間保留する事が可能です。保留期間は任意に設定する事ができ、一定時間経過後、保留されたメールは「自動送信」または「自動削除」します。また、様々な条件によって特定の宛先のみ保留せずに送信するポリシーも可能です。

【保留されたメールの配送】

送信者はwebブラウザを使用し個人専用の管理画面(パーソナルコントローラ)から保留されたメールの宛先・本文・添付ファイル等を確認して配送する事が可能です。また、メールが保留された場合に送信者への通知メールから、ワンタイムURLを通して確認や配送する事も可能です。

メールの本文は1000行が上限で表示確認ができます。1000行を超えた部分は表示されません。

【リマインダー機能(通知メール)】

保留されたメールの存在を通知する、通知メールのリマインダー機能により、保留メールの処理忘れを防止する事が可能です。通知メールのリマインダーとして回数や間隔を任意に設定します。

1.4.3 添付ファイルの暗号化 (ZIP、AES、7-Zip等)機能

添付ファイルをパスワード付きのファイルに自動変換し送信します。自動変換されたファイル名は無意味なものを使用する為、元の添付ファイル名に個人情報等が記載されていた場合でも、情報を保護する事ができます。

【添付ファイルの暗号化】

管理者やユーザが「添付ファイル暗号化ポリシー」にて設定した条件により、添付ファイルをパスワード付きの暗号化ファイルにまとめて送信する事が可能です。添付ファイル暗号化後の拡張子を指定したものに変える事も可能です。またお客様独自の暗号化ソフトを入れる事も可能です。

1.4.4 添付ファイルのwebダウンロード機能

メール本文と添付ファイルを分離し添付ファイルのみをサーバに保存し、ダウンロードURLを通知、パスワードを通知する事により、宛先以外にファイルが漏洩する事を防ぐ事ができます。

【添付ファイルの分離】

管理者やユーザが「webダウンロードポリシー」にて設定した条件により、添付ファイルを分離し、本文のみを送信する事が可能です。分離された添付ファイルはサーバ上に保存します。メール受信者は、メールごとに配信されるダウンロードURLが記載された通知メールのURLにアクセスする事で、サーバにアクセスします。保存されている添付ファイルはパスワード認証によりダウンロードする事ができます。

【添付ファイルの管理】

サーバ上に分離された添付ファイルは送信者が任意に削除・ロックする事が可能です。またダウンロード可能な日数を設定・変更する事も可能です。受信者がダウンロードした場合、ダウンロード履歴が残り、確認する事もできます。

1.4.5 パスワードの通知方法・管理機能

上記の【添付ファイルの暗号化機能】【添付ファイルのwebダウンロード機能】において設定されるパスワードの通知方法やパスワードの管理を行います。

【パスワードの通知方法】

パスワード付きの暗号化ファイルを解除させるパスワードや、webダウンロード機能にて使用するパスワードの通知方法は「パスワードポリシー」画面から設定をする事ができます。パスワードが記載された通知メールを送信者と宛先いずれか、または両方、もしくは通知しないかを選択する事が可能です。パスワード通知を宛先に設定した場合でも「パスワード通知保留期間設定」によりパスワード通知を配送するまでの時間を自由に設定できます。これによりパスワード通知を配送する前に破棄する事が可能です。

【パスワードの管理】

送信者はwebブラウザを使用し個人専用の管理画面(パーソナルコントローラ)からもパスワードを確認したり設定・変更する事ができます。管理者やユーザが宛先別にパスワードやヒントを管理可能で、毎回 Active gate 上でランダムなパスワードも生成可能です。

1.4.6 添付ファイル変換時の添付ファイル対象機能

上記の添付ファイル変換 (【添付ファイルの暗号化】 (【添付ファイルのwebダウンロード機能】) の際に、どの添付ファイルを対象 / 非対象とするかを管理者やユーザが設定する事が可能です。

【添付ファイル変換時の対象設定】

管理者やユーザが「添付ファイル対象ポリシー」にて設定した条件により、どの添付ファイルを添付ファイル変換の対象 / 非対象とするかを細かく設定する事が可能です。例えば、あるキーワードを含むファイル名のみを添付ファイル変換の対象とさせたり、逆にすでに暗号化されているファイルは添付ファイル変換の対象から除外する事も可能です。対象から外された添付ファイルは、通常通りメールに添付します。

1.5 留意事項

Active gate が提供するwebインターフェース(システム管理者画面/パーソナルコントローラ画面) 他、Active gate システムでの制限事項について以下ご留意下さい。

1.5.1 画面表示について

Active gote のシステム管理者画面及びパーソナルコントローラ上で表示されるメールアドレス/ドメイン名は配送メール一覧を除き全てheader-to/cc/bcc, header-from が対象となります。(自動ユーザ登録機能にて登録されるユーザはメールのenvelope-from が対象となります。)また、メール詳細画面での本文表示は上限が1000行となり、これを超える部分は表示されません。

1.5.2 画面表示: プレビュー機能について

添付ファイルプレビュー機能で表示可能なファイル形式は以下の通りです。但し、お客様の環境にて使用するアプリケーションの種類・変更によっては正しく表示しない場合があります。プレビューが上手く表示しない場合、ファイルをダウンロードしてご確認下さい。

アプリケーション	ファイル形式 (拡張子)
Microsoft Office 97 ~ 2003	Word (.doc) Excel (.xls) PowerPoint (.ppt)
Microsoft Office 2007、2010	Word (.docx), Excel (.xlsx), PowerPoint (.pptx)
PDF	Adobe Acrobat PDF (.pdf)
OpenOffice.org 1.x	Writer (.sxw), Calc (.sxc), Impress (.sxi)
OpenOffice.org 2.x / 3.x	Text (.odt), Spreadsheet (.ods), Presentation (.odp)
画像ファイル関係	(.bmp) (.wbmp) (.gif) (.jpg) (.jpeg) (.png) (.tif) (.tiff)

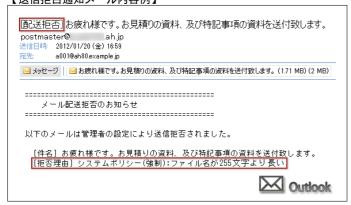
1.5.3 添付ファイル名が255文字より長いメールについて

Active gate では、メールの添付ファイル名が255文字より長い場合、強制的に送信拒否となります。 全角/半角文字の区別はなく、拡張子を含めます。)

その場合、管理者画面では「メール一覧」-「送信拒否メール一覧」のポリシー欄に、パーソナルコントローラ画面では「メール一覧」のステータス欄にそれぞれ"システムポリシー(強制):ファイル名が255文字より長い"と表示します。



【送信拒否通知メール内容例】



上記の様な送信拒否の通知メールを送信者が受け取った場合、お手数ですが、該当の添付ファイルのファイル名を255文字以下に修正し再度送信をお願い致します。

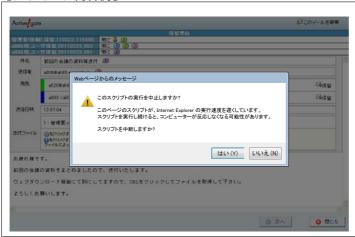
送信拒否の際、送信者宛てに配送される通知メールに送信拒否の理由(ポリシー名)を記載する事も可能です。詳細は、後述31ページ:「送信拒否に対する通知メール」を参照して下さい。

1.5.4 保留詳細画面でのInternet Explorerのスクリプト制限について

パーソナルコントローラの保留詳細画面では各宛先や、件名、本文、添付ファイル等、メール情報の全てを表示します。その際、宛先が多い場合、表示する為に一定の時間がかかってしまう場合があります。

Internet Explorerの一部のバージョンでは、一定量のスクリプトが発生し、実行(表示)に時間がかかる場合、実行の継続の承認を求めるメッセージが表示される場合があります。(下図参照)

【メッセージ内容例】



上記メッセージが表示された場合「はい」を選択してしまうと、読み込み中のスクリプトが停止し、保留詳細画面の表示を行わなくなります。上記メッセージが表示された場合「いいえ」を選択し、スクリプトを停止せず実行を続けて下さい。

一定時間経過後、操作が継続できない場合はお手数ですが Internet Explorer 以外のブラウザからアクセス頂きます様お願いします。

1.5.5 自由定型文/ウィルス定型文の文字数制限について

Active gate のポリシー設定にある自由定型文 / ウィルス定型文で1行にて全角で493文字以上、半角で986文字以上で設定した場合、メール本文ではSMTPの仕様により上記文字数以降は文字が化けて表示される場合があります。1行の入力文字数に制限はございませんが、最大でも1行100文字前後で入力される事を推奨します。文章全体としての最大入力文字数は1024文字までとなっています。

1.5.6 対応ブラウザについて

対象ブラウザ	対応状況	
Windows Internet Explorer	WindowsOSのみサポート対応ブラウザ 1	
Mozilla Firefox	WindowsOSおよびMacOS共にサポート対応ブラウザ	1
Google Chrome	WindowsOSおよびMacOS共にサポート対応ブラウザ	1
Safari	MacOSのみサポート対応ブラウザ 1	



注音

1 ブラウザのバージョンについては、Active gote の各バージョンをリリースする時点においての最新バージョンのブラウザでのみ動作確認をしております。動作確認を実施したバージョン以外のバージョンのブラウザでの動作不具合が確認された場合、随時不具合修正の対応を致しますが、動作確認を実施したバージョンより以前にリリースされたバージョンのブラウザに関しましては、制限事項が発生する事がございます。動作環境の詳細最新状況については、下記URLをご参照下さい。

http://www.qualitia.co.jp/product/ag/spec.html

1.6 追加オプション「上司承認機能」について

画面メニュー及び各設定項目については、追加オプション「上司承認機能」の付加により本マニュアルに記載の画面情報と異なる場合があります。

1.6.1 「上司承認機能」とは

ユーザ(被承認者)が送信したメールの確認や添付ファイルのチェック等を第三者(承認者)が行い、承認者の承認後にメールを送信させる機能です。上司承認オプションを追加すると、管理者画面、パーソナルコントローラ画面に新たなメニュー「承認設定」や、「承認通知メール管理」、「承認者としての統計情報」等が追加される他、被承認者、代理者、不在代理者の設定、承認に関するポリシー等、様々な設定が可能になります。

通常時の機能に加え、「上司承認機能」を使用する事で、『情報漏洩』と『うっかりミス』の徹底防止をより一層強化しながら、ビジネスを中断しない高い柔軟性を確保したメール管理が可能となります。

【上司承認機能】の機能概要

- ユーザ(被承認者)が送信したメールの確認や添付ファイルのチェックを行う「承認者」の設定
- 承認者が出張や長期不在時に、設定された期間のみ代理承認をする「不在代理者」の設定
- 承認者の急な不在等で一定時間内に承認しなかった場合、代理承認をする「代理者」の設定
- メールチェックの際に、必ず確認しなければならない項目を設定する「必須チェック項目」の設定
- 承認依頼や不在代理者等の設定時、自動でお知らせメールを配送してくれる、「承認通知メール」の設定
- 承認者のメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信する事ができる「承認者をCc/Bccに追加」の 設定
- 上記の柔軟な管理を補助する「承認ポリシー」の設定

第2章

Active gate 設定

Active gate にはシステム全体の設定を行う為の管理者用『システム管理者画面』と各ユーザが使用する『パーソナルコントローラ画面』の2つの管理画面を提供しています。各画面での操作に際しブラウザを使用しログイン認証を行う必要があります。順を追って各画面の説明と必要な入力項目等をご説明致します。



パーソナルコントローラ側の各設定や各画面の詳細については、パーソナルコントローラ画面右上部【ヘルプ】を参照して下さい。こちらでは管理者画面、パーソナルコントローラ画面のログイン方法のみ記載します。

1 web管理画面へのログイン

Active gate が提供する2つの管理画面へはブラウザを使用しIDパスワードの認証を経てログインします。

1.1 システム管理者画面へのログイン

次のURLをブラウザに入力してログインします。

[URL] http(s^a)://ServerName^b/gate/admin.igm/login

- ⁴ インストールと同時にSSLサーバ証明書に関する設定を済ませている場合、HTTPSプロトコルで接続できます。
- ^b ServerNameは Active gate が動作するサーバ名です。

【新規インストール時 又は 再インストール時のシステム管理者ログイン画面】



- 【管理者のログインID】
 - 管理者ログインIDを入力します。
- ② 【ログインパスワード】 パスワードを入力します。



入力できるパスワードの長さ:最低4文字 ~ 最長1024文字

使用可能文字列:[0-9][a-z,A-Z]['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/¥"]

- ◯ 【ログインパスワード(確認)】
 - 確認の為、再度パスワードを入力します。
- 【登録ボタン】
 ボタンをクリックする事で、管理者の設定が確定され、管理者画面へ移行します。



【全設定インポート】

Active gate では万が一のシステム障害に備え、管理者画面にて行った設定をデータファイルとして管理する事が可能です。これを【全設定エクスポート】と呼び、管理者画面の【システム情報ー全設定エクスポート】にてインポート用のデータファイルを生成できます。

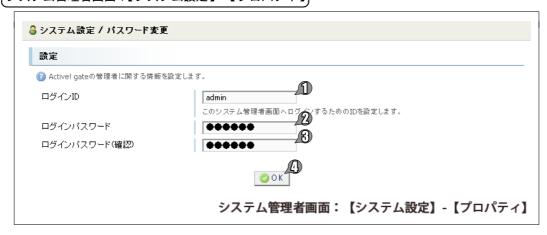
新規インストール時、又は、再インストール後に全設定インポート部にて生成したデータファイルを読み込む事で、即時にシステム設定等を復元した状態から開始する事が可能です。

詳しい説明につきましては、後述の「全設定エクスポート」を参照して下さい。

初回ログイン後は直ちにログインID/パスワードを下記設定画面より設定して下さい。

初回画面にて設定したログインID/パスワードでも次回からログイン可能ですが、機密保持の為、再設定する事をお勧めします。

システム管理者画面:【システム設定】-【プロパティ】





管理者ログインIDを入力します。

2

【ログインパスワード】 パスワードを入力します。



メモ

入力できるパスワードの長さ:最低4文字 ~ 最長1024文字

使用可能文字列:[0-9][a-z,A-Z]['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/¥"]

【ログインパスワード(確認)】

│ 確認の為、再度パスワードを入力します。

○ 【 ○ K ボタン 】

ボタンをクリックする事で、管理者の設定が確定します。

初回ログインが済むと、次回から下記の様なログイン画面に変更します。 通常時はこちらの画面からログインする事になります。

【通常時のシステム管理者ログイン画面】



【ログインID】

管理者ログインIDを入力します。

【システム設定】-【プロパティ】で設定したログインIDを入力して下さい。

(パスワード)

管理者専用のログインパスワードを入力します。

【システム設定】-【プロパティ】で設定したパスワードを入力して下さい。

【言語選択】

ログイン後に表示される画面の言語を選択します。自動選択の場合、使用するブラウザにて設定されている言語の、優先順位が高い言語から参照します。

【 回グイン ボタン】

管理者画面にログインします。

[English]

ログイン画面の表示を英語形式にします。

管理者画面へのログイン時、最初に表示される画面です。ここから各機能の設定を行います。 機能の詳しい説明につきましては、後述の各章を参照して下さい。

【システム管理者ログイン後の画面】



【管理者名(権限)】

現在ログインしてる管理者名と権限を表示します。権限によって表示されるMENUや各機能が変わります。



ナト

各権限の設定につきましては後述の【システム設定】-【管理者権限設定】と【システム設定】-【管理者設定・管理】を参照して下さい。

- (MENU)
 - 管理者画面のMENU部です。ここから各機能の設定画面へ移動します。
- 【各機能の設定画面】 管理者画面のMENU部から各機能を呼び出した際に表示します。 各機能やポリシーの設定を行います。
- 【設定反映がタン】
- 各機能やポリシー等を設定した際にサーバに情報を反映させる場合、使用します。
- 「マニュアルボタン】 管理者の各機能やポリシーについてのマニュアル (PDF) がプレビューできます。
- 「ログアウトボタン】
 - │ 管理者画面からログアウトします。

1.2 パーソナルコントローラへのログイン

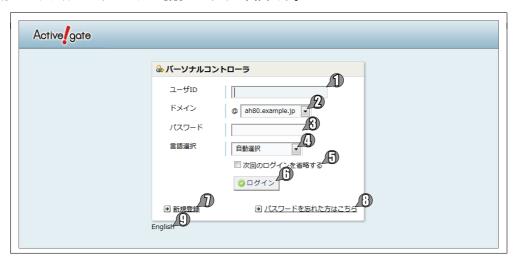
パーソナルコントローラとは、各ユーザ専用の設定管理画面です。メールサーバのPOP3/IMAP認証またはLDAP認証、 Active gote に登録した独自認証方式を用いて、次のURLをブラウザに入力してログインします。

[URL] http(s^a)://ServerName^b/gate/pc.igm/login

- "インストールと同時にSSLサーバ証明書に関する設定を済ませている場合、HTTPSプロトコルで接続できます。
- ^b ServerNameは Active gate が動作するサーバ名です。

ログイン後の操作については、パーソナルコントローラ画面右上部【ヘルプ】を参照して下さい。

下記がパーソナルコントローラの最初のログイン画面です。



- 【ユーザID】
 - ユーザのメールアドレスの@より前の部分を入力します。
- 【ドメイン】
 ユーザのメールアドレスの@より後の部分をドロップダウンリストから選択します。
 [ドメイン]選択を非表示にする事も管理者画面の【パーソナルコントローラ設定】 【メニュー設定】の「ログインタイプ」から選択可能です。
- 【パスワード】
 - ✓ 設定された認証方式にあるパスワードを入力します。
- 【言語選択】

 ログイン後に表示される画面の言語を選択します。自動選択の場合、使用するブラウザにて設定されている言語の、優先順位が高い言語から参照します。
- 【次回のログインを省略する】
- ログイン情報をキャッシュします。

 【 ②ダイン ボタン 】
- (プログログラン) パーソナルコントローラ画面にログインします。
- 【新規登録】
 - ユーザ登録用ボタン

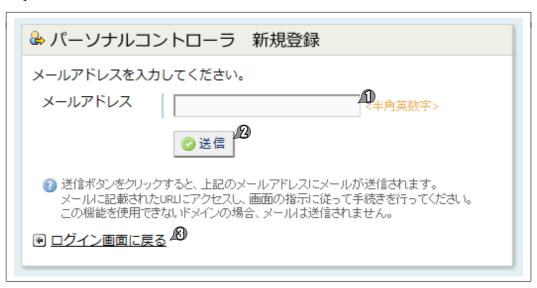
(パーソナルコントローラの認証が"パスワード"以外の場合、表示されません。)

- クリックする事により、[パスワードの再設定] 画面を表示します。(パーソナルコントローラ の認証が " パスワード " 以外の場合、表示されません。)
- English 】ログイン画面の表示を英語形式にします。

【パスワードを忘れた方はこちら】

1.2.1 新規登録

前述パーソナルコントローラ画面の「新規登録」をクリックする事により、[パーソナルコントローラ新規登録] 画面を表示します。

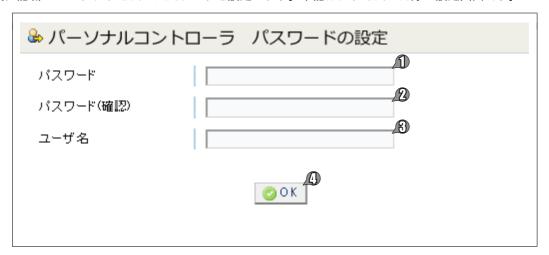






【 Active gate 新規登録のお知らせ】

前述で設定されたメールアドレスに「Active gate 新規登録のお知らせ」メールが送信されてきます。本文に記載のURLにアクセスしパスワードを設定します。下記はアクセスした際の設定画面です。



【パスワード】

パスワードを入力します。



メモー

認証方式:「パスワード」で設定している場合。

入力できるパスワードの長さ:最低4文字 ~ 最長256文字

使用可能文字列: [0-9] [a-z,A-Z] ['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/*"]

(パスワード(確認))

確認の為、再度パスワードを入力します。

【ユーザ名】

Active gate 内での表示にのみ使用し、実際のメールの内容には影響しません。(但し、承認済定型文で指定した場合を除く)設定は任意で、ユーザ自身で設定・変更が可能です。メールアドレスだけでは分かりにくい場合、設定を行って下さい。

入力できる長さ:最低0文字 ~ 最長255文字

OKボタンのクリックでユーザの登録と同時にパスワードが設定します。



メモ

上記設定で新規登録が完了します。

再びログイン画面から「ユーザID」「ドメイン」、設定した「パスワード」を指定しパーソナルコントローラへログインして下さい。

1.2.2 パスワードの再設定

パスワードを忘れてしまった場合について記載します。

前述パーソナルコントローラ画面の「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックする事により、[パスワードの再設定] 画面を表示します。



【メールアドレス】

パスワードの再設定を行いたいユーザ名(メールアドレス)を入力します。

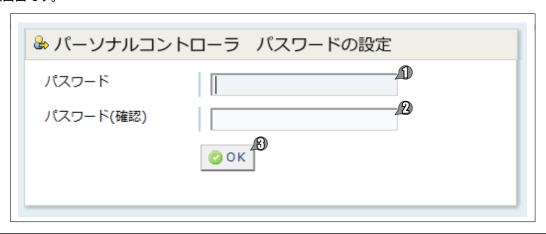
(送信)ボタン】

送信ボタンをクリックしてユーザ(上記メールアドレス)にメールを送信します。

(ログイン画面に戻る)

ログイン画面に戻ります。

前述で設定されたメールアドレスに「 Active gate パスワード設定・変更のお知らせ」メールが送信され てきます。本文に記載のURLにアクセスし、パスワードを再設定します。下記はアクセスした際の再設 定画面です。



【パスワード】

パスワードを入力します。



認証方式:「パスワード」で設定している場合。

入力できるパスワードの長さ:最低4文字 \sim 最長256文字

使用可能文字列:[0-9][a-z,A-Z]['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/\#"]

【パスワード(確認)】

確認の為、再度パスワードを入力します。

【OKボタン】

OKボタンのクリックでパスワードの再設定が反映します。



一度パスワードの再設定を行うと、パスワードが上書きされる為、前のパスワードではログインできなくなり ます。

O

ボタンをクリック後、再びログイン画面から「ユーザID」「ドメイン」、再設定した「パスワー ド」を指定しパーソナルコントローラへログインして下さい。

2 システム設定

システム管理者画面【システム設定】

ここからは管理者画面での Active gote サーバやその他関連するサーバのネットワーク情報や環境設定等を含めた基本設定を行います。

2.1 Active gate サーバ設定

システム管理者画面【システム設定 】【A!g サーバ設定】

Active gate が動作するサーバの、統計情報や動作ログ等の保存期間について設定します。

2.1.1 統計情報保存期間設定

ログ・メール一覧・統計情報の保存期間を設定します。



【統計保存期間】

「統計情報」の保存期間を設定します。

② 【ログ・メール一覧保存期間】

ログ・メール情報の保存期間を設定します。

対象は/usr/local/active/gate/var/logs/以下のログ、及びメール一覧を含めたメールデータ保存の共通設定となります。

【最大webダウンロード可能期間】

添付ファイルを分離させwebダウンロード化機能をご利用する場合のwebダウンロード可能な期間を設定します。

ログ・メール一覧保存期間より短くしか設定できません。

【承認済メールの保存期間】

「承認済みメール」の保存期間を設定します。

[**OK** ボタン]

設定の確定。(設定の反映には画面右上部の **表現** ボタンをクリックする必要があります。)

2.2 配送メールサーバ設定

システム管理者画面:【システム設定 】 【配送メールサーバ設定 】

Active gate から通知メール等を配送するメールサーバを設定します。予めご利用される登録ドメインと 紐付けて、この配送メールサーバを登録する必要があります。この配送メールサーバを送信メールのリレー先サーバとして使用する事も可能です。

設定後、「システム設定」-「送信設定」にある[配送設定]の項目、及び「ユーザ管理」-「ドメイン設定」にある「配送メールサーバ」の項目にここで設定された配送メールサーバが出力され、選択できる様になります。

2.2.1 配送メールサーバ 新規登録/更新



- 【IPアドレス/サーバ名】
 - 配送するメールサーバのIPアドレスまたはサーバ名を設定します。
- ② 【ポート】 配送メールサーバの受信するポート番号を指定します。
- (追加 ボタン)

【 ▼ /1: ページ】

- 登録します。
- 【 更新 ボタン 】 一覧から選択した設定内容を更新します。
- (キャンセルボタン) 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。
- 【一覧】
- 登録された配送メールサーバの一覧を下の画面に表示します。 【 削除 ボタン】
- 一覧からサーバを選択して削除を行います。
- 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

2.3 送信設定

システム管理者画面【システム設定】【送信設定】

Active gate を使用するメールの送信環境に関する設定を行います。

2.3.1 SMTP Port設定





メールの送信にSMTP Portを使用する際に設定します。

使う SMTP Portを使用する。 使わない SMTP Portを使用しない。

の 【ポート】

ポート番号を設定します。

(SMTP AUTHの使用)

外部への送信を許可する為の認証方法としてSMTP AUTHを使用し個人毎に認証します。 SMTP AUTHの認証はドメイン毎に設定した認証サーバやユーザ毎に設定したパスワードを 使用します。

使う SMTP AUTHを使用する。 使わない SMTP AUTHを使用しない。

【SMTP AUTHを必須とする】

SMTP AUTHを必須としてそれ以外の接続は許可しません。

2.3.2 Submission Port設定



「 【Submission Portの使用】

メールの送信にSubmission Portを使用する際に設定します。

使う Submission Portを使用する。 使わない Submission Portを使用しない。

(ポート)

ポート番号を設定します。

SMTP AUTHの使用】

外部への送信を許可する為の認証方法としてSMTP AUTHを使用し個人毎に認証します。 SMTP AUTHの認証はドメイン毎に設定した認証サーバやユーザ毎に設定したパスワードを 使用します。



SMTP AUTHを使用する際の認証IDはlocal-partのみでは認証IDとして認められません。必ずドメイン付き(userid@domain)を認証IDとしてメールクライアントを設定する必要があります。また、登録された認証サーバ(POP3/IMAP/SMTP-AUTH/LDAP)で認証を行う場合、その認証方式にドメイン付き(userid@domain)で認証を行う設定で登録されている必要があります。

2.3.3 配送設定

送信メールの配送に関する設定を行います。

配送先にDNSを参照するか、登録済みの配送メールサーバにするか等の設定を行います。この場合の配 送とは、通知メール等の配送ではなく、 Active gate を使用する外部宛 (未登録ドメイン宛) の送信メー ルを意味します。





配送方法をいずれかから選択します。

DNSを参照して直接配送する

配送先をDNSを参照して決定します。参照するDNSサーバはOSの設定に依存します。

配送メールサーバを使用する

「配送メールサーバ設定」で登録されたメールサーバへリレーします。下記に表示され る登録済みのチェックボックス(配送メールサーバ一覧)から選択します。

チェックボックス (IPアドレスまたはサーバ名:ポート番号)

リレーさせたいサーバを選択します。複数の配送メールサーバを選択した場合、毎回ラ ンダムに選択され配送します。

A

【SMTP AUTHを使用して接続する】

配送メールサーバへSMTP AUTHを使用して配送します。

配送メールサーバを使用時のみ設定可能です。

(R)

【START TLS/SSLの使用】

使う 配送時にSTART TLS/SSLを使用する。 使わない 配送時にSTART TLS/SSLを使用しない。

2.3.4 SMTP AUTH使用時の通知メール設定



😰 の【SMTP AUTHを使用して接続する】 にチェックを入れると下記メッセージボックスが現われます。



「OK」をクリックする事で、SMTP AUTH 時の通知メール設定の項目が現われます。 下記で設定項目について記載します。



【Fromアドレス】

通知メールをSMTP AUTHにて配送する際に使用するFromアドレスを設定します。



【認証ID】

認証用のIDを設定します。



【認証パスワード】

認証用のパスワードを設定します。

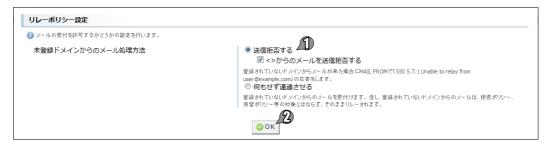


【認証パスワード(確認)】

確認の為、再度パスワードを入力します。

2.3.5 リレーポリシー設定

条件によって送信メールの受付を許可するかしないかの設定を行います。





【未登録ドメインからのメール処理方法】

送信元が未登録ドメインからの場合その処理方法を設定します。

送信拒否する

登録されていないドメインからメールが来た場合にMAIL FROMで「550 5.7.1 Unable To relay from user@example.com」の応答を行います。

✓ < > からのメールを送信拒否する

空のアドレス <> からのメールを送信拒否するかどうかを設定します。

何もせず通過させる

登録されていないドメインからのメールのリレーを許可します。 但し、拒否ポリシー、保留ポリシー等の対象となりません。



【OKボタン】

設定の確定(設定の反映には画面右上部の限分表のでは、ボタンをクリックする必要があります。)

2.3.6 リレー許可IPアドレス/ネットワークの設定 新規登録/更新/削除外部への送信を許可する為の認証方法としてIPアドレスを指定します。ここに含まれるIPアドレスからのメールは外部への送信が許可します。 【新規登録】及び【更新/削除】の際の設定方法を分けてご説明します。

【新規登録について】



【IPアドレス/ネットワークアドレス】

【追加ボタン】

- 許可するIPアドレス/ネットワークアドレスを入力します。
- 入力した情報を登録します。設定の反映には画面右上部の**設定**反映 ボタンをクリックする必要があります。
- (表示)
- ① で登録した許可IPアドレス/ネットワークアドレスを一覧で表示します。
- 【 ▼ /1:ページ】

 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

【更新と削除について】



【IPアドレス/ネットワークアドレス】

①の様に【送信許可IPリスト一覧】から更新を行いたいIPアドレスを選択すると、そのIPアドレスを表示します。IPアドレスの変更を行なって下さい。

(追加 ボタン)

更新時には押せません。

[更新 ボタン]

●のIPアドレスを変更し、更新ボタンを押す事で、登録されているIPアドレスを更新します。 設定の反映には画面右上部の『野園の ボタンをクリックする必要があります。

【キャンセルボタン】

更新処理を解除し、新規登録の画面に戻ります。

【送信許可IPリスト】

更新を行いたいIPアドレスをクリックして下さい。画面上部のタイトルが[新規登録]から[更新]に切り替わります。

【削除がタン】

送信許可IPリスト一覧より削除を行いたいIPアドレスがある場合、IPアドレス左にある V (チェックボタン)をクリックして下さい。複数選択が可能です。チェック後 削除 ボタン を押す事で、不要なIPアドレスを消去します。新規登録画面からも行えます。



メモ

他画面での【新規登録】及び【更新/削除】の際の設定方法やボタンの切り替わりは同一です。以降の画面説明の際の詳しいご説明は省略させて頂きます。

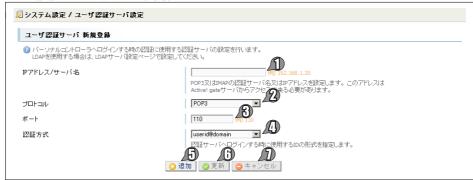
2.4 ユーザ認証サーバ設定

システム管理者画面【システム設定】【ユーザ認証サーバ設定】

パーソナルコントローラへログインする際の認証に使用する、認証サーバの登録・設定を行います。また、送信時のSMTP AUTHの認証先としてもご利用可能です。

認証にLDAPを使用する場合、「LDAPサーバ設定」画面で設定して下さい。

2.4.1 ユーザ認証サーバ 新規登録/更新



【IPアドレス/サーバ名】

認証する認証サーバのIPアドレスまたはサーバ名を設定します。

の【プロトコル】

認証サーバで使用するプロトコルを指定します。

- POP3
- IMAP
- SMTP-AUTH
- (ポート)
 - 接続するポート番号を設定します。
- 【認証方式】

認証に使用するIDの形式を指定します。

- userid
- userid@domain

SMTP AUTHを使用する場合、userid@domain形式を選択する必要があります。

- 「追加」ボタン】
- | 登録します。
- 「野かぶタン】
 - 一覧から選択した設定内容を更新します。
- ① 【キャンセル ボタン】 更新処理を解除し、新規登録の画面に戻ります。
- 2.4.2 ユーザ認証サーバ 一覧



登録された認証サーバを一覧で表示します。



-覧からサーバを選択して削除を行います。複数選択可能です。



【 ▼/1:ページ】

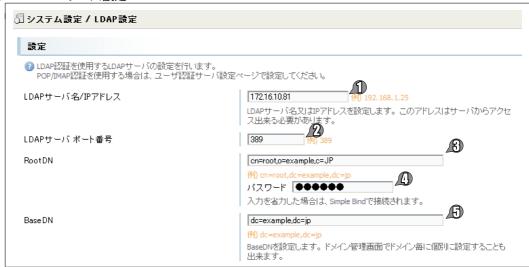
登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

2.5 LDAP サーバ設定

システム管理者画面【システム設定】【LDAP サーバ設定】

LDAP 認証を使用するLDAP サーバの設定を行います。POP/IMAP 認証を使用する場合、「ユーザ認証サーバ設定」画面で設定して下さい。メール送信の受付時にメールの送信者アドレスが存在しているかの確認に使用する事も可能です。また、ユーザ認証サーバと同様、送信時のSMTP AUTH の認証先としてもご利用可能です。

2.5.1 LDAP サーバ設定



【LDAP サーバ名/IP アドレス】

LDAPサーバ名又はIP アドレスを設定します。このアドレスは Active gote サーバからアクセスできる必要があります。

- 【LDAP サーバ ポート番号】
 - LDAP サーバのLDAP ポート番号を入力します。
- [RootDN]
 - RootDN に指定する識別名とパスワードを設定します。
- (パスワード)
- RootDN での認証に使用するパスワードを入力します。省略した場合、シンプルバインドが使用します。

 (BaseDN)
- BaseDN に該当する識別名を設定します。(「ドメイン設定画面」でドメイン毎に個別に設定する事もできます。)

2.5.2 パーソナルコントローラのログイン認証



【パーソナルコントローラのログイン認証でLDAP を使用】

パーソナルコントローラのログイン認証にLDAPに登録されたデータを使用するかどうかを設定します。

する ログイン認証にLDAP を使用します。 しない LDAP を使用しません。

(検索クエリ)

パーソナルコントローラのログイン時に入力されるID/パスワードによりユーザ情報を検索するクエリを設定します。結果が存在した場合、ログイン可となります。クエリ中で使用可能なマクロ変数は以下の通りです。

- %id ログイン画面に入力したID
- %mail ドメイン部分を補ったメールアドレス

【認証方法】

パスワードの認証方法を設定します。使用できる認証方法は下記の3つです。

Bindを使用 認証にbindを使用します。アクティブディレクトリを使用する場合、これを選択して下さい。

Compareを使用 認証にCompareを使用します。

アトリビュートの値で比較 Idapsearchによりパスワードを取得し、 Active gote 側で比較します。

【パスワードのアトリビュート】

認証方法にCompareやアトリビュート値での比較を使用する場合、比較対象となるアトリビュートを設定します。

例) userPassword

2.5.3 メール配送時のユーザ管理



【メール受信時のユーザ管理にLDAP を使用】

メール受信時の該当ユーザが存在するかどうかの確認にLDAP を使用する場合、チェックします。LDAP にユーザが存在していない場合、UserUnknown を返し受信しません。

の 【検索クエリ】

メール受信時にユーザを検索するクエリを設定します。結果が存在した場合、メールを受信します。クエリ中のメールアドレスは次のように記述します。

設定例) mail=%mail

○【**○**K ボタン】

設定の確定(設定の反映には画面右上部の限力をクリックする必要があります。)

2.6 通知メール設定

Active gate から配送される、通知メールに関する設定を行います。送信者(ユーザ)、受信者(各宛先)の各通知メールの定型文、使用する言語の設定や変更が可能です。

2.6.1 送信者向け通知メール管理

送信者 (ユーザ) に配送される通知メールを設定・変更します。各言語に合わせ自由に定型文をカスタマイズする事が可能です。

各通知メールには「マクロ」が実装されています。これにより「件名」や「各宛先」等を動的に出力する事が可能です。各通知メールの「マクロ」についてはWeb画面の説明を参照して下さい。本誌での説明は補足が必要な箇所にのみ記載させて頂きます。



メモ

通知メールのデフォルトの言語は「システムポリシー(標準) - 送信者向け通知メールの言語 」にて決定されます。詳細は、後述 197ページ:「システムポリシー(標準) - 送信者向け通知メールの言語」を参照して下さい。



主音

送信者(ユーザ)がパーソナルコントローラ上から「受信通知メール設定」の変更を行った場合は、そちらの設定が優先されます。詳細は、後述 222ページ:「ユーザ設定」または別紙「パーソナルコントローラマニュアル - プロパティ」を参照して下さい。

言語選択





【言語選択】

変更したい定型文の言語をプルダウンの中から選択します。選択後、自動で各通知メールの内容が切り替わります。

選択できる言語は「送信者向け言語管理」にて登録した言語数により変わります。詳細は、後述 77ページ:「送信者向け言語管理」を参照して下さい。

「+]送信拒否に対する通知メール



🎑 【送信拒否の通知メール (Failure Notice)】

送信拒否のポリシーによりメールが拒否された場合、送信者に配送される通知メールです。 このメールは内部宛にのみ配信します。





メールを送信するFrom アドレス(送信元メールアドレス)を設定します。 Defaultはpostmaster@hostname です。

【件名】

[配送拒否] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

【本文部分】 **8**

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

マクロ補足

%REJECT%:

管理者が作成した拒否ポリシー名以外に、 Active gote 上の仕様として強制的にかかる拒否 ポリシー名(システム)も含みます。



Active gate 上の仕様として強制的にかかる拒否ポリシーには、添付ファイルのファイル名が255文 字より長い場合が該当します。拒否ポリシー名(システム)についての詳細は、前述4ページ:「留 意事項」を参照して下さい。

【OKボタン】



【拒否メール転送の通知メール】

送信拒否ポリシーによりメールが拒否された場合、拒否メール転送にて設定した転送者に配送 される通知メールです。このメールは外部宛にも配信します。





メールを送信するFrom アドレス(送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

【件名】

[拒否メール転送] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

3

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。



マクロ補足

%REJECT%:

管理者が作成した拒否ポリシー名以外に、 Active gate 上の仕様として強制的にかかる拒否 ポリシー名(システム)も含みます。



Active gote 上の仕様として強制的にかかる拒否ポリシーには、添付ファイルのファイル名が255文 字より長い場合が該当します。拒否ポリシー名(システム)についての詳細は、前述 4ページ:「留 意事項」を参照して下さい。

【〇Kボタン】

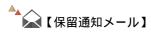
設定の確定時に実行します。



メモ

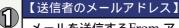
上記、送信拒否に対する通知メールについての詳細は、後述 147ページ:「送信拒否」を参照して下さい。

[+]保留に対する通知メール



Active gate サーバにメールが保留された場合、送信者に配信される通知メールです。 このメールは内部宛にのみ配信します。





メールを送信するFrom アドレス(送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

【件名】

[配送保留] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

【本文部分】 **(B)**

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

マクロ補足

%SEND_URL%:

保留メールの保留解除ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的に 保留解除を行う事が可能です。(承認機能をご利用されている場合、保留解除後、承認待 ちの状態に移行します。)

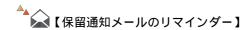
%CANCEL_URL%:

保留メールの削除ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメー ルの削除処理を行う事が可能です。

【マクロの内容】

マクロとして変換される文言を設定します。任意に編集可能です。

【OK」ボタン】 設定の確定時に実行します。



指定した保留後設定期間経過後に、送信者に配信されるリマインダーメールです。 このメールは内部宛にのみ配信します。





メールを送信するFrom アドレス(送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

(件名)

[再:配送保留] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

【本文部分】

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

マクロ補足

%SEND_URL%:

保留メールの保留解除ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的に 保留解除を行う事が可能です。(承認機能をご利用されている場合、保留解除後、承認待 ちの状態に移行します。)

%CANCEL_URL%:

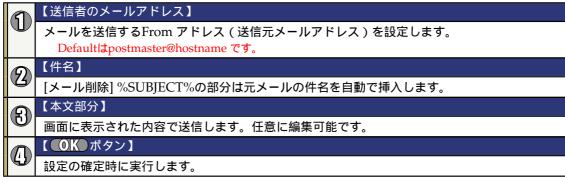
保留メールの削除ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの削除処理を行う事が可能です。

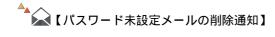
【 OK ボタン】



ポリシーによる保留後メールが自動削除された場合、送信者に配信される通知メールです。 このメールは内部宛にのみ配信します。

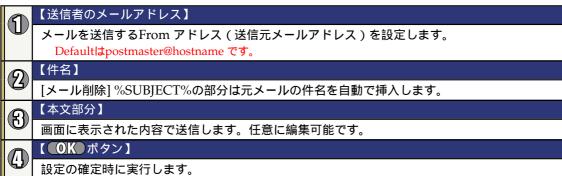




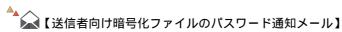


パスワード未設定の為に保留され、設定された期間経過後削除された場合、送信者に配信される通知 メールです。このメールは内部宛にのみ配信します。





[+]添付ファイル変換に対する通知メール



暗号化された添付ファイルのパスワードを内部の送信者に通知するメールです。 このメールは内部宛にのみ配信します。





メールを送信するFrom アドレス (送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

9【件名】

[パスワード通知(自分宛)] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

【本文部分】

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

マクロ補足

%LOOP:START% ~ %LOOP:END% :

START ~ END の間に記述されたマクロ及び文章は送信した宛先数分、繰り返されます。

(マクロの内容)

マクロとして変換される文言を設定します。任意に編集可能です。

[OK ボタン]
 設定の確定時に実行します。



🎑 【送信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メール】

ダウンロード機能を使用する際のダウンロードセンターのパスワードを送信者に対して通知するメールです。LOOP:START ~ LOOP:END の間は宛先数分繰り返します。



- 【送信者のメールアドレス】

 メールを送信するFrom アドレス(送信元メールアドレス)を設定します。
 Defaultはpostmaster@hostname です。

 【件名】

 [パスワード通知(自分宛)] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。
- 【本文部分】画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
 - マクロ補足

%LOOP:START% ~ %LOOP:END% : START ~ END の間に記述されたマクロ及び文章は送信した宛先数分、繰り返されます。

- 【マクロの内容】 マクロとして変換される文言を設定します。任意に編集可能です。
- 【OKボタン】 設定の確定時に実行します。

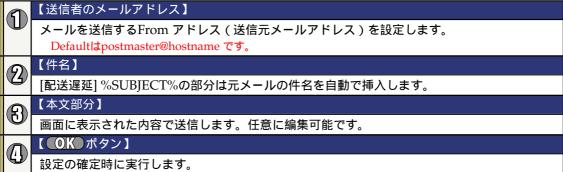
[+]配送に対する通知メール



【配送遅延通知メール (Delivery Status Notification)】

設定された期間以上メールの配送が遅延した場合、送信者に配信される通知メールです。 このメールは内部宛にのみ配信します。



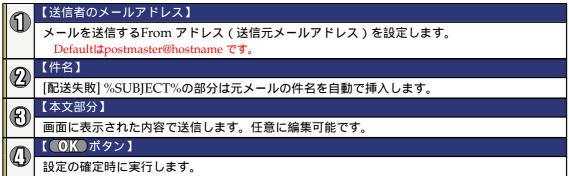




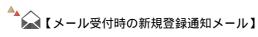
🎑【配送失敗通知メール (Failure Notice)】

相手のメールサーバからのエラー応答、又は、設定されたリトライ期間経過後、送信者に返信される通知メールです。このメールは内部宛にのみ配信します。



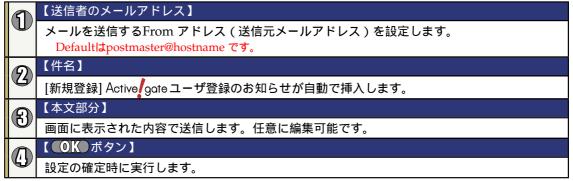


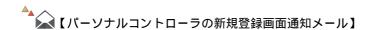
[+]その他の通知メール



メール受付時に新規登録されたユーザに対して、パーソナルコントローラのログイン認証にパスワードを使用する場合、パスワードを設定する画面のURLをお知らせする為のメールです。

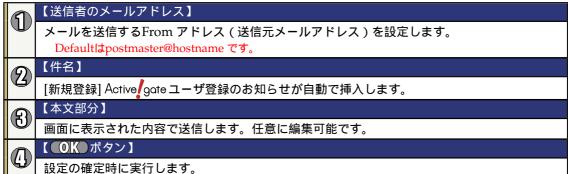






ログイン画面より新規登録を希望したユーザに対して、パーソナルコントローラのパスワードを設定する画面のURLをお知らせする為のメールです。このメールは内部宛にのみ配信します。



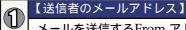




🎑 【パーソナルコントローラのパスワード設定・変換画面通知メール 】

パーソナルコントローラのパスワードを変更する画面のURLをお知らせする為のメールです。 このメールは内部宛にのみ配信します。





メールを送信するFrom アドレス (送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

9 【件名】

[新規登録] Active gate ユーザ登録のお知らせが自動で挿入します。

【本文部分】

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

【OK ボタン】

「+]承認依頼通知メール



メモ

ここからは追加オプション「上司承認機能」で使用する通知メールの設定を記載します。



🎑【承認依頼通知メール(承認者)】

メールが承認待ちで、承認権限が承認者の場合、その承認者に対して通知するメールです。



【送信者のメールアドレス】

メールを送信するFrom アドレス (送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

【件名】

[承認依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

(本文部分)

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。



マクロ補足

%APPROVE_URL%:

簡単承認ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの承認 処理を行う事が可能です。

%REJECT_URL%:

簡単差し戻しワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの 差し戻し処理を行う事が可能です。

【 OK ボタン】



🎑【承認依頼通知メール (不在代理者)】

メールが承認待ちで、承認権限が不在代理者の場合、その不在代理者に対して通知するメールです。





【送信者のメールアドレス】

メールを送信するFrom アドレス(送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

[承認依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

8

【本文部分】

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。



マクロ補足

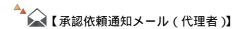
%APPROVE_URL%:

簡単承認ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの承認 処理を行う事が可能です。

%REJECT_URL%:

簡単差し戻しワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの 差し戻し処理を行う事が可能です。

【OK」ボタン】



メールが承認待ちで、承認権限が代理者の場合、その代理者に対して通知するメールです。





メールを送信するFrom アドレス(送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

[承認依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

【本文部分】 **(F)**

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。



マクロ補足

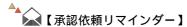
%APPROVE_URL%:

簡単承認ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの承認 処理を行う事が可能です。

%REJECT_URL%:

簡単差し戻しワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの 差し戻し処理を行う事が可能です。

【OK」ボタン】



指定した承認依頼リマインダーの間隔と回数分、承認する担当者に対して承認依頼を再通知するメールです。





メールを送信するFrom アドレス (送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

(件名)

[再: 承認依頼] %SUBJECT%の部分は元メールの件名を自動で挿入します。

(本文部分) 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

マクロ補足

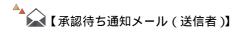
%APPROVE_URL%:

簡単承認ワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの承認処理を行う事が可能です。

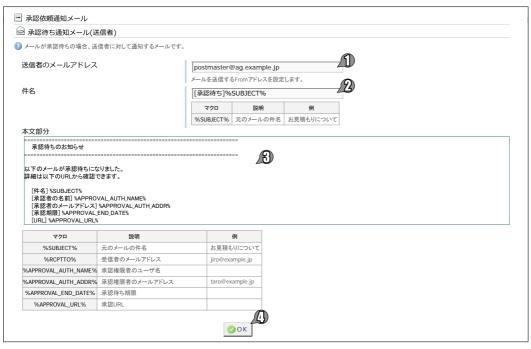
%REJECT_URL%:

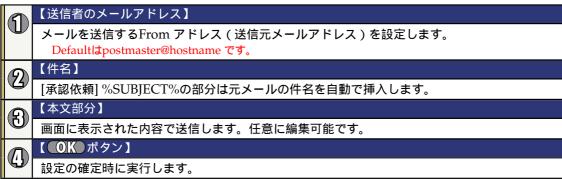
簡単差し戻しワンタイムURLを表示します。URLをクリックする事で、強制的にメールの 差し戻し処理を行う事が可能です。

(OK)ボタン】



メールが承認待ちの場合、送信者に対して通知するメールです。





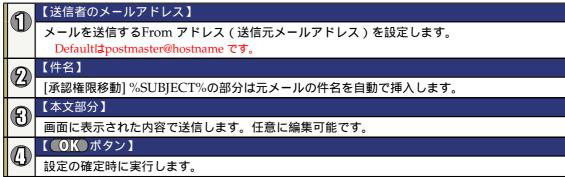
[+] 承認権限移動通知メール



【承認権限移動通知メール(前の承認担当者)】

承認権限が移動した場合、前の承認担当者に対して権限が移動した事を通知するメールです。





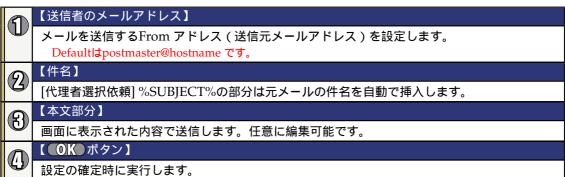
[+]代理者選択可能通知メール



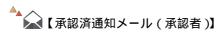
【代理者選択可能通知メール(送信者)】

代理者が選択可能になった場合、送信者に対して通知するメールです。



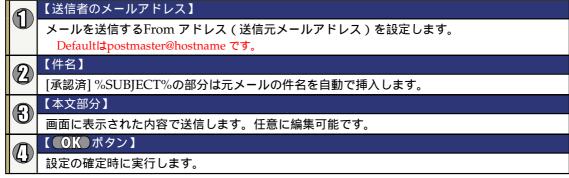


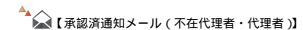
[+] 承認結果通知メール



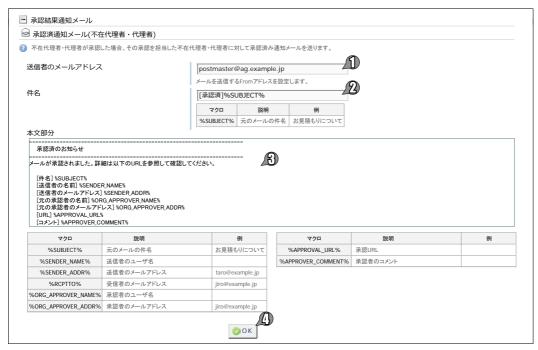
承認者が承認した場合、その承認者に対して承認済み通知メールを送ります。

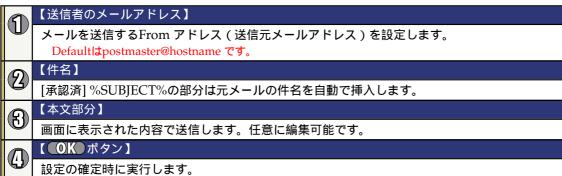






不在代理者・代理者が承認した場合、その承認を担当した不在代理者・代理者に対して承認済み通知メールを送ります。



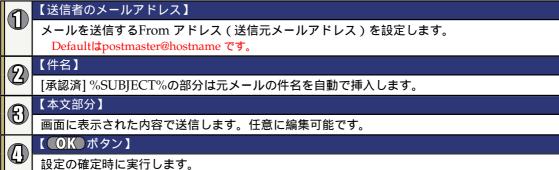


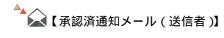


🎑【承認済通知メール(承認者[不在代理者・代理者が承認した場合])】

不在代理者・代理者が承認した場合、元の承認者に対して承認済み通知メールを送ります。

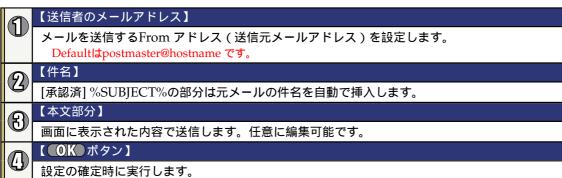


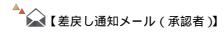




メールが承認済みの場合、送信者に対して通知するメールです。

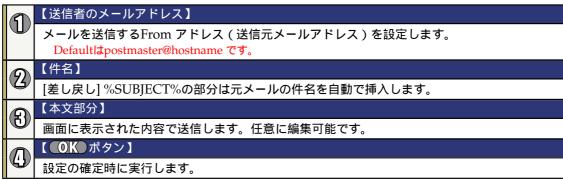


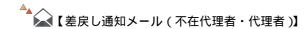




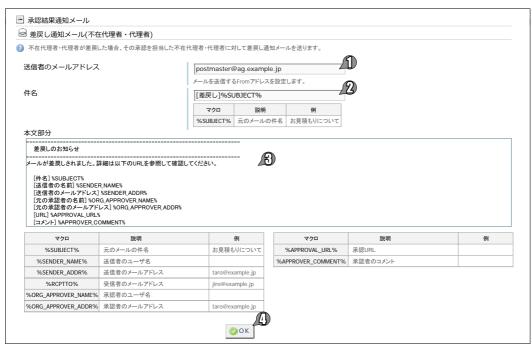
承認者が差し戻した場合、その承認者に対して差戻し通知メールを送ります。

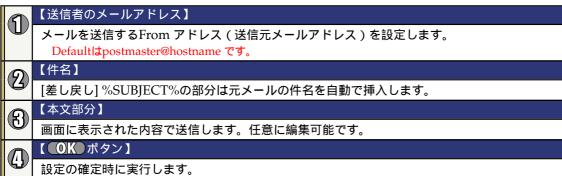






不在代理者・代理者が差し戻した場合、その承認を担当した不在代理者・代理者に対して差戻し通知メールを送ります。



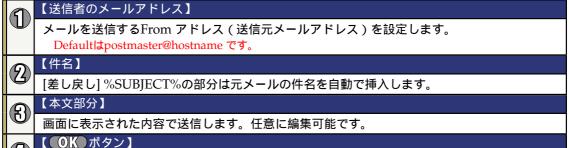


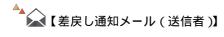


🎑 【差戻し通知メール(承認者[不在代理者・代理者が差戻した場合])】

不在代理者・代理者が差し戻した場合、元の承認者に対して差戻し通知メールを送ります。

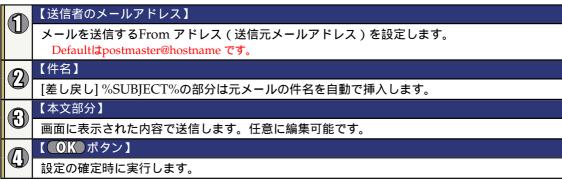




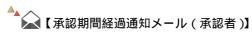


メールが差し戻しの場合、送信者に対して通知するメールです。



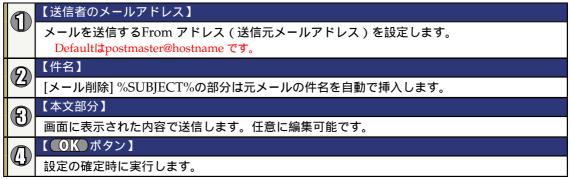


[+] 承認期間経過通知メール



承認者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、その承認者に対して通知するメールです。



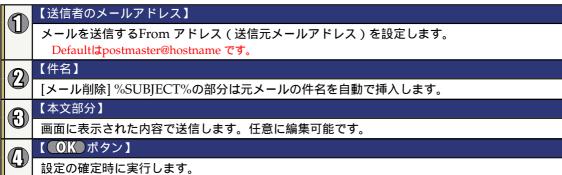




🎑 【承認期間経過通知メール (不在代理者・代理者)】

不在代理者・代理者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、その不在代理者・代理者に対して通知するメールです。



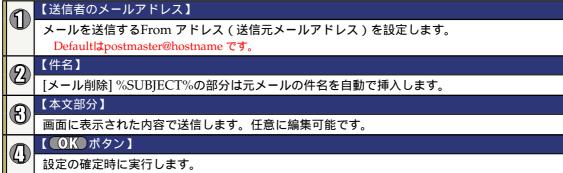




🕍 【承認期間経過通知メール (承認者[不在代理者・代理者が承認担当の場合])】

不在代理者・代理者が承認担当の時、メールが承認期間を過ぎ承認されなかった場合、元の承認者に対して通知するメールです。

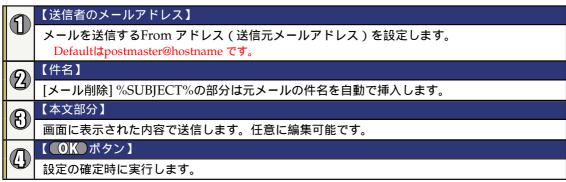




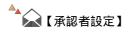
【承認期間経過通知メール(送信者)】

メールが承認期間を過ぎ、承認されなかった場合、送信者に対して通知するメールです。



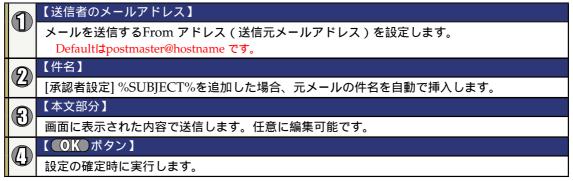


[+]承認設定に関する通知メール



承認者を設定した場合、その承認者に対して通知するメールです。



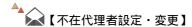




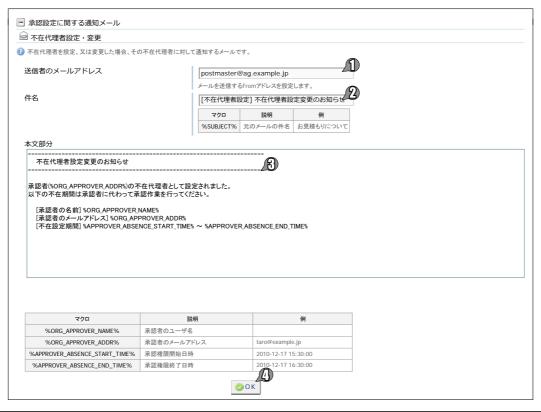
承認者を解除した場合、その承認者に対して通知するメールです。

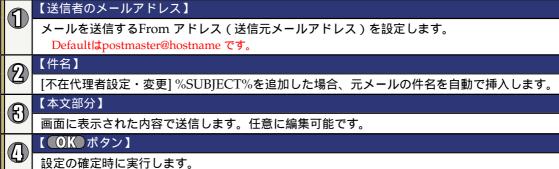


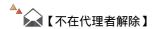
【送信者のメールアドレス】
 メールを送信するFrom アドレス (送信元メールアドレス)を設定します。
 Defaultはpostmaster@hostname です。
 【件名】
 [承認者設定解除] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。
 【本文部分】
 画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。
 【①K ボタン】
 設定の確定時に実行します。



不在代理者を設定、又は変更した場合、その不在代理者に対して通知するメールです。

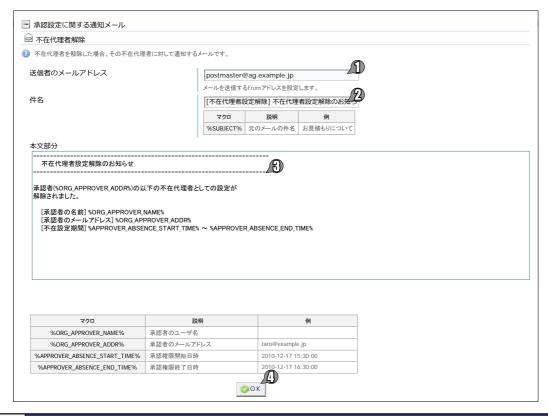


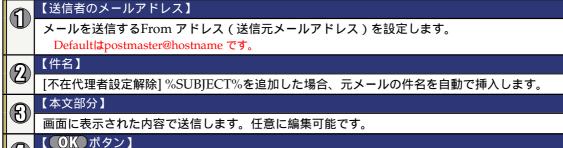




設定の確定時に実行します。

不在代理者を解除した場合、その不在代理者に対して通知するメールです。

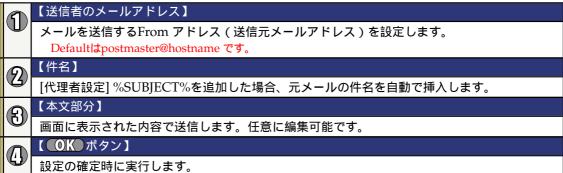


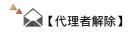




代理者を設定した場合、その代理者に対して通知するメールです。

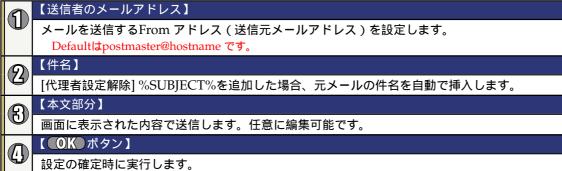


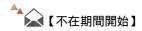




代理者を解除した場合、その代理者に対して通知するメールです。

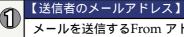






不在期間開始を通知するメールです。





メールを送信するFrom アドレス (送信元メールアドレス)を設定します。

Defaultはpostmaster@hostname です。

9 【件名】

[不在設定開始] %SUBJECT%を追加した場合、元メールの件名を自動で挿入します。

[本文部分]

画面に表示された内容で送信します。任意に編集可能です。

 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 (1)
 <td

2.6.2 受信者向け通知メール管理

受信者(各宛先)に配送される通知メールを設定・変更します。各言語に合わせ自由に定型文をカスタマイズする事が可能です。

各通知メールには「マクロ」が実装されています。これにより「件名」や「各宛先」等を動的に出力する事が可能です。各通知メールの「マクロ」についてはWeb画面の説明を参照して下さい。本誌での説明は補足が必要な箇所にのみ記載させて頂きます。



メモ

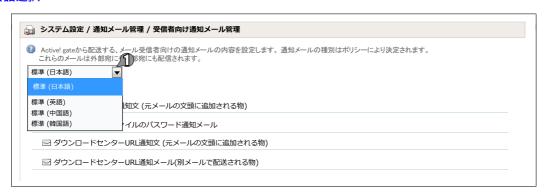
受信者向け通知メールのデフォルトは「システムポリシー(標準) - 受信者向け通知メールの種類」にて決定されます。詳細は、後述 197ページ:「システムポリシー(標準) - 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。



注意

受信者向け通知メール等の「ポリシー」と呼ばれる条件の設定は、各設定画面ごとで優先順位が変更されます。詳細は、後述 206ページ:「ポリシーチェイン管理」を参照して下さい。

言語選択





【種別選択】

通知メールの種別をプルダウンの中から選択します。選択後、自動で各通知メールの内容が切り替わります。

選択できる種類は「受信者向け種別管理」にて登録した数により変わります。

[+]添付ファイル変換に対する通知メール



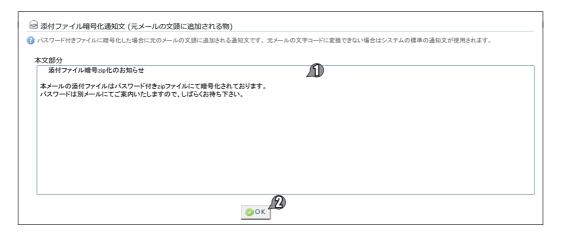
▲ 【添付ファイル暗号化通知文 (元メールの文頭に追加される物)】

添付ファイルをパスワード付きファイルに暗号化した場合に元のメールの文頭に追加される通知文 です。



元メールの文字コードに変換できなかった場合、通知文は「ポリシー設定」 - 「システムポリシー(標準)」に あります、「変換失敗時の通知文」で設定された物が使用されます。

詳細は、後述 197ページ:「システムポリシー(標準) - 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。





【本文部分】

画面に表示された内容で文頭に追記します。任意に編集可能です。



【OKボタン】

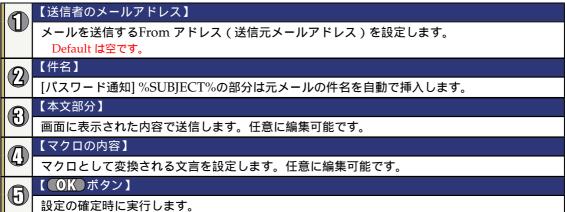
設定の確定時に実行します。



🎑 【受信者向け暗号化ファイルのパスワード通知メール 】

添付ファイルをパスワード付き暗号化ファイルに暗号化した場合に、複合化させる為のパスワードを送り先に通知するメールです。







🕍【ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)】

webダウンロード機能を使用する際に、「本文の文頭に追加する」を選択した場合に元のメールの文頭に追加される通知文です。ファイルダウンロード画面へのURLや受信者のメールアドレス等を元のメールの文頭に追加します。



メモ

元メールの文字コードに変換できなかった場合、通知文は「ポリシー設定」 - 「システムポリシー(標準)」にあります、「変換失敗時の通知文」で設定された物が使用されます。

詳細は、後述 197ページ:「システムポリシー(標準) - 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。





【本文部分】

画面に表示された内容で文頭に追記します。任意に編集可能です。



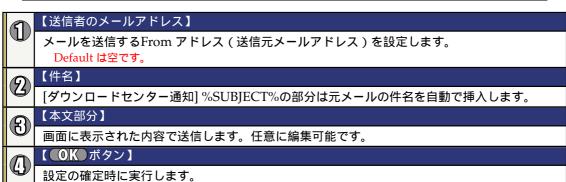
【OK)ボタン】

設定の確定時に実行します。



webダウンロード機能を使用する際に、「別メールで配送する」を選択した場合に追加される通知文です。ファイルダウンロード画面へのURLや受信者のメールアドレス等を別メールにて通知します。







🎑【ダウンロードパスワード配送通知文(元メールの文頭に追加される物)】

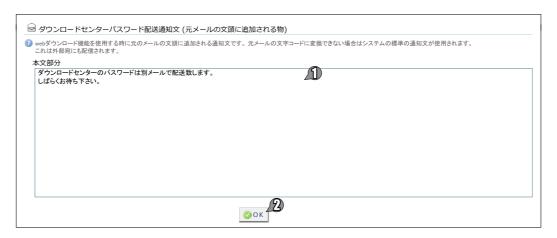
webダウンロード機能を使用する際に、ログインパスワードは別メールで配送される事が、元メールの 文頭に追加される通知文です。



メモ

元メールの文字コードに変換できなかった場合、通知文は「ポリシー設定」 - 「システムポリシー(標準)」にあります、「変換失敗時の通知文」で設定された物が使用されます。

詳細は、後述 197ページ:「システムポリシー(標準) - 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。





【本文部分】

画面に表示された内容で文頭に追記します。任意に編集可能です。



【OKボタン】

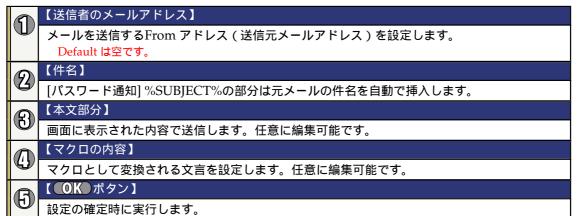
設定の確定時に実行します。



🎑 【受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メール 】

web ダウンロード機能を使用する際のダウンロードセンターのパスワードを受信者に通知するメールです。





2.6.3 送信者向け言語管理

送信者や内部ユーザ向け通知メールの言語の管理を行います。言語を追加した場合、送信者向け通知 メール管理画面で通知メールの内容を変更する事ができます。また、ユーザ設定画面や各ユーザの画面 で受け取る通知メールの言語を変更する事ができます。







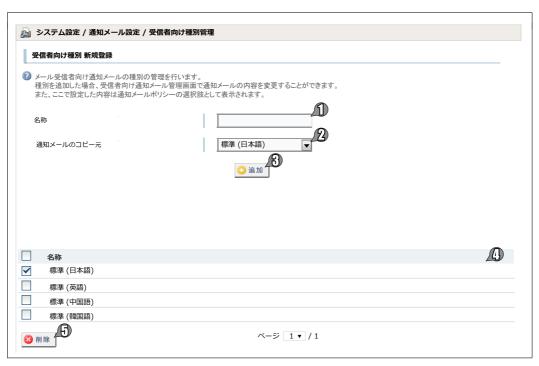
「言語」のプルダウンより「その他」を選択した場合、オリジナルの言語を作成する事が可能です。

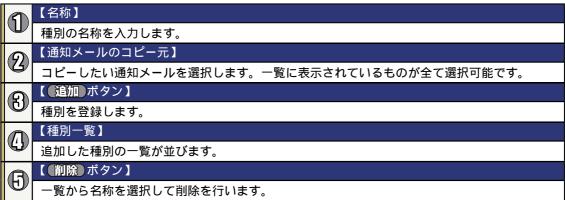


通知メールのコピー元ではコピーしたい通知メールを選択します。一覧に表示されているものが全て選択可能です。

2.6.4 受信者向け種別管理

受信者向け通知メールの種別の管理を行います。種別を追加した場合、受信者向け通知メール管理画面で通知メールの内容を変更する事ができます。また、ここで設定した内容は通知メールポリシーの選択 肢として表示されます。



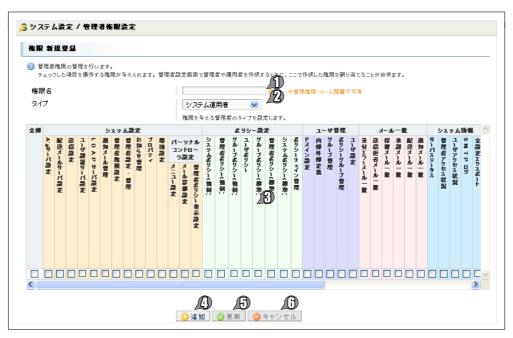


2.7 管理者権限設定

システム管理者画面【システム設定】【管理者権限設定】

管理者権限設定では、管理者の各種設定及び閲覧において、用途別の権限を持たせたアカウントを作成 する事が可能です。例えば、「ドメイン管理者」ではご利用される1ドメイン単位での管理者を作成す る事が可能ですし、ポリシーグループ管理者では「ユーザ管理 - ポリシーグループ管理」にて作成した ポリシーグループ単位の管理者を作成できます。

これにより、システム管理者や運用者が全てのユーザのポリシーの設定等を運用せず、別の下位の管理 者に運用を任せる事が可能となります。後述「管理者設定・管理)画面において作成した管理者アカウ ントに関連付けする事により、用途別に管理者アカウントを使用できます。



権限 新規登録/更新 [権限 新規登録/更新]では新規に権限を作成します。

【設定項目】

【権限名】

新規に作成する権限名を入力します。

【タイプ】

新規に作成する権限名での権限タイプを選択します。

システム管理者 システムの管理者として必要な権限を持ったタイプ システム運用者 システムの運用者として必要な権限を持ったタイプ ドメイン管理者 1ドメインの管理者として必要な権限を持ったタイプ ポリシーグループ管理者 1ポリシーグループの管理者として必要な権限を持ったタイプ

【メニュー選択一覧】 (出)

管理者画面のメニュー一覧が表示され下のチェックボックスを選択したメニューへのアクセス が可能となります。

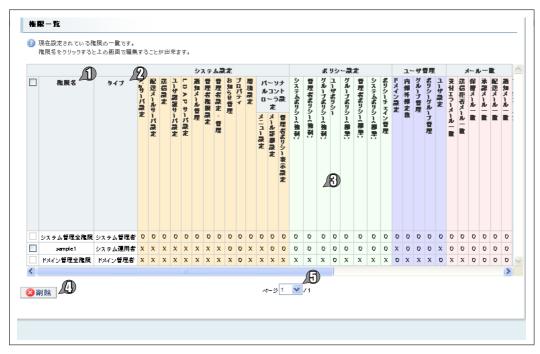
各タイプによって設定可能なメニューに制限があります。[全部]チェックボックスを選択する事に よって各タイプで選択可能なメニュー一覧のチェックボックスが選択します。

【追加ボタン】

記入・選択した権限で新規に権限を作成します。追加された権限は権限一覧に登録します。

【【更新】ボタン】 (F) 編集した内容で権限が更新します。

【キャンセル ボタン】 更新をキャンセルする場合に使用します。



権限一覧 権限新規登録で作成された、各権限名ごとの権限や設定情報を一覧で表示します。

【表示項目】

【権限名】

作成された権限名を表示します。

Default 権限(システム管理全権限/ドメイン管理全権限/ポリシーグループ管理全権限)は設定変更できませんが表示されています。

- ② 【タイプ】
 - 作成された各権限名の権限タイプを表示します。
- (メニュー一覧)

管理者画面の各メニュー一覧 (システム設定/ポリシー設定/ユーザ設定/メール一覧/システム情報/統計情報/承認設定[オプション]) が表示され権限として付与されているメニューには[]付与されていないメニューには[x]が表示します。

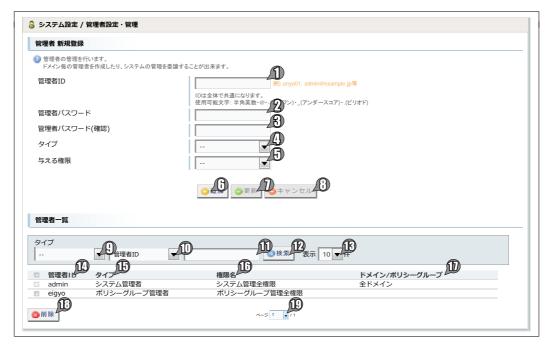
【削除がタン】

権限一覧から各権限名の左のチェックボックスを選択し実行する事で、その権限を削除します。 依存関係により削除できない場合もあります。その際は表示されるメッセージに従って依存関係先の 設定を見直す必要があります。

2.8 管理者設定・管理

システム管理者画面【システム設定】【管理者設定・管理】

管理者設定・管理では、管理者画面での各種設定及び閲覧において、各用途別の権限を持たせたアカウントを作成します。[管理者権限設定]メニューにおいて作成した権限またはデフォルトの権限に関連付けする事により用途別に管理者アカウントを使用する事が可能となります。



管理者 新規登録/更新 「管理者 新規登録/更新] では新規に管理者アカウントを作成します。

【設定項目】



新規に作成する管理者ID を入力します。

2 【管理者パスワード】

新規に作成する管理者パスワードを入力します。



メモ

入力できるパスワードの長さ:最低4文字 ~ 最長1024文字

使用可能文字列:[0-9][a-z,A-Z]['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/¥"]

【管理者パスワード(確認)】

確認の為、再度パスワードを入力します。

【タイプ】

新規に作成する管理者アカウントの権限タイプを選択します。

システム管理者 システムの管理者として全権限を持ったタイプ システム運用者 システムの運用者として必要な権限を持ったタイプ

ドメイン管理者 ドメインの管理者として必要な権限を持ったタイプ

<管理するドメイン>

ドメイン管理者を選択した時、ドメイン選択ロールダウンメニューが現れます。登録されたドメインの中から選択します。

ポリシーグループ管理者 ポリシーグループの管理者として必要な権限を持ったタイプ <管理するポリシーグループ>

ポリシーグループ管理者を選択した時、ポリシーグループ選択ロールダウンメニューが現れます。登録されたポリシーグループの中から選択します。

[与える権限]

上記「タイプ)ごとによって選択できる権限名のみがロールダウンメニューに表示します。

タイプが「システム管理者」の場合 「作成した権限名]

システムの管理者として全権限を持った権限名を選択。

タイプが[システム運用者]の場合 [作成した権限名]

システムの運用者として必要な権限を持った権限名を選択。

タイプが [ドメイン管理者] の場合 [作成した権限名] または [ドメイン管理全権限] ドメインの管理者として必要な権限を持った権限名を選択。

タイプが [ポリシーグループ管理者] の場合 [作成した権限名] または [ポリシーグループ管理全権限]

ポリシーグループの管理者として必要な権限を持った権限名を選択。

「追加ボタン】

√ 記入・選択した設定で新規に管理者を作成します。追加された管理者アカウントは下の権限ー │ 覧に登録します。

【 更新 ボタン】

編集した内容で権限が更新します。

(キャシセルボタン)

更新をキャンセルする場合に使用します。

【検索機能】

【タイプ メニュー】

検索対象に登録された権限タイプを指定します。

【キーワード対象項目 メニュー】

右の入力ボックスのキーワードの対象となる項目を選択します。

【キーワード入力】

|検索キーワードを入力します。

(検索 ボタン)

一覧より、検索条件及び入力されたキーワードを使った抽出表示を行います。検索は指定が行われている項目を使ったAND条件で行われます。

(表示 メニュー)

1ページあたりに表示できる検索結果数を設定します。

管理者一覧 管理者 新規登録で作成された、各管理者ごとの設定情報を一覧で表示します。

【表示項目】

【管理者ID】

登録されている管理者ID を表示します。

Default 管理者(インストール直後に設定したアカウント)は設定変更できませんが表示されていま す。

(国) 【タイプ】

各管理者に付与された権限タイプを表示します。

【権限名】

各管理者に付与された権限名を表示します。

【ドメイン/ポリシーグループ】

各管理者に権限を付与されたドメイン名やポリシーグループ名を表示します。

18 (削除)ボタン】

管理者一覧から各管理者名の左のチェックボックスを選択し実行する事で、その管理者アカウントを削除します。依存関係により削除できない場合もあります。その際は表示されるメッセージに従って依存関係先の設定を見直す必要があります。

【 ▼ /1 メニュー】

複数ページに渡る場合ページ数を選択し表示させます。



注意「

ここで登録した管理者アカウント(タイプ別で「システム管理者」以外)は下記URL からの認証が必要と なります。通常のシステム管理者画面とは異なります。ご注意下さい。

タイプ「システム管理者」以外のアカウント によるログインURL [URL] http(s^a)://ServerName b /gate/gate.igm/manager_login

"インストールと同時にSSLサーバ証明書に関する設定を済ませている場合HTTPSプロトコルで接続できます。

タイプ「システム管理者」アカウントによるログインURL [URL] http(s^a)://ServerName^b/gate/admin.igm/login

^b ServerNameは Active ogate が動作するサーバ名です。

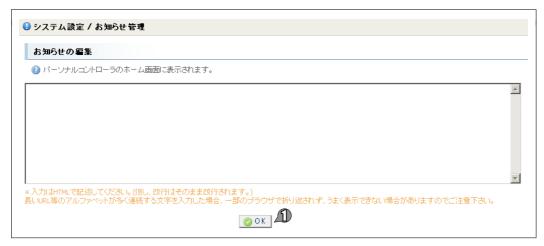
 $[^]a$ インストールと同時にSSLサーバ証明書に関する設定を済ませている場合HTTPSプロトコルで接続できます。

^b ServerNameは Active gate が動作するサーバ名です。

2.9 お知らせ管理

システム管理者画面【システム設定】【お知らせ管理】

パーソナルコントローラのログイン後の最初のホーム画面上 (Default設定)の[お知らせ]メニューに、アナウンスメッセージを表示する事ができます。このアナウンスメッセージの登録・編集をこの画面で行います。



HTML タグを使用しお知らせメッセージを記述します。

入力はHTMLで記述して下さい。(但し、改行はそのまま改行します。)長いURL等のアルファベットが多く連続する文字を入力した場合、一部のブラウザで折り返されず、うまく表示できない場合があります。ご注意下さい。



【OKボタン】

設定の確定(設定の反映には画面右上部の電気温度)ボタンをクリックする必要があります。)

2.10 プロパティ

<u>シス</u>テム管理者画面【システム設定 **】【** プロパティ 】

Active gate のシステム管理者に関する情報を設定します。システム管理者画面へのログインの際に使用する、管理者アカウントやログインパスワードを設定します。



【ログインID】

システム管理者画面へのログインID を決定します。

2 【ログインパスワード】

ログインパスワードを設定します。



入力できるパスワードの長さ:最低4文字 ~ 最長1024文字

使用可能文字列:[0-9][a-z,A-Z]['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/¥"]

◯ 【ログインパスワード(確認)】

確認の為、再度パスワードを入力します。

【 OK ボタン】

設定の確定(設定の反映には画面右上部の配表面反映)ボタンをクリックする必要があります。)

2.11 環境設定

システム管理者画面【システム設定】【 環境設定 】

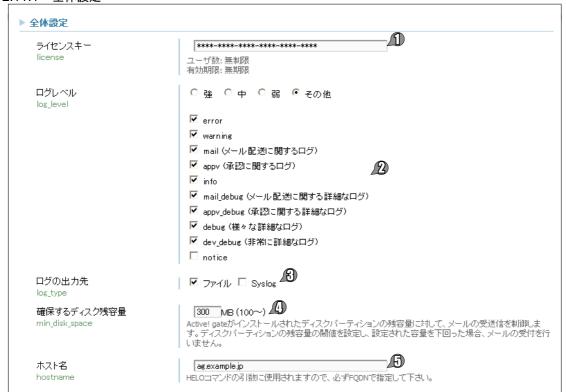
Active gote のシステム全般における環境設定を行います。設定ファイル/etc/ag.conf にて同様に設定が可能です。



主意

Active gate を複数台で構成している場合、正しく設定されません。ご注意下さい。その場合、各サーバの設定ファイル/etc/ag.conf を直接編集する必要があります。現在のバージョンでは複数台構成/分散構成はご利用できません。

2.11.1 全体設定





【ライセンスキー】

Active gate のインストール時に入力したものが記述されています。ライセンスキーを変更する 時以外に設定する事はありません。

下部にライセンスキーの登録可能ユーザ数と有効期限を表示します。

2

【ログレベル】

Active gate の動作ログ出力レベルを変更します。[強] [中] [弱] [その他] から選択ができ、 [その他] は初期値を自由に変える事ができ、管理者が各ログ情報の設定にチェックを入れる事で、カスタマイズな設定ができます。

ログ情報の設定は以下の種類から選択できます。

error

warning

mail (メール配送に関するログ)

appv (承認に関するログ)

info

mail_debug (メール配送に関する詳細なログ)

appv_debug (承認に関する詳細なログ)

debug (様々な詳細なログ)

dev_debug (非常に詳細なログ)

notice

(F)

【ログの出力先】

Active gate動作ログの出力先を指定します。

【ファイル】

ローカルの/usr/local/active/gate/var/logs に出力します。

[Syslog]

/var/log/maillog へ出力され同時に「システム情報」の「SMTP ログ」は表示されなくなります。

【確保するディスク残容量】

Active gate がインストールされたディスクパーティションの残容量を閾値(単:MB)で設定する事により、設定された閾値に達した場合、メールの受送信を行いません。

(3)

【ホスト名】

Active gate がインストールされたサーバのホスト名です。

HELO コマンドの引数に使用します。必ずFQDN で指定して下さい。

2.11.2 SMTP接続

▶ SMTP接続 30 秒 (1~3600) SMTPタイムアウト max_wait_recv Active! gatelに接続したSMTPセッションの1行あたりのタイムアウトを設定 ○使用する ○使用しない '¥x00'を除去して受信 ignore_nul_char 本文中にNUL文字(¥x00)を含むメールが来た場合、NUL文字を除去して 受信するか、拒否するかを選択します。 ● 使用する O 使用しない バナー表示 banner_show_use SMTPのバナー表示を有無を設定します。使用しない場合、簡易な表示に 220 %DOMAIN% %PRODUCT% %DAEMON%, Version: %V バナー表示 banner SMTP接続時に応答するバナーを設定します。 %DOMAIN%: display hostname %PRODUCT% : display deamon_description %VERSION%: display deamon_version %DATE%: display date of now 17 最大HOP数 メールのルーブを防ぐためにHOP数(Received:ヘッダ数)の最大値を設定 loop_max します。

【SMTP タイムアウト】

Active gote に接続したSMTP セッションの1 行あたりのタイムアウトを設定します。

2 【'¥x00'を除去して受信】 メール本文内にNULL文字(0x00のコードの文字)が含まれる際の動作を設定します。

使用する NULL文字を除去して受信する。 使用しない NULL文字を除去しない。

本文中にNULL 文字が含まれている場合、受信できません。

【バナー表示】

Active gateへのSMTP接続時バナー表示(下記記載内容)の有無を設定します。使用しない場合、簡易なものになります。

【バナー表示】

Active gateへのSMTP接続時に表示されるバナーを設定します。

【最大HOP数】 メールのループを防ぐ為、HOP数(Received:ヘッダ数)の最大値を設定します。

2.11.3 配送キュー

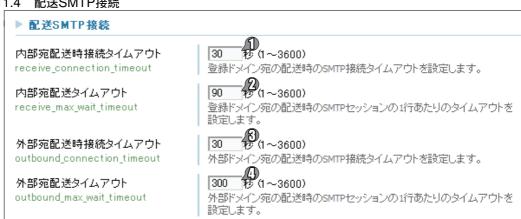




一度に処理可能なキューの処理数の上限を設定します。

【再配送間隔】 配送で失敗した場合、リトライする間隔を設定します。(単位:分)

2.11.4 配送SMTP接続



【内部宛配送時接続タイムアウト】

内部へのメール配送において、配送先へのSMTP接続までのタイムアウト値(単位:秒)を設 定します。

【内部宛配送タイムアウト】

内部へのメール配送において、配送時のSMTPセッション1行あたりのタイムアウト値(単位: 秒)を設定します。

【外部宛配送時接続タイムアウト】 R 外部へのメール配送において、配送先へのSMTP 接続までのタイムアウト値(単位:秒)を設 定します

【外部宛配送タイムアウト】 外部へのメール配送において、配送時のSMTPセッション1行あたりのタイムアウト値(単位: 秒)を設定します。

2.11.5 Return Mail

Return Mail

内部宛エラーメール

receive_bounce_use

● 使用する O 使用しない

配送失敗時の登録ドメイン宛のパウンスメールの送信有無を設定します。DSNメールとFailure Noticeメールの両方が含まれます。

内部宛DSNメール

receive_dsn_use

● 使用する ○ 使用しない **②**

配送遅延時の登録ドメイン宛のDSNメールの送信有無を設定します。 「送信する」で送信元が登録ドメインの場合、再配送時に猶予時間以上メールの配送が遅延していれば、DSNメールを送信します。

内部宛DSNメール送信猶予時間

receive_dsn_time

30 分 (0~20160)

登録ドメイン宛のDSNメールを送信するまでの猶予時間を設定します。

【 内部宛エラーメール 】

宛先への配送遅延・失敗時に送信するエラーメール (DSNメール及びFailure Noticeメール) の内部への送信の有無を設定します。

使用する エラーメールを送信します。 使用しない エラーメールを送信しません。

② 【内部宛DSN メール】

宛先への配送遅延時に猶予時間以上メールの配送が遅延した場合、DSN メール送信の有無を設定します。

使用する DSN メールを送信します。 使用しない DSN メールを送信しません。

【DSN メールとは?】

配送遅延が発生した場合(Active gate が送信先への配送が完了せず再配送中の状態)送信者に配信されるエラーメールです。

(内部宛DSNメール送信猶予時間)

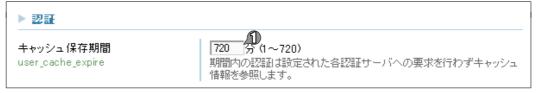
│ DSN メールを送信するまでの猶予時間(単位:分)を設定します。

2.11.6 サーバステータス





2.11.7 認証





認証した情報を内部にキャッシュする時間を設定します。設定された各認証サーバへの要求をこの期間行いません。

2.11.8 Web画面



【セッション有効期限】

システム管理者画面及びパーソナルコントローラへのアクセス期間のタイムアウト値(単位:分)を設定します。最後に画面操作を行ってから、この設定値を超えたセッションは、再ログインし直す必要があります。

🕜 【内部接続用 URLプレフィックス】

【外部接続用 URL プレフィックス】

内部からの接続用ワンタイムURLやダウンロードセンターに使用するURLプレフィックスを 設定します。

外部からの接続用ワンタイムURLやダウンロードセンターに使用するURL プレフィックスを 設定します。

2.11.9 管理画面用設定

▶ 管理画面用設定 ログアウト時の表示ベージ 管理者画面からログアウトした際に表示するURLを設定します。 admin_logout_location でする こしない 🕰 ディスク残量警告 Activel gateがインストールされたディスクパーティションの使用率が設定値を上回った場合、管理者画面 上部に警告表示されます。 storage alert ○する <u>●</u>しない **過** ページ数表示 「メール一覧」で全体ページ数を表示するかしないかを設定します。メール数が多い場合表示すると高負荷になることがありますのでご注意下さい。 log_page_show ್ಕಾ ೧∪ಭ∖ Д 受付エラーメール一覧 view smtp reject

【ログアウト時の表示ページ】

管理者画面からでプラブボタンにてログアウトをした際に表示するURLを設定します。 Default は空白です。その場合ログイン画面を表示します。

② 【ディスク残量警告】

Active gate がインストールされたディスクパーティションの使用率が設定値(単位:%)に達した場合、管理者画面上部に警告表示します。

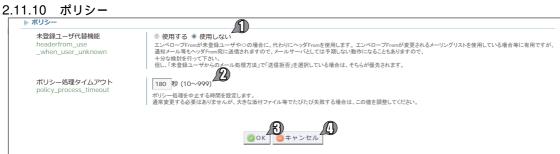
【ページ数表示】 管理者画面の[メール一覧]で全体ページ数の表示・非表示を設定します。メール数が多い場合"表示する"に設定すると高負荷により画面全体のレスポンスが低下する場合があります。

使用する 全体ページ数の表示を行います。 使用しない 全体ページ数の表示を行いません。

【受付エラーメール一覧】

受付エラーとなったメールをメール一覧のメニュー部に表示/非表示させるを行います。エラーメールが多くパフォーマンスに問題が生じる場合、[使用しない]にします。

使用する 受付エラーメール一覧を表示を行います。 使用しない 受付エラーメール一覧一覧を表示を行いません。



【未登録ユーザ代替機能】

Active gate ではエンベロープFrom を対象として登録ユーザを認識致しますが、エンベロープ From が未登録ユーザや<>の場合、代わりにヘッダFrom を使用しユーザとして認識致しま す。エンベロープFrom が変更されるメーリングリスト等を使用している際に有用ですが、通 知メール等もヘッダFrom 宛に送信します。メールサーバとしては予期しない動作になる事も あります。十分な検討を行って下さい。

「未登録ユーザからのメール処理方法」で「送信拒否」を選択している場合、そちらが優先します。

【ポリシー処理タイムアウト】

ポリシー処理を中止する時間を設定します。

通常変更する必要はありませんが、大きな添付ファイル等でたびたび失敗する場合、この値を 調整して下さい。

【OKボタン】

8

設定の確定(設定の反映には画面右上部の電影型型)ボタンをクリックする必要があります。)

【キャンセルボタン】 設定内容をキャンセルし元に戻します。

2.12 パーソナルコントローラ設定

システム管理者画面【システム設定 **】【** パーソナルコントローラ設定 】

ユーザが使用するパーソナルコントローラの各画面や画面内の設定項目、各機能について、表示/非表示の設定と、ユーザによる各設定項目の設定変更に対し許可するかしないかの設定を行います。

各機能毎の設定を有効にしていない場合、設定操作ができません。また、システムポリシー(強制)の 設定項目は、ここでの設定にかかわらず常に非表示となります。



2.12.1 メニュー設定

システム管理者画面【システム設定**】【**パーソナルコントローラ設定】**【**メニュー設定】

メニュー設定は、ユーザが使用するパーソナルコントローラにログインする際の「ログイン画面」とログイン後に表示される「メニュー画面」に出力される各メニュー、又は各機能について表示/非表示を設定します。

各メニューや各機能そのものを表示しない事によってユーザ側にその機能自体の操作を行わせない事が可能です。また機能を限定する事により、より使いやすいインターフェースをユーザに提供する事が可能です。

ログイン画面

パーソナルコントローラのログイン画面に関するを行います。



【パーソナルコントローラからのログイン】

パーソナルコントローラのログイン (http://XXXXX/gate/pc.igm) の使用許可を決定します。主に「シングルサインオン」を設定時に使用します。詳細は、後述 212ページ:「シングルサインオン」を参照して下さい。

許可する

ログイン画面を表示します。

許可しない

ログイン画面が「404 NOT FOUND」となりログイン画面が表示されません。

【ログインタイプ】

ドメインについて表示/非表示(選択窓)を設定します。

ドメインを表示せず入力させる

ドメイン選択部分を表示せずユーザID入力欄にUserID又はUserID@Domainを入力し認証します。

ドメインを選択させる

登録済みドメイン選択プルダウンからログイン先ドメインを選択します。

【新規登録設定リンク表示】

ログイン認証方法を"パスワード"以外(LDAP等)に設定した場合、表示されません。

表示する 新規登録設定リンクを表示します。

表示しない 新規登録設定リンクを表示しません。

【パスワード再設定リンク表示】

ログイン認証方法を"パスワード"以外(LDAP等)に設定した場合、表示されません。

表示する パスワード再設定リンクを表示します。

表示しない パスワード再設定リンクを表示しません。

【次回ログイン省略機能表示】

ログイン認証方法を"パスワード"以外(LDAP等)に設定した場合、表示されません。

表示する チェックボックス「次回のログインを省略する」を表示します。 表示しない チェックボックス「次回のログインを省略する」を表示しません。

【ログイン省略可能期間】

1度ログイン認証を行った後、再ログイン時の認証を省略させる期間を設定します。

]日 ログイン認証省略期間を設定します。(単位:日)



【ログイン後表示ページ】

ログイン直後に表示される画面を設定します。

ホーム 最初にホーム画面を表示します。

メール一覧 最初にメール一覧画面を表示します。

保留設定 最初に保留設定画面を表示します。

保留例外設定 最初に保留例外設定画面を表示します。

保留詳細設定 最初に保留詳細設定画面を表示します。

添付ファイル暗号化 最初に添付ファイル暗号化設定画面を表示します。

webダウンロード設定 最初にwebダウンロード設定画面を表示します。

添付ファイル対象 最初に添付ファイル対象設定画面を表示します。

パスワード設定 最初にパスワード設定画面を表示します。

ヘッダ変換設定 最初にヘッダ変換設定画面を表示します。

本文変換設定 最初に本文変換設定画面を表示します。

通知メールポリシー設定 最初に通知メールポリシー設定画面を表示します。

受信者向け通知メール種別管理 最初に受信者向け通知メール種別管理画面を表示します。

通知メール管理 最初に通知メール管理画面を表示します。

プロパティ 最初にプロパティ画面を表示します。



【言語選択】

言語選択について表示/非表示(選択窓)を設定します。

表示する 「言語選択」を表示します。

表示しない 「言語選択」を表示しません。

初期インストール時、デフォルトは「表示する」になっています。

使用していない状態でのアップデート時は「表示しない」の状態になります。使用する場合、「表示する」に変更して下さい。

ホーム画面

ホーム画面に関するを行います。

ホーム画面

ホームメニュー

- ▶お知らせ
- ▶ログイン情報
- ▶承認者としての統計
- ▶統計情報

表示する C 表示しない

- 表示する 表示しない
- 表示する 表示しない
- 表示する 表示しない
- € 表示する 表示しない

【ホームメニュー】

ホーム画面について表示/非表示を設定します。

表示する ホーム画面を表示します。 表示しない ホーム画面を表示しません。

(お知らせ)

お知らせ画面について表示/非表示を設定します。

表示する お知らせ画面を表示します。 表示しない お知らせ画面を表示しません。

「ログイン情報】

ログイン情報について表示/非表示を設定します。

表示する ログイン情報を表示します。 表示しない ログイン情報を表示しません。

【承認者としての統計】

承認者としての統計について表示/非表示を設定します。 追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

表示する 承認者としての統計を表示します。 表示しない 承認者としての統計を表示しません。

【統計情報】 依計博報

統計情報画面について表示/非表示を設定します。

表示する 統計情報を表示します。 表示しない 統計情報を表示しません。

メール一覧画面

メール一覧画面の設定を行います。





【メール一覧メニュー】

メール一覧画面について表示/非表示を設定します。

表示する メール一覧画面を表示します。 表示しない メール一覧画面を表示しません。

承認メール一覧画面

追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

承認メール一覧画面の設定を行います。





【承認メール一覧メニュー】

承認メール一覧画面について表示/非表示を設定します。

表示する 承認メール一覧画面を表示します。 表示しない 承認メール一覧画面を表示しません。

保留設定タイプ

保留設定を行う為の画面タイプを2通りから選択します。





【保留設定タイプ】

保留設定と保留例外設定の2画面で設定する

「保留設定」画面と「保留例外設定」画面の2つの画面をそれぞれ表示させ、保留と保留例外とを別々の画面で設定を行います。(2画面タイプを指定した場合、保留例外設定のポリシーが保留設定のポリシーより優先します。)

保留設定画面のみで設定する

「保留設定」画面のみ表示します。この場合「保留例外設定」についても「保留設定」画面上から行います。

保留設定画面

保留設定画面に関する設定を行います。

【保留設定メニュー】

保留設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 保留設定メニューを表示します。 表示しない 保留設定メニューを表示しません。

(条件設定)

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。

【対象の宛先】

対象の宛先について表示/非表示を設定します。

表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。

【グループ】

グループについて表示/非表示を設定します。

表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

【優先度設定】 優先度設定】

▶️│優先度設定について表示/非表示を設定します。

表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。

保留例外設定画面

保留例外設定画面に関する設定を行います。

保留例外設定画面

保留例外設定メニュー

▶条件設定

▶対象の宛先

▶ グルーブ

表示する C 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

【保留例外設定メニュー】

保留例外設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 保留例外設定メニューを表示します。 表示しない 保留例外設定メニューを表示しません。

【条件設定】

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。

【対象の宛先】 R

対象の宛先について表示/非表示を設定します。

表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。

【グループ】 **(4)**

グループについて表示/非表示を設定します。

表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

保留詳細設定画面

保留詳細設定画面に関する設定を行います。

保留詳細設定画面

保留詳細設定メニュー

▶条件設定

▶保留期間

▶保留期間経過後の処理方法

▶保留通知メールポリシー

▶リマインダーポリシー

▶リマインダー間隔と回数

▶バスワード通知保留期間

▶優先度設定

● 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

表示する (表示しない)

● 表示する○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

表示する ○ 表示しない

€ 表示する ○ 表示しない

€ 表示する ○ 表示しない

€ 表示する ○ 表示しない

【保留詳細設定メニュー】

保留詳細設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 保留詳細設定メニューを表示します。

表示しない 保留詳細設定メニューを表示しません。

2 【条件設定】

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。

【保留期間】

保留期間について表示/非表示を設定します。

表示する 保留期間を表示します。 表示しない 保留期間を表示しません。

【保留期間経過後の処理方法】

保留期間経過後の処理方法について表示/非表示を設定します。

保留期間は保留キューに入った時点から計測します。

表示する 保留期間経過後の処理方法を表示します。 表示しない 保留期間経過後の処理方法を表示しません。

【保留通知メールポリシー】

保留通知メールポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する 保留通知メールポリシーを表示します。 表示しない 保留通知メールポリシーを表示しません。

[リマインダーポリシー]

リマインダーポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する リマインダーポリシーを表示します。 表示しない リマインダーポリシーを表示しません。

【リマインダー間隔と回数】

リマインダー間隔と回数について表示/非表示を設定します。

表示する リマインダー間隔と回数を表示します。 表示しない リマインダー間隔と回数を表示しません。

【パスワード通知保留期間】

パスワード通知保留期間について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知保留期間を表示します。 表示しない パスワード通知保留期間を表示しません。

【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。

添付ファイル暗号化設定画面

添付ファイル暗号化設定画面に関する設定を行います。

添付ファイル 暗号化設定画面

添付ファイル暗号化設定メニュー

- ▶条件設定
- ▶添付ファイル暗号化ポリシー
- ▶zipして暗号化ポリシー
- ▶拡張子設定
- ▶対象の宛先
- ▶ グルーブ
- ▶優先度設定

- 表示する 表示しない 型
- 表示する 表示しない 超
- 表示する 〇 表示しない 🔊
- 表示する 〇 表示しない 🚇
- 表示する 〇 表示しない 45
- 表示する 〇 表示しない
- 表示する 〇 表示しない
- 表示する 表示しない 🔞

【添付ファイル暗号化設定メニュー】

添付ファイル暗号化設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル暗号化設定メニューを表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化設定メニューを表示しません。

【条件設定】 2

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。

【添付ファイル暗号化ポリシー】 (\aleph)

添付ファイル暗号化ポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル暗号化ポリシーを表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化ポリシーを表示しません。

【zipして暗号化ポリシー】 (4)

zipして暗号化ポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する zipして暗号化ポリシーを表示します。 表示しない zipして暗号化ポリシーを表示しません。

【拡張子設定】 (FI)

拡張子設定について表示/非表示を設定します。

表示する 拡張子設定を表示します。 表示しない 拡張子設定を表示しません。

【対象の宛先】 (i)

対象の宛先について表示/非表示を設定します。

表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。

【グループ】 (7)

グループについて表示/非表示を設定します。

表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

webダウンロード設定画面

webダウンロード設定画面に関する設定を行います。

webダウンロート設定画面

webダウンロード設定メニュー

- ▶条件設定
- ▶webダウンロードポリシー
- ▶ダウンロード可能期間
- ▶ダウンロードURL通知方法
- ▶対象の宛先
- ▶ グループ
- ▶優先度設定

- 表示する 表示しない
- 表示する● 表示しない②
- 表示する 表示しない 超
- 表示する 表示しない
- € 表示する 表示しない 460
- © 表示する C 表示しない 🗗
- 表示する 表示しない 型
- € 表示する 表示しない 48

【webダウンロード設定メニュー 】

webダウンロード設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する webダウンロード設定メニューを表示します。 表示しない webダウンロード設定メニューを表示しません。

【条件設定】

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。

【webダウンロードポリシー】

webダウンロードポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する webダウンロードポリシーを表示します。 表示しない webダウンロードポリシーを表示しません。

「「ダウンロード可能期間」

ダウンロード可能期間について表示/非表示を設定します。

表示する ダウンロード可能期間を表示します。 表示しない ダウンロード可能期間を表示しません。

【ダウンロードURL通知方法】

ダウンロードURL通知方法について表示/非表示を設定します。

表示する ダウンロードURL通知方法を表示します。 表示しない ダウンロードURL通知方法を表示しません。

【対象の宛先】

対象の宛先について表示/非表示を設定します。

表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。

【グループ】

グループについて表示/非表示を設定します。

表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

添付ファイル対象設定画面

添付ファイル対象設定画面に関する設定を行います。

添付ファイル対象設定画面

添付ファイル対象設定メニュー

- ▶添付ファイル変換
- ▶優先度設定

- 表示する 表示しない
- 表示する 表示しない
- 表示する 表示しない

【添付ファイル対象設定メニュー】

添付ファイル対象設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル対象設定メニューを表示します。 表示しない 添付ファイル対象設定メニューを表示しません。

初期インストール時、デフォルトは「表示する」になっています。

使用していない状態でのアップデート時は「表示しない」の状態になります。使用する場合、「表示する」に変更して下さい。

(2) 【添付ファイル変換】

添付ファイル変換について表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル変換を表示します。 表示しない 添付ファイル変換を表示しません。

初期インストール時、デフォルトは「表示する」になっています。

使用していない状態でのアップデート時は「表示しない」の状態になります。使用する場合、「表示する」に変更して下さい。

【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

表示する 優先度設定を表示します。 表示しない 優先度設定を表示しません。

初期インストール時、デフォルトは「表示する」になっています。

使用していない状態でのアップデート時は「表示しない」の状態になります。使用する場合、「表示する」に変更して下さい。

注意

「表示しない」の場合、パーソナルコントローラ側ではメニューが消えてユーザが使用できない状態になります。ユーザ側でも添付ファイル対象を使用しポリシーを設定したい場合、上記設定項目を「表示する」に変更して下さい。

またメール詳細画面 (2段階) での添付ファイル対象による変更も行いたい場合、【システム設定】-【パーソナルコントローラ設定】-【メール詳細設定】の「メール詳細画面 (2段階) /添付ファイル対象ポリシー」 を変更して下さい。

但し、設定によっては、添付ファイル変換を強制している場合もユーザが変換しないようにできる事になります。ポリシー設定にはご注意下さい。

パスワード設定画面

パスワード設定画面に関する設定を行います。

バスワード設定画面

バスワード設定メニュー

▶条件設定

▶パスワード設定方法

▶バスワード通知ポリシー(自分)

▶パスワード通知ポリシー(宛先)

▶バスワード通知文言の追加ポリシー

▶対象の宛先

▶ グループ

▶優先度設定

● 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

表示する ○ 表示しない

表示する ○ 表示しないを

表示する ○ 表示しない

€ 表示する ○ 表示しない

€ 表示する ○ 表示しない

【パスワード設定メニュー】

パスワード設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示するパスワード設定メニューを表示します。

表示しない パスワード設定メニューを表示しません。

【条件設定】

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。

表示しない 条件設定を表示しません。

【パスワード設定方法】 (3)

パスワード設定方法について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード設定方法を表示します。

表示しない パスワード設定方法を表示しません。

【パスワード通知ポリシー(自分)】

パスワード通知ポリシー(自分)について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知ポリシー(自分)を表示します。

表示しない パスワード通知ポリシー(自分)を表示しません。

【パスワード通知ポリシー(宛先)】

パスワード通知ポリシー (宛先)について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知ポリシー(宛先)を表示します。

表示しない パスワード通知ポリシー(宛先)を表示しません。

【パスワード通知文言の追加ポリシー】

パスワード通知文言の追加ポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知文言の追加ポリシーを表示します。

表示しない パスワード通知文言の追加ポリシーを表示しません。

【対象の宛先】

対象の宛先について表示/非表示を設定します。

表示する 対象の宛先を表示します。

表示しない 対象の宛先を表示しません。

【グループ】

グループについて表示/非表示を設定します。

表示するグループを表示します。

表示しない グループを表示しません。



【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

ヘッダ変換設定画面

ヘッダ変換設定画面に関する設定を行います。

ヘッダ変換設定画面

ヘッダ変換設定メニュー

▶条件設定

▶Bcc変換ポリシー

▶Bcc変換詳細設定

▶Dateヘッダ変更ポリシー

▶Cc/Bcc自動追加

▶対象の宛先

▶ グルーブ

▶優先度設定

表示する ○ 表示しない 型

表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

◎ 表示する ○ 表示しない 🚇

○ 表示する ・ 表示しない 45

○ 表示する ○ 表示しない

表示する ○ 表示しない

表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

【ヘッダ変換設定メニュー】

ヘッダ変換設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する ヘッダ変換設定メニューを表示します。

表示しない ヘッダ変換設定メニューを表示しません。

【条件設定】

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。

表示しない 条件設定を表示しません。

【Bcc変換ポリシー】

Bcc変換ポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する Bcc変換ポリシーを表示します。

表示しない Bcc変換ポリシーを表示しません。

【Bcc变換詳細設定】

Bcc変換メールのToアドレスについて表示/非表示を設定します。

表示する Bcc変換メールのToアドレスを表示します。

表示しない Bcc変換メールのToアドレスを表示しません。

【Dateヘッダ変更ポリシー】

Dateヘッダ変更ポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する Dateヘッダ変更ポリシーを表示します。

表示しない Dateヘッダ変更ポリシーを表示しません。

【Cc/Bcc自動追加】

Cc/Bcc自動追加について表示/非表示を設定します。

表示する Cc/Bcc自動追加を表示します。

表示しない Cc/Bcc自動追加を表示しません。

【対象の宛先】

対象の宛先について表示/非表示を設定します。

表示する 対象の宛先を表示します。

表示しない 対象の宛先を表示しません。

【グループ】

グループについて表示/非表示を設定します。

表示する グループを表示します。

表示しない グループを表示しません。



【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

本文変換設定画面

本文変換設定画面に関する設定を行います。

本文変換設定画面

本文変換設定メニュー

- ▶条件設定
- ▶ウィルススキャン定型文
- ▶自由定型文
- ▶自由定型文の内容
- ▶対象の宛先
- ▶ グループ
- ▶優先度設定

- 表示する 表示しない 40
- 表示する 表示しない 20
- 表示する 表示しない
- 表示する 表示しない 40
- € 表示する 表示しない 45
- 表示する 〇 表示しない 🔱
- 表示する C 表示しない
- € 表示する 表示しない

【本文変換設定メニュー】

本文変換設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 本文変換設定メニューを表示します。 表示しない 本文変換設定メニューを表示しません。

【条件設定】

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。

【ウィルススキャン定型文】 (\aleph)

ウィルススキャン定型文について表示/非表示を設定します。

表示する
ウィルススキャン定型文を表示します。 表示しない ウィルススキャン定型文を表示しません。

【自由定型文】

自由定型文について表示/非表示を設定します。

表示する 自由定型文を表示します。 表示しない 自由定型文を表示しません。

【自由定型文の内容】

自由定型文の内容について表示/非表示を設定します。

表示する 自由定型文の内容を表示します。 表示しない 自由定型文の内容を表示しません。

【対象の宛先】

対象の宛先について表示/非表示を設定します。

表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。

【グループ】

グループについて表示/非表示を設定します。

表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

被承認者設定画面

追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

被承認者設定画面に関する設定を行います。

被承認者設定画面

被承認者メニュー

│ © 表示する C 表示しない 🕰



【被承認者メニュー】

被承認者メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 被承認者メニューを表示します。 表示しない 被承認者メニューを表示しません。

承認ポリシー画面

追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

承認ポリシー画面に関する設定を行います。

承認設定メニュー ● 森記対象設定 ● 条件設定 ● 表示する ○ 表示しない ● 表示する ○ 表示しない

【 承認設定メニュー】

承認設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認設定メニューを表示します。 表示しない 承認設定メニューを表示しません。

②【承認対象設定】

承認対象設定について表示/非表示を設定します。

表示する 承認対象設定を表示します。 表示しない 承認対象設定を表示しません。

【条件設定】

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。

【承認ポリシー方法】

承認ポリシー方法について表示/非表示を設定します。

表示する 承認ポリシー方法を表示します。 表示しない 承認ポリシー方法を表示しません。

【Cc/Bcc自動追加】

Cc/Bcc自動追加について表示/非表示を設定します。

表示する Cc/Bcc自動追加を表示します。 表示しない Cc/Bcc自動追加を表示しません。

【優先度設定】

▶ 優先度設定について表示/非表示を設定します。

代理者設定画面

追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

代理者設定画面に関する設定を行います。

代理者設定画面

代理者設定メニュー

● 表示する ○ 表示しない 型





【代理者設定メニュー】

代理者設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 代理者設定メニューを表示します。 表示しない 代理者設定メニューを表示しません。

不在設定画面

追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

不在設定画面に関する設定を行います。

不在設定画面

不在設定メニュー

€ 表示する C 表示しない





【不在設定メニュー】

不在設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 不在設定メニューを表示します。 表示しない 不在設定メニューを表示しません。

承認通知メール設定画面

追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

承認通知メール設定画面に関する設定を行います。

承認通知メール設定画面

承認通知メール設定メニュー

▶承認依頼メール

▶承認依頼リマインダーメール

▶リマインダーの間隔と回数

▶自分が処理したメールの承認済通知メール

▶代理者が処理したメールの承認済通知メール

▶自分が処理したメールの差戻し通知メール

▶代理者が処理したメールの差戻し通知メール

▶承認期間経過後削除の通知メール (自分が担当の場合)

▶承認期間経過後削除の通知メール (代理者・不在代理者が担当の場合) 表示する ○ 表示しない ①

表示する ○ 表示しない 20

● 表示する ○ 表示しない 8

表示する 〇 表示しない 40

● 表示する ○ 表示しない 45

● 表示する ○ 表示しない 46

表示する C 表示しない

表示する C 表示しない 48

表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

【承認通知メール設定メニュー】

承認通知メール設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認通知メール設定メニューを表示します。 表示しない 承認通知メール設定メニューを表示しません。

2 【承認依頼メール】

承認依頼メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認依頼メールを表示します。 表示しない 承認依頼メールを表示しません。

【承認依頼リマインダーメール】

承認依頼リマインダーメールについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認依頼リマインダーメールを表示します。 表示しない 承認依頼リマインダーメールを表示しません。

【リマインダーの間隔と回数】

リマインダーの間隔と回数について表示/非表示を設定します。

表示する リマインダーの間隔と回数を表示します。 表示しない リマインダーの間隔と回数を表示しません。

[自分が処理したメールの承認済通知メール]

自分が処理したメールの承認済通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 自分が処理したメールの承認済通知メールを表示します。 表示しない 自分が処理したメールの承認済通知メールを表示しません。

【代理者が処理したメールの承認済通知メール】

代理者が処理したメールの承認済通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 代理者が処理したメールの承認済通知メールを表示します。 表示しない 代理者が処理したメールの承認済通知メールを表示しません。

(自分が処理したメールの差戻し通知メール)

自分が処理したメールの差戻し通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 自分が処理したメールの差戻し通知メールを表示します。 表示しない 自分が処理したメールの差戻し通知メールを表示しません。

【代理者が処理したメールの差戻し通知メール】

代理者が処理したメールの差戻し通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 代理者が処理したメールの差戻し通知メールを表示します。 表示しない 代理者が処理したメールの差戻し通知メールを表示しません。

【承認期間経過後削除の通知メール(自分が担当の場合)】

承認期間経過後削除(自分が担当の場合)の通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認期間経過後削除の通知メールを表示します。 表示しない 承認期間経過後削除の通知メールを表示しません。

① 【承認期間経過後削除の通知メール(代理者・不在代理者が担当の場合)】

承認期間経過後削除(代理者・不在代理者が担当の場合)の通知メールについて表示/非表示を 設定します。

表示する 承認期間経過後削除の通知メールを表示します。 表示しない 承認期間経過後削除の通知メールを表示しません。

通知メール管理画面

通知メール管理画面に関する設定を行います。

通知メール管理画面

通知メール管理メニュー

- 添付ファイル暗号化通知文 (元メールの文頭に追加される物)
- ▶ 暗号化したファイルのパスワード通知メール
- ダウンロードセンターURL通知文 (元メールの文頭に追加される物)
- ▶ ダウンロードセンターURL通知メール (別メールで配送される物)
- ダウンロードセンターパスワード配送 通知文(元メールの文頭に追加される物)
- ▶ 受信者向けダウンロードセンターの パスワード通知メール

- 表示する 表示しない
- 表示する表示しない
- 表示する表示しない
- 表示する表示しない
- 表示する表示しない
- 表示する表示しない
- 表示する 表示しない

【通知メール管理メニュー】

通知メール管理メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 通知メール管理メニューを表示します。 表示しない 通知メール管理メニューを表示しません。

◯ 【添付ファイル暗号化通知文 (元メールの文頭に追加される物)】

添付ファイル暗号化通知文(元メールの文頭に追加される物)について表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル暗号化通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示しません。

【暗号化したファイルのパスワード通知メール】

暗号化したファイルのパスワード通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 暗号化したファイルのパスワード通知メールを表示します。 表示しない 暗号化したファイルのパスワード通知メールを表示しません。

【ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)】

ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)について表示/非表示を 設定します。

表示する ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示します。 表示しない ダウンロードセンターURL通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示しま せん。

【ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)】

ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)について表示/非表示を設定します。

表示する ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)を表示します。 表示しない ダウンロードセンターURL通知メール(別メールで配送される物)を表示しま せん。

(デウンロードセンターパスワード配送通知文(元メールの文頭に追加される物))

ダウンロードセンターパスワード配送通知文 (元メールの文頭に追加される物)について表示/ 非表示を設定します。

表示する

ダウンロードセンターパスワード配送通知文(元メールの文頭に追加される物)を表示します。 表示しない

ダウンロードセンターパスワード配送通知文 (元メールの文頭に追加される物)を表示しません。



【受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メール】

受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メールについて表示/非表示を設定します。 表示する 受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メールを表示します。 表示しない 受信者向けダウンロードセンターのパスワード通知メールを表示しません。

通知メール種別管理画面

通知メール種別管理画面に関する設定を行います。

通知メール種別管理画面通知メール種別管理メニュー

***表示する ***表示しない



【通知メール種別管理メニュー】

通知メール種別管理メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 通知メール種別管理メニューを表示します。 表示しない 通知メール種別管理メニューを表示しません。

通知メール設定画面

通知メール設定画面に関する設定を行います。



【 通知メール設定メニュー 】

通知メール設定メニューについて表示/非表示を設定します。

表示する 通知メール設定メニューを表示します。 表示しない 通知メール設定メニューを表示しません。

条件設定表示について表示/非表示を設定します。

表示する 条件設定を表示します。 表示しない 条件設定を表示しません。

【通知メール種別】

通知メール種別 表示について表示/非表示を設定します。

表示する 通知メール種別 を表示します。 表示しない 通知メール種別 を表示しません。

【対象の宛先】

対象の宛先について表示/非表示を設定します。

表示する 対象の宛先を表示します。 表示しない 対象の宛先を表示しません。

[ブループ]

┃ グループについて表示/非表示を設定します。

表示する グループを表示します。 表示しない グループを表示しません。

【優先度設定】

優先度設定について表示/非表示を設定します。

プロパティ画面

プロパティ画面に関する設定を行います。

プロバティ画面

プロバティメニュー

承認通知メール設定

- ▶承認待ちの通知メール
- ▶代理者選択可能通知メール
- ▶承認済み通知メール

表示する ○ 表示しない

- 表示する 表示しない
- 表示する 表示しない
- 表示する C 表示しない
- 表示する 表示しない

【プロパティメニュー】

プロパティメニューについて表示/非表示を設定します。

表示する プロパティメニューを表示します。 表示しない プロパティメニューを表示しません。

下記項目は追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

○ 【承認通知メール設定】

承認通知メール設定について表示/非表示を設定します。

表示する 承認通知メール設定を表示します。 表示しない 承認通知メール設定を表示しません。

◯【承認待ちの通知メール】

承認待ちの通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認待ちの通知メールを表示します。 表示しない 承認待ちの通知メールを表示しません。

【代理者選択可能通知メール】

| 代理者選択可能通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 代理者選択可能通知メールを表示します。 表示しない 代理者選択可能通知メールを表示しません。

【承認済み通知メール】

│ 承認済み通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 承認済み通知メールを表示します。 表示しない 承認済み通知メールを表示しません。

ヘッダーメニュー

ヘッダーメニューに関する設定を行います。

ヘッダーメニュー

ヘルプメニュー

| ⓒ 表示する ○ 表示しない

【ヘルプメニュー】

ヘルプメニューについて表示/非表示を設定します。

表示する ヘルプメニューを表示します。 表示しない ヘルプメニューを表示しません。

2.12.2 メール詳細設定

システム管理者画面【システム設定 **】【** パーソナルコントローラ設定 **】【** メール詳細設定 】

メール詳細設定は、ユーザが使用するパーソナルコントローラのメール一覧から関係がタン、または 保留通知メールのリンク先の参照にて表示させる画面、メール詳細画面の各種設定を行います。

【各 メール詳細画面図】



メール詳細画面は第1段階と第2段階に別れており、第1段階では主に保留ポリシーにマッチし保留されたメールの内容チェックや添付ファイルのチェックを行います。第2段階では、zip変換やWebダウンロードへの変更、パスワード、添付ファイル対象、ヘッダ変換等の変更が可能です。ユーザ自身が見直しを行う事ができます。

メール詳細画面(1段階)

保留の確認を行うメール詳細画面(1段階)について表示/非表示の設定を行います。

メール詳細画面(1段階)

📵 保留の確認を行うメール詳細画面(1段階)での表示設定を行います。

添付ファイルブレビュー

「次へ」ボタン

● 表示する ○ 表示しない Д

€ 表示する ○ 表示しない

【添付ファイルプレビュー】

添付ファイルのプレビュー機能(ボタン)について表示/非表示を設定します。

表示する ボタンを表示します。 表示しない ボタンを表示しません。

【「次へ」ボタン】 2

「次へ」ボタンについて表示/非表示を設定します。

表示する「次へ」ボタンを表示します。 表示しない「次へ」ボタンを表示しません。



保留ポリシーにて、保留期間経過後の処理方法を「配送せずサーバから削除して送信者にエラー メールを返す」に設定した状態で、「表示しない」を選択した場合、ボタンが非表示になる為、変更 が行えず、配送もできない状態になってしまいます。ご注意下さい。

メール詳細画面(2段階)

添付ファイル変換やWebダウンロード、ヘッダ変換等の変更を行う事ができるメール詳細画面(2段階) での表示の設定を行います。ここで「表示する」または「表示しない」を設定しますと、メール詳細画 面(2段階)での各宛先毎の右に出力される各ポリシー設定部が表示・非表示となります。

メール詳細画面(2段階)

② 添付ファイル変換やヘッダ変換等の表示や変更を行うメール詳細画面(2相階)での表示設定を行います。 ポリシーに関する項目は、ユーザより優先度の高いポリシーにマッチした場合は変更不可の状態表示のみとして、ユーザポリシー又はユーザより優先度の低いポリシーにマッチした場合は変更可として表示されます。

メール詳細画面(2段階)

│ ◎ 表示する ○ 表示しない

【メール詳細画面(2段階)】

メール詳細画面(2段階)について表示/非表示を設定します。

表示する メール詳細画面(2段階)を表示します。 表示しない メール詳細画面(2段階)を表示しません。



パスワードポリシーにて、パスワード設定方法を「手動(空)」に設定した状態で、「表示しない」 を選択した場合、画面が非表示になる為、変更が行えず、配送もできない状態になってしまいます。 ご注意下さい。

添付ファイル暗号化ポリシー

添付ファイル暗号化ポリシー部分に関する設定を行います。

▶ 添付ファイル暗号化ポリシー

添付ファイル暗号化ポリシー全体

- ▶添付ファイル暗号化
- ▶zipして暗号化
- ▶拡張子指定

- ⊙ 表示する 表示しない
- ◎ 表示する 表示しない
- 表示する 表示しなし
- 表示する 表示しない 型

【添付ファイル暗号化ポリシー全体】

添付ファイル暗号化ポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル暗号化ポリシー全体を表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化ポリシー全体を表示しません。

【添付ファイル暗号化】

添付ファイル暗号化について表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル暗号化を表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化を表示しません。

【zipして暗号化】

zipして暗号化について表示/非表示を設定します。

表示する zipして暗号化を表示します。 表示しない zipして暗号化を表示しません。

【拡張子設定】

拡張子設定について表示/非表示を設定します。

表示する 拡張子設定を表示します。 表示しない 拡張子設定を表示しません。

webダウンロードポリシー

webダウンロードポリシーに関する設定を行います。

▶ webダウンロードポリシー

webダウンロードポリシー全体

▶webダウンロード

▶ダウンロード可能期間

▶ダウンロードURL通知方法

⊙ 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

【webダウンロードポリシー全体】

webダウンロードポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する webダウンロードポリシー全体を表示します。 表示しない webダウンロードポリシー全体を表示しません。

(2) 【webダウンロード】

webダウンロードについて表示/非表示を設定します。

表示する webダウンロードを表示します。 表示しない webダウンロードを表示しません。

【ダウンロード可能期間】

ダウンロード可能期間について表示/非表示を設定します。

表示する ダウンロード可能期間を表示します。 表示しない ダウンロード可能期間を表示しません。

「「ダウンロードURL通知方法】

ダウンロードURL通知方法について表示/非表示を設定します。

表示する ダウンロードURL通知方法を表示します。 表示しない ダウンロードURL通知方法を表示しません。

添付ファイル対象ポリシー

添付ファイル対象に関する設定を行います。

▶ 添付ファイル対象ポリシー

添付ファイル変換対象

● 変更可能 ○ 変更不可





【添付ファイル対象ポリシー】

添付ファイル対象ポリシーの変更可能/変更不可を設定します。

変更可能 添付ファイル横のチェックボックスを変更可能にします。 変更不可 添付ファイル横のチェックボックスを変更不可にします。

初期インストール時、デフォルトは「変更可能」になっています。

使用しいない状態でのアップデート時は「変更不可」の状態になります。使用する場合、「変更可能」 に変更して下さい。



注意

「変更不可」の場合、メール詳細画面(2段階)にてユーザが添付ファイル対象の変更を行えない状態になり ます。メール詳細画面(2段階)での変更も可能とさせたい場合、上記設定項目を「変更可能」に変更して下 さい。

またユーザ側でも添付ファイル対象を使用しポリシーを設定したい場合、【システム設定】-【パーソナルコン トローラ設定】-【メニュー設定】の「添付ファイル対象設定画面」の各項目を変更して下さい。

但し、設定によっては、添付ファイル変換を強制している場合もユーザが変換しないようにできる事になりま す。ポリシー設定にはご注意下さい。

パスワードポリシー

パスワードポリシーに関する設定を行います。

▶ パスワードポリシー

バスワードポリシー全体

▶パスワード設定

▶バスワード通知(自分)

▶バスワード通知(宛先)

▶バスワード・ヒントの登録

⊙ 表示する ○ 表示しなん

● 表示する ○ 表示しな

● 表示する ○ 表示しなべ

● 表示する ○ 表示しなぬ

● 表示する ○ 表示しなべり

【パスワードポリシー全体】

パスワードポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する パスワードポリシー全体を表示します。 表示しない パスワードポリシー全体を表示しません。

(パスワード設定)

パスワード設定について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード設定を表示します。 表示しない パスワード設定を表示しません。

🕠 【パスワード通知 (自分)】

パスワード通知(自分)について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知(自分)を表示します。 表示しない パスワード通知(自分)を表示しません。

(パスワード通知 (宛先)

パスワード通知 (宛先)について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知 (宛先)を表示します。 表示しない パスワード通知 (宛先)を表示しません。

【パスワード・ヒントの登録】

↑ パスワード・ヒントの登録について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード・ヒントの登録を表示します。 表示しない パスワード・ヒントの登録を表示しません。

ヘッダ変換ポリシー

ヘッダ変換ポリシーに関する設定を行います。

▶ ヘッダ変換ポリシー全体 ・ 表示する ○ 表示しない ② ▶ Всс変換 ・ 表示する ○ 表示しない ② ▶ Всс変換詳細設定 ・ 表示する ○ 表示しない ③ ▶ Dateヘッダ変更 ・ 表示する ○ 表示しない ④

【ヘッダ変換ポリシー全体】

ヘッダ変換ポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する ヘッダ変換ポリシー全体を表示します。 表示しない ヘッダ変換ポリシー全体を表示しません。

G 【Bcc变换】

Bcc変換ポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する Bcc変換を表示します。 表示しない Bcc変換を表示しません。

(Bcc变換詳細設定)

Bcc変換メールのToアドレスについて表示/非表示を設定します。

表示する Bcc変換メールのToアドレスを表示します。 表示しない Bcc変換メールのToアドレスを表示しません。

【Dateヘッダ変更】

Dateヘッダ変更について表示/非表示を設定します。

表示する Dateヘッダ変更を表示します。 表示しない Dateヘッダ変更を表示しません。

予約送信

予約送信に関する設定を行います。





予約送信について表示/非表示を設定します。

表示する 予約送信を表示します。 表示しない 予約送信を表示しません。





設定の確定(設定の反映には画面右上部の保護の展別ボタンをクリックする必要があります。)



【キャンセル ボタン】

設定内容をキャンセルし元に戻します。

2.12.3 管理者ポリシー表示設定

システム管理者画面【システム設定】【パーソナルコントローラ設定】【管理者ポリシー表示設定】

パーソナルコントローラ画面の右上部に表示される<管理者ポリシー表示>ボタンと<デフォルトポリシー表示>ボタンによるユーザが設定するポリシー以外の設定済みポリシーについて表示/非表示の制限します。

管理者ポリシー表示

パーソナルコントローラ上に表示させる管理者ポリシーの内容について制限します。ここで言う管理者ポリシーとは、ユーザの設定とは関係なく強制的に適用されるポリシー(画面メニューの***ポリシー(強制))を意味します。



【管理者ポリシー表示メニュー】

管理者ポリシー表示について表示/非表示を設定します。

表示する

管理者ポリシー表示メニューを表示します。

表示しない

管理者ポリシー表示メニューを表示しません。

メニューを表示しない場合、ユーザが強制的に適用されるポリシーを確認する事ができなくなります。



【送信拒否】

送信拒否について表示/非表示を設定します。

表示する 送信拒否を表示します。 表示しない 送信拒否を表示しません。





保留について表示/非表示を設定します。

表示する 保留を表示します。 表示しない 保留を表示しません。

保留詳細ポリシー全体	│ ◎ 表示する ○ 表示しない 🌉
▶保留期間	│ <mark> </mark>
▶保留期間経過後の処理	│ ◎ 表示する ◎ 表示しない 🎉
▶通知メール	│ ⑥ 表示する ○ 表示しない 🕰
▶リマインダー	│ ⑥ 表示する ○ 表示しない 🍎
▶リマインダー間隔と回数	│ ⊙ 表示する ○ 表示しない ②

【保留詳細ポリシー全体】

保留詳細ポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する 保留詳細ポリシーを表示します。 表示しない 保留詳細ポリシーを表示しません。

【保留期間】

保留期間について表示/非表示を設定します。

表示する 保留期間を表示します。 表示しない 保留期間を表示しません。

【保留期間経過後の処理】

保留期間経過後の処理について表示/非表示を設定します。

保留期間は保留キューに入った時点から計測します。

表示する 保留期間経過後の処理を表示します。 表示しない 保留期間経過後の処理を表示しません。

[通知メール]

通知メールについて表示/非表示を設定します。

表示する 通知メールを表示します。 表示しない 通知メールを表示しません。

【リマインダー】

リマインダーについて表示/非表示を設定します。

表示する リマインダーを表示します。 表示しない リマインダーを表示しません。

【リマインダー間隔と回数】

リマインダー間隔と回数について表示/非表示を設定します。

表示する リマインダー間隔と回数を表示します。 表示しない リマインダー間隔と回数を表示しません。

【パスワード通知保留期間】

パスワード通知保留期間について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知保留期間を表示します。 表示しない パスワード通知保留期間を表示しません。

▶ 添付ファイル暗号化ポリシー

添付ファイル暗号化ポリシー全体

▶添付ファイル暗号化.

▶zipして暗号化

▶拡張子指定

● 表示する ○ 表示しない 🕰

○ 表示する ○ 表示しない

● 表示する○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

【添付ファイル暗号化ポリシー全体】

添付ファイル暗号化ポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル暗号化ポリシーを表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化ポリシーを表示しません。

【添付ファイル暗号化】

添付ファイル暗号化について表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル暗号化を表示します。 表示しない 添付ファイル暗号化を表示しません。

【zipして暗号化】 **(R)**

zipして暗号化について表示/非表示を設定します。

表示する zipして暗号化を表示します。 表示しない zipして暗号化を表示しません。

【拡張子指定】

拡張子指定について表示/非表示を設定します。

表示する 拡張子指定を表示します。 表示しない 拡張子指定を表示しません。

▶ webダウンロードポリシー

webダウンロードポリシー全体

▶webダウンロード

▶ダウンロード可能期間

▶ダウンロードURL通知方法

◎ 表示する ○ 表示しない | ● 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない ● 表示する ○ 表示しない

【webダウンロードポリシー全体】

webダウンロードポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する webダウンロードポリシー全体を表示します。 表示しない webダウンロードポリシー全体を表示しません。

【webダウンロード】 (2)

webダウンロードについて表示/非表示を設定します。

表示する webダウンロードを表示します。 表示しない webダウンロードを表示しません。

【ダウンロード可能期間】 (8)

ダウンロード可能期間について表示/非表示を設定します。

表示する
ダウンロード可能期間を表示します。 表示しない ダウンロード可能期間を表示しません。

【ダウンロードURL通知方法】

ダウンロードURL通知方法について表示/非表示を設定します。

表示する
ダウンロードURL通知方法を表示します。 表示しない ダウンロードURL通知方法を表示しません。

▶ 添付ファイル対象ポリシー

添付ファイル対象ポリシー全体

▶添付ファイル変換

▶ポリシー条件の添付ファイル

| ● 表示する ○ 表示しない

● 表示する ○ 表示しない

│ ⑤ 表示する ○ 表示しない

【添付ファイル対象ポリシー全体】

添付ファイル対象ポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する 添付ファイル対象ポリシー全体を表示します。

表示しない 添付ファイル対象ポリシー全体を表示しません。

② 【添付ファイル変換】

添付ファイル変換について表示/非表示を設定します。

表示する。添付ファイル変換を表示します。

表示しない 添付ファイル変換を表示しません。

【ポリシー条件の添付ファイル】

ポリシー条件の添付ファイルについて表示/非表示を設定します。

デフォルトポリシー表示の欄にはありません

表示する ポリシー条件の添付ファイルを表示します。 表示しない ポリシー条件の添付ファイルを表示しません。

▶ パスワードポリシー

パスワードポリシー全体

▶パスワード設定

▶パスワード通知(自分)

▶パスワード通知(宛先)

▶パスワード通知文言の追加

│ ⊙ 表示する ○ 表示しない 🕰

│ ⊙ 表示する ○ 表示しない 🕰

● 表示する ○ 表示しない

│ ⊙ 表示する ○ 表示しない 🔑

│ ⊙ 表示する ○ 表示しない 🕭

【パスワードポリシー全体】

パスワードポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する パスワードポリシー全体を表示します。 表示しない パスワードポリシー全体を表示しません。

2 【パスワード設定】

パスワード設定について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード設定を表示します。 表示しない パスワード設定を表示しません。

【パスワード通知(自分)】

↑ パスワード通知(自分)について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知(自分)を表示します。 表示しない パスワード通知(自分)を表示しません。

【パスワード通知(宛先)】

パスワード通知 (宛先)について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知(宛先)を表示します。 表示しない パスワード通知(宛先)を表示しません。

【パスワード通知文言の追加】

パスワード通知文言の追加について表示/非表示を設定します。

表示する パスワード通知文言の追加を表示します。 表示しない パスワード通知文言の追加を表示しません。

▶ スコアポリシー ▶ スコア ○ 表示する ③ 表示しない

[スコア]

スコアについて表示/非表示を設定します。

表示する スコアを表示します。 表示しない スコアを表示しません。

▶ ヘッダ変換ポリシー ● 表示する ○ 表示しない ↑ Bcc変換 ● 表示する ○ 表示しない ▶ Bcc変換詳細設定 ● 表示する ○ 表示しない ▶ Dateヘッダ変更 ● 表示する ○ 表示しない ▶ Receivedヘッダを全て削除 ○ 表示する ○ 表示しない ▶ Cc/Bcc承認ポリシー ● 表示する ○ 表示しない

へ 【ヘッダ変換ポリシー全体】

ヘッダ変換ポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する ヘッダ変換ポリシー全体を表示します。 表示しない ヘッダ変換ポリシー全体を表示しません。

图 【Bcc变换】

Bcc変換について表示/非表示を設定します。

表示する Bcc変換を表示します。 表示しない Bcc変換を表示しません。

【Bcc变換詳細設定】

Bcc変換詳細設定について表示/非表示を設定します。

表示する Bcc変換詳細設定を表示します。 表示しない Bcc変換詳細設定を表示しません。

【Dateヘッダ変更】

Dateヘッダ変更について表示/非表示を設定します。

表示する Dateヘッダ変更を表示します。 表示しない Dateヘッダ変更を表示しません。

【Receivedへッダを全て削除】

Receivedヘッダを全て削除について表示/非表示を設定します。

表示する Receivedヘッダを全て削除を表示します。 表示しない Receivedヘッダを全て削除を表示しません。

CC/Bcc自動追加】

(b) Cc/Bcc自動追加について表示/非表示を設定します。

表示する Cc/Bcc自動追加を表示します。 表示しない Cc/Bcc自動追加を表示しません。



【本文変換ポリシー全体】

本文変換ポリシー全体について表示/非表示を設定します。

表示する 本文変換ポリシー全体を表示します。 表示しない 本文変換ポリシー全体を表示しません。

2 【ウィルススキャン定型文】

ウィルススキャン定型文について表示/非表示を設定します。

表示する ウィルススキャン定型文を表示します。 表示しない ウィルススキャン定型文を表示しません。

【自由定型文】

自由定型文について表示/非表示を設定します。

表示する 自由定型文を表示します。 表示しない 自由定型文を表示しません。

 通知メールポリシー

 通知メールポリシー全体

 # 表示する ** 表示しない

【通知メールポリシー】

通知メールポリシーについて表示/非表示を設定します。

表示する 通知メールポリシーを表示します。 表示しない 通知メールポリシーを表示しません。

 ▶ 内部外部定義

 内部外部定義全体
 ⑤ 表示しない

【内部外部定義全体】

内部外部定義全体について表示/非表示を設定します。

表示する 内部外部定義全体を表示します。 表示しない 内部外部定義全体を表示しません。

デフォルトポリシー表示

パーソナルコントローラ上に表示させるデフォルトポリシーの内容について制限します。ここで言うデ フォルトポリシーとは、ユーザによるポリシーが未設定の場合、適用されるポリシー(画面メニューの * * * ポリシー (標準))を意味します。

デフォルトポリシー表示

デフォルトポリシー表示メニュー

● 表示する ○ 表示しない





【デフォルトポリシー表示メニュー】

デフォルトポリシー表示メニューについて表示/非表示を設定します。

表示するデフォルトポリシー表示メニューを表示します。 表示しない デフォルトポリシー表示メニューを表示しません。



「表示しない」に設定した場合、メニューは表示されません。その為ユーザは標準的に適用される ポリシー(ユーザポリシーに該当しない場合、適用されるポリシー)を確認する事ができなくなり



デフォルトポリシー表示以降の各項目の設定については管理者ポリシー部と同様の為、設定内容を省略させて 頂きます。

以下:省略となる機能

送信拒否ポリシー

保留ポリシー

保留詳細ポリシー

添付ファイル暗号化ポリシー

webダウンロードポリシー

添付ファイル対象ポリシー

パスワードポリシー

ヘッダ変換ポリシー

本文変換ポリシー

通知メールポリシー

3 ポリシー設定

システム管理者画面:【ポリシー設定】

Active gate を使用する送信メールについてこのポリシーと呼ばれる条件の設定を行う事で、保留や添付ファイル暗号化(zip暗号化)等の機能がご利用可能です。また、各設定画面ごとのポリシーに優先順を付けこれをポリシーチェインと呼び、このチェインも含めチェイン内の各ポリシーにも、優先順位が付けられます。ポリシーチェインの詳細は、後述206ページ:「ポリシーチェイン管理」を参照して下さい。以下に各ポリシー設定画面ごとに説明致します。



注意

全てのポリシー設定に共通する動作として、対象となるドメイン・メールアドレスはheader-to/cc/bcc, header-fromとなります。

ユーザ登録及び登録ユーザへの各通知メールは元メールのenvelope-fromが対象となり、宛先への通知メール等は元メールのenvelope-toが対象となります。

3.1 システムポリシー(強制)

システム管理者画面【ポリシー設定】【システムポリシー(強制)】

システム全体に有効となるポリシーで全ユーザに強制的に適用されるポリシーです。ここで設定され た項目は全ユーザのパーソナルコントローラ上で表示されなくなります。ユーザは設定自体を行えま せん。



注意

設定を行った項目は、その下位の「管理者ポリシー(強制) グループポリシー(強制) ユーザポリシー、グループポリシー(標準) 管理者ポリシー(標準)」に項目が表示されなくなり、詳細な条件設定が不可能になります。例えば「保留ポリシー 使用しない」とした場合、左MENU部の「保留」欄そのものが消えてしまいます。ご注意下さい。

3.1.1 保留ポリシー

送信メールをサーバ上に保留し、配送させない為の設定を行います。





全ての項目はインストール直後は何も設定されていません。各項目の左のチェックボックスにチェックを入れる事によって機能致します。またチェックを入れると下記のように詳細設定項目を表示します。



順を追って各項目についてご説明します。



【保留ポリシー】

保留機能を使用するかしないかの設定を行います。

保留する 保留機能を使用します。 保留しない 保留機能を使用しません。



メモ

【確認する項目について】

設定したポリシーに該当し保留されたメールはパーソナルコントローラのメール詳細画面にて確認を行う必要があります。「確認する項目」欄はその際にチェックをするべき項目を設定します。

各項目にはアイコンが表示され、バルーン表示内にて確認し保留の解除を行う必要があります。ここで設定した確認項目をチェックしない限り配送を行えません。

宛先に関するポリシーにマッチし保留された場合、宛先をチェックする事がご利用方法として一般的に必要と思われますが、ここでは本文全体をチェックさせる事も可能です。例として、宛先に外部が含まれるポリシーにマッチし保留された場合、宛先のチェックは当然ながら、外部への送信の為、"本文の内容もチェックさせたい"として2重チェックにさせる事も可能です。

 \mathfrak{D}

【確認する項目】

☑全宛先:保留されたメールのチェック項目を全宛先とします。

全部まとめて : 宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。

伏世字入力: 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

☑全ドメイン:保留されたメールのチェック項目を全ドメインとします。

−つずつ : 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。

全部まとめて : 宛先を全部まとめて1度にチェックを行います。

| | 伏世字入力 | : 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

【確認する項目】

✓ From:保留されたメールのチェック項目をFromとします。

アドレス確認 : From のチェックを行います。

伏世字入力 : From に伏せ字入力によるチェックを行います。

☑件名:保留されたメールのチェック項目を件名とします。

☑本文全体:保留されたメールのチェック項目を本文全体とします。

【確認する項目】

☑全添付ファイル名:保留されたメールのチェック項目を全添付ファイル名とします。

-つずつ: 各添付ファイルごとに1 つずつチェックが必要となります。

全部まとめて : 添付ファイルを全部まとめて1 度にチェックします。

☑添付ファイル内容確認:保留されたメールのチェック項目を添付ファイルの内容とします。

☑確認する項目なし:保留されてもチェックを行わず直ちに配送処理を行えます。

【保留期間設定】

保留する期間の設定を行います。[](分/時間/日)

【保留期間経過後の処理方法】

保留期間経過後の保留メールの処理内容を設定します。

保留期間は保留キューに入った時点から計測します。

配送先に配送する

保留期間経過後、保留メールを配送先に配送します。

配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す

保留期間経過後、サーバから削除し送信者へエラーメールを配信します。

【保留通知メールポリシー】

保留された際に送信者へ保留された事を通知する為のメールを配信するかしないかの設定を行います。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【リマインダーポリシー】

保留通知メールの再送をするかしないかの設定を行います。「通知メール」を使用する設定になっている必要があります。また、間隔と回数を後述設定で行う必要があります。

配信する リマインダー配信を行います。

配信しない リマインダー配信を行いません。

1 リマインダー間隔と回数】

リマインダーメールの間隔と回数を設定します。「通知メール」及び「リマインダー」を使用 する設定になっている必要があります。

リマインダー間隔 [](分/時間/日) リマインダー回数 []

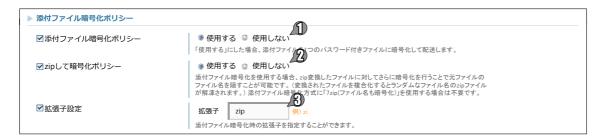
(パスワード通知保留期間設定)

(B) パスワード通知を保留する場合にメールをサーバに残す期間を設定します。0分以上の期間を設定して下さい。

[](分/時間)

3.1.2 添付ファイル暗号化ポリシー

添付ファイル付き送信メールの添付ファイル部分を添付ファイル暗号化させる為の設定を行います。



【添付ファイル暗号化ポリシー】

添付ファイル付きメールの添付ファイルを添付ファイル暗号化するかしないかの設定を行いま す。変換後のファイルは暗号化され解凍用パスワードが付与され配送します。

使用する 添付ファイル暗号化します。 使用しない 添付ファイル暗号化しません。



パスワードの長さや、使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー(標準)-パス ワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 193ページ:「パスワードポリシー」を参照して下 さい。

【zipして暗号化ポリシー】 2

添付ファイル暗号化を使用する場合、zip変換したファイルに対してさらに暗号化を行う事で、 元ファイルのファイル名を隠す事が可能です。(変換されたファイルを複合化するとランダム なファイル名のzipファイルが解凍します。)添付ファイル暗号化方式に「7zip(ファイル名も 暗号化)」を使用する場合、不要です。

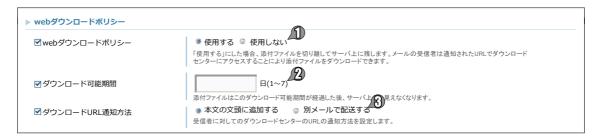
使用する zipして暗号化します。 使用しない zipして暗号化しません。

【拡張子指定】 **3**

添付ファイル暗号化時の添付ファイルの拡張子を指定する為の設定です。

3.1.3 webダウンロードポリシー

添付ファイル付き送信メールの添付ファイル部分をwebダウンロードさせる為の設定を行います。



添付ファイル付きメールの添付ファイル部分のみを直接メール添付で配送せず、Active gate サーバに保存し、web(ブラウザベース)でダウンロードにより送達する為の機能です。メールの受信者は通知されたURLでダウンロードセンターにアクセスする事により添付ファイルをダウンロードできます。

使用する webダウンロード機能を使用します。 使用しない webダウンロード機能を使用しません。

【ダウンロード可能期間】

保存された添付ファイルのダウンロード可能な期間を設定します。[](単位:日)

【ダウンロードURL通知方法】

宛先に添付ファイルがダウンロード可能な状態である事を知らせる方法を設定します。

本文の文頭に追加する

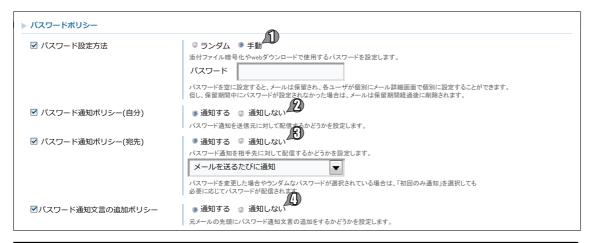
宛先に送信したメール本文の文頭に、添付ファイルが分離されダウンロード可能である 事を追記します。

別メールで配送する

添付ファイルが分離されダウンロード可能である事を元メールとは別のメールを自動配信し通知します。

3.1.4 パスワードポリシー

添付ファイル暗号化やwebダウンロード化された添付ファイルの暗号化(パスワード設定)やパスワードの通知方法に関する設定を行います。



【パスワード設定方法】

添付ファイルに付与されるパスワード設定方法を設定します。

ランダム

英数字と記号から10桁ランダムで生成。下記参照。

生成される文字列:[2-9] [a-z,A-Z(小文字[lo] 大文字[lO]除外)] [!@#\$%&*_-+=:<>?/]

手動

英数字と記号から指定します。

使用可能文字列:[0-9][a-z,A-Z]['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/]



メモ

パスワードを空に設定すると、メールは保留され、各ユーザが個別にメール詳細画面で個別に設定する事ができます。



メモ

パスワードの最短の長さや使用可能文字列の変更を行う場合、【システムポリシー(標準) - パスワードポリシー】にて行います。

(1) 【パスワード通知ポリシー(自分)】

付与されたパスワードを自分(送信者)宛へ通知をするかしないかの設定を行います。

通知する 自分(送信者)に通知します。

通知しない 自分(送信者)に通知をしません。

【パスワード通知ポリシー(宛先)】

付与されたパスワードを宛先へ通知をするかしないかの設定を行います。

通知する 宛先に通知します。

メールを送るたびに通知 メールを送るたびに通知メールを配信します。 初回のみ通知 宛先へ初回のみ通知メールを配信します。

通知しない 通知をしません。



【パスワード通知文言の追加ポリシー】

ログインパスワードは別メールで配送される事が、元のメールの文頭に追記するかしないかの 設定を行います。

追加する 元メールの先頭に追記します。 追加しない 元メールへの追記をしません。

3.1.5 ヘッダ変換ポリシー

送信メールのヘッダ部分を自動で変換する為の設定を行います。

▶ ヘッダ変換ポリシー	
☑ Bcc変換ポリシー	● 変換する ◎ 変換しない☑ 外部宛先をBcc変換する☑ 内部宛先をBcc変換する
☑ Bcc変換詳細設定	To, CcをBccに変換するかどうかを設定します。変換する場合、 どのアドレスを変換するかも設定できませる。 ************************************
E DCC 1980+4440X/E	● Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う ● Toに ■ Toに ■ Eoc責機後Toアドレスがなくなった場合、Toアドレスに表示する内容を設定しますなお、ここで設定した内容はToアドレスに表示されるだけで、実際の配送とは関係ありません。
☑ Dateヘッダ変更ポリシー	 変更する ◎ 変更しなし 保留されたメール 申間経過したメール 保留等で時間が経過した場合にDateヘッダを変更するかどうかを設定します。
☑ Receivedヘッダ削除ポリシー	● 削除する ● 削除しない とうかを設定できます。内部の経路情報を外部に漏らしたくない場合に使用します。但し、メールループの検知ができなくなる場合がありますので、ご注意下さい。
☑ Cc/Bcc自動追加	● する ● しない 設定したメールアドレスをCoやBeoに追加してメールを送信します。 ▼Ccに追加するメールアドレス Ccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力してください。 ▼Bccに追加するメールアドレス
	Bccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力してください。

【Bcc変換ポリシー】

To, CcをBccに変換するかどうかを設定します。変換する場合、どのアドレスを変換するかも設定できます。

変換する Bcc変換を行います。条件は下記項目から選択します。

☑ 外部宛先をBcc変換する

宛先が外部(Active gate に未登録のドメイン) の場合変換します。

☑ 内部宛先をBcc変換する

宛先が内部(Active gate に登録されたドメイン) の場合変換します。

変換しない Bcc変換を行いません。

② 【Bcc变换詳細設定】

Bcc変換後Toアドレスがなくなった場合、Toアドレスに表示する内容を設定します。なお、ここで設定した内容はToアドレスに表示されるだけで、実際の配送とは関係ありません。

ToにFromアドレスを使う ToにFromを使用します。

Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う Toに受信者のメールアドレスを使用します。 Toに入力値[]を使う Toに指定したものを使用します。

【Dateヘッダ変更ポリシー】

Active gate を経由するメールヘッダのDate (時刻)を変更する為の機能です。 保留等で時間が経過した場合にDateヘッダを変更するかどうかを設定します。

変更する 変更します。

- ☑ 保留されたメール 保留メールのみを対象とします。
- ☑ []時間経過したメール 保留後経過した時間を指定し、そのメールを対象とします。

変更しない 変更しません。

【Receivedヘッダ削除ポリシー】

Active gate を経由するまでのReceivedヘッダを削除する為のポリシーです。

内部の経路情報を外部に漏らしたくない場合に使用します。 但し、メールループの検知ができなくなる場合があります。ご注意下さい。

削除する Receivedヘッダを削除します。

削除しない Receivedヘッダを削除しません。

(

【Cc/Bcc自動追加】

設定したメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信します。

する Cc又はBccとしてメールを送信します。

Ccに追加するメールアドレス

Ccでメールを送信します。

Ccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力して下さい。

Bccに追加するメールアドレス

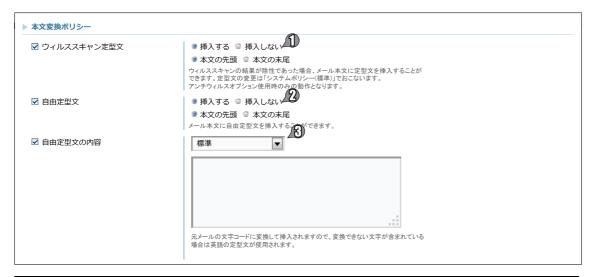
Bccでメールを送信します。

Bccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力して下さい。

しない Cc又はBccとしてメールを送信しません。

3.1.6 本文変換ポリシー

送信メールの本文に自動で文言を設定する為の設定を行います。



【ウィルススキャン定型文】

ウィルススキャンの結果が陰性であった場合、メール本文に定型文を挿入する事ができます。 定型文の変更は「システムポリシー (標準)」で行います。

アンチウィルスオプション使用時のみの動作となります。

挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。

本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。

挿入しない 挿入しません。

2 【自由定型文】

メール本文に自由定型文を挿入する事ができます。

挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。

本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。

挿入しない 挿入しません。

【自由定型文の内容】

自由定型文の内容を設定します。標準/英語から選択します。

元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は 英語の定型文が使用されます。

本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。

最大入力文字数は1024文字までとなっています。



注意

自由定型文/ウィルス定型文で1行にて全角で493文字以上、半角で986文字以上で設定した場合、メール本文ではSMTPの仕様により上記文字数以降は文字が化けて表示されてしまいます。1行の入力文字数に制限はございませんが、最大でも1行100文字前後で入力される事を推奨します。

3.1.7 通知メールポリシー

受信者(各宛先)に配送される通知メールの設定を行います。



1

【受信者向け通知メールの種類】

「受信者向け種別管理」にて追加した言語の種別を選択します。 詳細は、前述78ページ:「受信者向け種別管理」を参照して下さい。



メモ

受信者向け通知メールのデフォルトは「システムポリシー(標準) - 受信者向け通知メールの種類」にて決定されます。詳細は、後述 197ページ:「システムポリシー(標準) - 受信者向け通知メールの種類」を参照して下さい。

A

【〇K」ボタン】

画面上の全ての変更した内容を確定させます。 反映とは異なります。

3.2 管理者ポリシー(強制)

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー (強制)】

管理者のみが設定するポリシーでユーザに強制的に適用されるポリシーです。



注意

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、本マニュアルの各ポリシーの章内での説明 は省略させて頂きます。

【共通設定項目の省略対象となる画面】

グループポリシー (強制) ユーザポリシー グループポリシー (標準) 管理者ポリシー (標準)

3.2.1 送信拒否

システム管理者画面:【ポリシー設定 】-【管理者ポリシー (強制)】-【送信拒否】

【その他の画面共通メニュー】

- システム管理者画面【ポリシー設定 **】【**グループポリシー (強制)**】【**送信拒否 】

システム管理者画面【ポリシー設定 **】【**グループポリシー (標準)**】【**送信拒否 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】【管理者ポリシー (標準)】【送信拒否】

受付メール(メール送信者が Active gate を使用して送信されたメール(Active gate が受信したメール)。以降省略)が、設定するポリシーに合致した場合、そのメールを宛先へ配送せず、エラーメールとして送信者に配送させたり、指定の宛先に転送させたりする送信拒否の設定を行います。この機能は管理者のみが設定できる機能で、各ユーザにて設定する事はできません。

ポリシー新規登録/更新

送信拒否に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。



【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

(条件設定)

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

(送信拒否ポリシー)

登録するポリシーが送信拒否をする為のポリシーなのか、または送信拒否をしない為のポリ シーなのかを選択します。

送信拒否する 送信拒否をする為のポリシーです。

送信者に返送 送信拒否になった場合、送信者に通知メールを配送するかを設定します。

する: 通知メールの配送を設定します。

しない: 通知メールの配送を設定しません。

送信拒否しない 送信拒否しない為のポリシーです。

【拒否メール転送】 (4 J)

メールが拒否された場合、指定の宛先にそのメールを転送します。内部・外部共に有効です。

転送する メールが拒否された場合、指定の宛先にそのメールを転送します。

テキストエリア

転送させる宛先を指定します。宛先は複数指定可能です。

改行で登録を行います。

転送しない 転送しません。



送信拒否ポリシー、拒否メール転送等の通知メールに関する設定は、 【システム設定 - 通知メール管理】にて行います。

詳細は、前述31ページ:「送信拒否に対する通知メール」を参照して下さい。

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

【 追加 ボタン】

登録します。

【更新ポタン】

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

【キャンセルボタン】

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象を指定します。

ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。

【キーワード欄】 1

検索対象とするキーワードを入力します。

【〔検索〕ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。

【優先度】

優先度の表示。

【ポリシー名】 B

ポリシー名の表示。

【ポリシー】

ポリシー内容の表示。

【有効無効】 (F)

登録されたポリシーが有効か無効かの表示。

文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能で す。無効の場合一覧が灰色に表示されます。

【表示】 113

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【【削除】ボタン】 (III) ·覧からポリシーを選択して削除を行います。



【 __▼/1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.2 保留

システム管理者画面:【ポリシー設定 】【管理者ポリシー (強制)】【 保留 】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】-【グループポリシー(強制)】-【保留 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 【ユーザポリシー 】 【保留 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 【グループポリシー (標準)】 【保留】

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー(標準)】【保留】

送信メールの保留ポリシーを設定します。設定したポリシーに該当する送信メールは送信されず保留します。

ポリシー新規登録/更新

保留に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。



【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

【条件設定】
ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

【ポリシー】

(B)

登録するポリシーが保留をする為のポリシーなのか、または保留をしない為のポリシーなのか を選択します。

保留する 保留をする為のポリシーです。 保留しない 保留しない為のポリシーです。



【対象の宛先】

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部 (未登録ドメイン宛)を対象。

内部宛先 内部(登録済みドメイン宛)を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先にメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。



₩ メモ

その他の宛先 の指定方法について

テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。

例: [user@ah80.example.jp, example2.com, example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。

例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。



【確認する項目について】

設定したポリシーに該当し保留されたメールはパーソナルコントローラのメール詳細画面にて確認を行う必要 があります。「確認する項目」欄はその際にチェックをするべき項目を設定します。

各項目にはアイコンが表示され、バルーン表示内にて確認し保留の解除を行う必要があります。ここで設定し た確認項目をチェックしない限り配送を行えません。

币

【確認する項目】

✓宛先:保留されたメールのチェック項目を宛先とします。

: 全宛先がチェック対象となります。 全宛先

全外部宛先 : 全外部宛先がチェック対象となります。

:条件設定にて「宛先」を選択した場合に出力されます。 条件に一致

:条件設定にて設定した宛先がチェック対象となります。

一つずつ : 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。

全部まとめて : 宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。

伏せ字入力 : 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

☑ドメイン:保留されたメールのチェック項目をドメインとします。

:全ドメインがチェック対象となります。 全ドメイン

: 全外部ドメインがチェック対象となります。 全外部ドメイン

:条件設定にて「宛先」を選択した場合に出力されます。 条件に一致

:条件設定にて設定した宛先(ドメイン)がチェック対象となります。

一つずつ : 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。

全部まとめて : 宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。

伏せ字入力 : 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

【確認する項目】 ✓From:保留されたメールのチェック項目をFromとします。 アドレス確認 : From のチェックを行います。 伏せ字入力 : From に伏せ字入力によるチェックを行います。 ☑件名:保留されたメールのチェック項目を件名とします。 : 件名全体がチェック対象となります。 全体 :条件設定にて「件名」または「件名・本文・添付ファイル」を 条件に一致 選択した場合に出力されます。 :条件設定にて設定した件名がチェック対象となります。 ✓本文全体:保留されたメールのチェック項目を本文全体とします。 ☑条件に一致した本文:条件設定にて「本文」を選択した場合に選択可能になります。 :保留されたメールのチェック項目を条件に一致した本文とします。 【確認する項目】 ▼添付ファイル名:保留されたメールのチェック項目を添付ファイル名とします。 全添付ファイル : 全添付ファイルがチェック対象となります。 条件に一致 :条件設定にて「添付ファイル」または「件名・本文・添付ファイル」を 選択した場合に出力されます。 :条件設定にて設定した添付ファイルがチェック対象となります。 : 各添付ファイルごとに1 つずつチェックが必要となります。 一つずつ 全部まとめて :添付ファイルを全部まとめて1度にチェックします。 ☑添付ファイル内容確認:保留されたメールのチェック項目を添付ファイルの内容とします。 全添付ファイル : 全添付ファイルがチェック対象となります。 :条件設定にて「添付ファイル」または「件名・本文・添付ファイル」を 条件に一致 選択した場合に出力されます。 :条件設定にて設定した添付ファイルがチェック対象となります。

✓確認する項目なし:保留されてもチェックを行わず直ちに配送処理を行えます。

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

[追加 ボタン]

登録します。

[更新 ボタン]

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

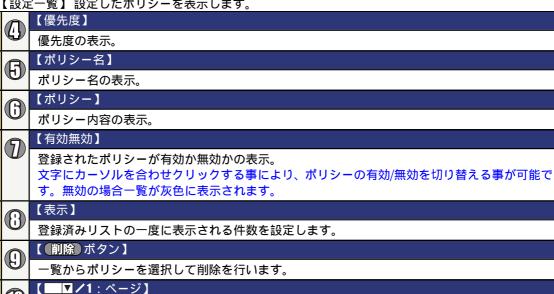
(事ャンセルボタン) 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。 【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。 【(検索)ボタン】 B 検索を実行します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。



M 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面 への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.3 保留詳細

システム管理者画面:【ポリシー設定】 【管理者ポリシー(強制)】 【保留詳細】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 【グループポリシー(強制)】 【保留詳細】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 【ユーザポリシー 】 【保留詳細 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】【グループポリシー (標準)】【保留詳細】

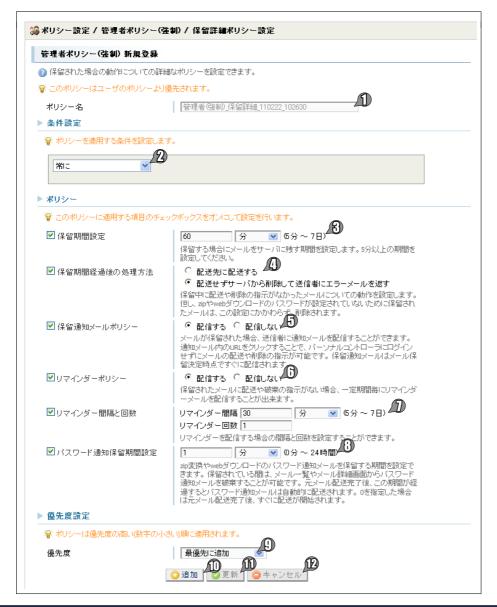
システム管理者画面:【ポリシー設定 】-【管理者ポリシー(標準)】-【保留詳細 】

保留されたメールに対し、保留期間や通知メール等の詳細なポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

保留詳細に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。



【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

② 【条件設定】 ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

ポリシー 保留後の主な動作について設定します。

图 (保

【保留期間設定】

保留する期間の設定を行います。[](分/時間/日)

【保留期間経過後の処理方法】

保留期間経過後の保留メールの処理内容を設定します。

保留期間は保留キューに入った時点から計測します。

配送先に配送する

保留期間経過後、保留メールを配送先に配送します。

配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す

保留期間経過後、サーバから削除し送信者へエラーメールを配信します。

【保留通知メールポリシー】

保留された際に送信者へ保留された事を通知する為のメールを配信するかしないかの設定を行います。

配信する 通知メールを配信します。 配信しない 通知メールを配信しません。

【リマインダーポリシー】

保留通知メールの再送をするかしないかの設定を行います。「通知メール」を使用する設定になっている必要があります。また、間隔と回数を後述設定で行う必要があります。

配信する リマインダー配信を行います。 配信しない リマインダー配信を行いません。

【リマインダー間隔と回数】

リマインダーメールの間隔と回数を設定します。「通知メール」及び「リマインダー」を使用する設定になっている必要があります。

リマインダー間隔 [](分/時間/日) リマインダー回数 []

【パスワード通知保留期間設定】

添付ファイル暗号化やwebダウンロードのパスワード通知メールを保留する期間を設定できます。

保留されている間は、メール一覧やメール詳細画面からパスワード通知メールを破棄する事が可能です。元メール配送完了後、この期間が経過するとパスワード通知メールは自動的に配送します。0分を指定した場合、元メール配送完了後、すぐに配送が開始します。

パスワード通知保留期間 [](分/時間)

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

10 【追加 ボタン】

登録します。

(重新)ボタン】

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

(年ャンセルボタン)

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。 【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。 【(検索)ボタン】 8 検索を実行します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

【優先度】 優先度の表示。 【ポリシー名】 (FI) ポリシー名の表示。 【ポリシー】 ポリシー内容の表示。 【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能で す。無効の場合一覧が灰色に表示されます。 【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。 【【削除】ボタン】

一覧からポリシーを選択して削除を行います。

【 ▼/1:ページ】 1 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面 への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.4 添付ファイル暗号化

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー(強制)】【添付ファイル暗号化】

【その他の画面共通メニュー】

■ システム管理者画面【ポリシー設定】【グループポリシー (強制)】【添付ファイル暗号化 】

システム管理者画面【ポリシー設定】【ユーザポリシー】【添付ファイル暗号化】

システム管理者画面【ポリシー設定】【グループポリシー(標準)】【添付ファイル暗号化】

−システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー (標準)】【添付ファイル暗号化 】

添付ファイルを添付ファイル暗号化する為のポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

添付ファイル暗号化に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。





【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

2

【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

【添付ファイル暗号化ポリシー】 **(23)**

メールの添付ファイルを1つのパスワード付きファイルに暗号化するかしないかの設定を行い ます。変換後のファイルは暗号化され解凍用パスワードが付与され配送します。

使用する 添付ファイル暗号化します。 使用しない 添付ファイル暗号化しません。



パスワードの長さや、使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー(標準)-パス ワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 193ページ:「パスワードポリシー」を参照して下 さい。

【zipして暗号化ポリシー】

添付ファイル暗号化を使用する場合、zip変換したファイルに対してさらに暗号化を行う事で、 元ファイルのファイル名を隠す事が可能です。本設定により2回暗号化が行われ、これにより 元ファイルのファイル名を隠す事が可能です。

使用する zipして暗号化します。 使用しない zipして暗号化しません。

【拡張子指定】

添付ファイル暗号化時の添付ファイルの拡張子を指定する為の設定です。

拡張子 []

【対象の宛先】 (i)

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部(未登録ドメイン宛)を対象。

内部宛先 内部(登録済みドメイン宛)を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先にメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。



その他の宛先 の指定方法について

テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。 例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。

例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

【追加ボタン】 ({:})

登録します。

【更新」ボタン】

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

【キャンセルボタン】 **(**[[]

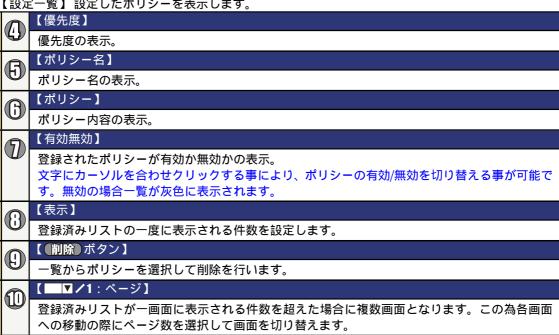
設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。



【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。



3.2.5 web ダウンロード

システム管理者画面:【ポリシー設定 】**【**管理者ポリシー (強制)】**【** web ダウンロード 】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定 **】【** グループポリシー (強制)**】【** web ダウンロード 】

システム管理者画面【ポリシー設定】**【**ユーザポリシー】【web ダウンロード】

システム管理者画面:【ポリシー設定 **】-【**グループポリシー(標準)**】-【**web ダウンロード 】

- システム管理者画面【ポリシー設定 **】【**管理者ポリシー(標準)**】【** web ダウンロード 】

添付ファイルを分離して Active gate サーバに保存しwebダウンロード機能を使用して、宛先に提供します。

ポリシー新規登録/更新

web ダウンロードに関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。



【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

(条件設定)

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

添付ファイル付きメールの添付ファイル部分のみを直接メール添付で配送せず、Active gote サーバに保存し、web(ブラウザベース)でダウンロードにより送達する為の機能です。メールの受信者は通知されたURLでダウンロードセンターにアクセスする事により添付ファイルをダウンロードできます。

使用する webダウンロード機能を使用します。 使用しない webダウンロード機能を使用しません。

【ダウンロード可能期間】

保存された添付ファイルのダウンロード可能な期間を設定します。[](単位:日)

F

【ダウンロードURL通知方法】

宛先に添付ファイルがダウンロード可能な状態である事を知らせる方法を設定します。

本文の文頭に追加する

宛先に送信したメール本文の文頭に、添付ファイルが分離されダウンロード可能である 事を追記します。

別メールで配送する

添付ファイルが分離されダウンロード可能である事を元メールとは別のメールを自動配信し通知します。

【対象の宛先】

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部(未登録ドメイン宛)を対象。

内部宛先 内部(登録済みドメイン宛)を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。



XE.

その他の宛先 の指定方法について

テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。

例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

7

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

【追加 ボタン】

登録します。

(更新)ボタン】

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

【キャンセルボタン】

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象と指定します。
 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。
 【キーワード欄】
 検索対象とするキーワードを入力します。
 【検索 ボタン】
 検索を実行します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。 【優先度】 優先度の表示。 【ポリシー名】 ポリシー名の表示。 【ポリシー】 ポリシー内容の表示。 【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能で す。無効の場合一覧が灰色に表示されます。 【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。 【【削除」ボタン】 (1) 一覧からポリシーを選択して削除を行います。 【 ▼/1:ページ】 1 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面 への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.6 添付ファイル対象

・システム管理者画面【ポリシー設定 **】【**管理者ポリシー(強制)**】【**添付ファイル対象 】

【その他の画面共通メニュー】

■ システム管理者画面【ポリシー設定】【グループポリシー (強制)】【添付ファイル対象 】

システム管理者画面【ポリシー設定】【ユーザポリシー】【添付ファイル対象】

システム管理者画面【ポリシー設定】【グループポリシー (標準)】【添付ファイル対象】

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー(標準)】【添付ファイル対象】

メモ

パーソナルコントローラ側でも添付ファイル対象を使用しポリシーを設定したい場合、【システム設定】-【パーソナルコントローラ設定】-【メニュー設定】の「添付ファイル対象設定画面 / 添付ファイル対象設定メニュー」を変更して下さい。

メール詳細画面(2段階)での変更も可能とさせたい場合、【システム設定】-【パーソナルコントローラ設定】-【メール詳細設定】の「メール詳細画面(2段階)/添付ファイル対象ポリシー」を変更して下さい。

但し、設定によっては、添付ファイル変換を強制している場合もユーザが変換しないようにできる事になります。ポリシー設定にはご注意下さい。

ユーザ(送信者)が送信する様々な種類の添付ファイルを、添付ファイル対象ポリシーにて切り分け、 前述の各ポリシーの対象 / 非対象とさせる事が可能です。

例えば、あるキーワードを含むファイル名のみを【添付ファイル暗号化(zip変換)】ポリシーの対象とさせたり、【送信拒否】ポリシーの対象から除外させる事や、特定の拡張子を【保留】ポリシーの「条件:添付ファイル」の対象から外す事も可能です。ユーザはパーソナルコントローラのメール詳細画面(2段階)にてチェックボックスを押下する事により、任意に変更も可能です。(強制ポリシーは変更不可)対象から外された添付ファイルは、通常通りメールに添付します。

[例]

- ファイル名に「お見積り」が含まれているファイルのみを添付ファイル暗号化(zip変換)や webダウンロードさせたい。
- すでに暗号化されているファイルは添付ファイル暗号化(zip変換)から除外したい。
- サイズが1MB以下のファイルは保留ポリシーの「条件:添付ファイル」から除外させたい。

C FNEXT III

次ページより各設定項目のご説明と、簡単ではありますが、使用方法を例題を上げてご説明していきます。

ポリシー新規登録/更新

添付ファイル対象に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。



【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

ポリシーの条件を設定します。



「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定は、「添付ファイル対象」ポリシー独自の条件設定になっ ています。詳細は、後述204ページ:「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定を参照して下さい。

【添付ファイル変換】 **(B)**

添付ファイル変換の対象 / 非対象を設定します。上記「条件設定」と組み合わせ、どの添付 ファイルを【添付ファイル暗号化 (zip変換)】や【webダウンロード】の対象とさせるか、ま たは除外させるかを設定します。

対象とする 添付ファイル変換の対象とします。 対象としない 添付ファイル変換の対象としません。

【ポリシー条件の添付ファイル】

ポリシー条件の添付ファイルの対象 / 非対象を設定します。上記「条件設定」と組み合わせ、 どの添付ファイルを各ポリシーの条件の対象とさせるか、または除外させるかを設定します。

対象とする 各ポリシー条件の対象とします。 対象としない 各ポリシー条件の対象としません。

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

【追加ボタン】 **(1)**

登録します。

【〔更新〕ボタン】

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

【キャンセル ボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

 【検索対象

 検索対象を指定します。

 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。

 【キーワード欄】

 検索対象とするキーワードを入力します。

 【検索 ボタン】

 (検索 ボタン】

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

【優先度】 優先度の表示。 【ポリシー名】

検索を実行します。

ポリシー名の表示。

【ポリシー】

ポリシー内容の表示。

【 ▼/1:ページ】

登録されたポリシーが有効か無効かの表示。

文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。

【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

(削除)ボタン】一覧からポリシーを選択して削除を行います。

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

【標準で実装されている各ポリシーについて】

添付ファイル対象では初期設定時から【管理者ポリシー(強制)】及び【管理者ポリシー(標準)】にて 既にいくつかのポリシーが実装されています。

【管理者ポリシー(強制)】では主に「ポリシー条件の添付ファイル」を設定させたポリシーが多く、【管理者ポリシー(標準)】では主に「添付ファイル変換」を設定したポリシーが作成されています。

簡単ではありますが、以下に各ポリシーの詳細についてご説明致します。

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー (強制)】【添付ファイル対象】 個先度 ポリシー名 ポリシー 管理者ポリシー(強制):添付転送 **1** 有効 **☆ ↓ ⊕** 👵 3 **☆** 🖖 4 その添付ファイルはポリシー条件 管理者ポリシー(強制):開封通知 パステン、(スポラン・Masaman) グタContent-TypeにTransage/disposition-notificationを含む場合、またはヘッダのContent-TypeにText/rfc822-headersを含む場合。その添付ファイルは<mark>ポリ</mark> 有効 件の添付ファイルの対象としない。 5 **⊕** ₩ ン一来作りがリファイルのASSECUTION。 管理者ポリシー(操動): report ・親のヘッタのContent-Typeにmultipart/reportを含む場合、その条付ファイルはポリシー条件の条付ファイルの対象としない。 **⊕ ⊕ 6** ページ 1 🔻 / 1 🔞 削除

ポリシー	説明
管理者ポリシー(強制): 添付転送	ヘッダのContent-Typeにmessage/rfc822を含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。また、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。
	添付転送(添付して転送)した場合を対象とした設定になります。
管理者ポリシー(強制): インラインテキスト	ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、ポリシー条件の添付ファイルの対象としません。
	上記形式のインラインテキストを対象とした設定になります。
管理者ポリシー (強制): HTMLインライン画像	ヘッダのContent-Typeにimage/を含み、ヘッダにContent-Id:を含み、親のヘッダのContent-Typeにmultipart/relatedを含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。
	HTML形式のインライン形式で挿入された画像を対象とした設定に なります。
管理者ポリシー (強制): S/MIME	親のヘッダのContent-Typeにmultipart/signedを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにapplication/pkcs7-mimeを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにapplication/x-pkcs7-mimeを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。またその添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。
	S/MIME(RSA公開鍵暗号方式を用いてメッセージを暗号化して送信したメール[電子署名])を対象とした設定になります。
管理者ポリシー(強制): 開封通知	ヘッダのContent-Typeにmessage/disposition-notificationを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにtext/rfc822-headersを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。
	上記形式の開封通知メールを対象とした設定になります。
管理者ポリシー(強制): report	親のヘッダのContent-Typeにmultipart/reportを含む場合、その添付ファイルはポリシー条件の添付ファイルの対象としません。
	上記形式のバウンスメール等を対象とした設定になります。

システム管理者画面:【ポリシー設定】【管理者ポリシー(標準)】【添付ファイル対象】 - 編先成 ポリシー名 ポリシー名 ポリシー (標準):インラインテキスト - 小ッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにmage/を含み、ヘッダのContent-Typeにtext/fc822-headersを含む場合、その条付ファイルは条付ファイルは条付ファイルは条付ファイルは条付ファイルは条付ファイルを修の対象としない。 - 報告者に対シー(優等):report - 親のヘッダのContent-Typeにmage/はportを含む場合、その条付ファイルは条付ファイルを修の対象としない。 - 本ラ 「マーノ」 - 本ラ 「マーノ」

ポリシー	説明
管理者ポリシー (標準): インラインテキスト	ヘッダのContent-Typeにtext/を含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。
	上記形式のインラインテキストを対象とした設定になります。
管理者ポリシー (標準): HTMLインライン画像	ヘッダのContent-Typeにimage/を含み、ヘッダにContent-Id:を含み、親のヘッダのContent-Typeにmultipart/relatedを含み、ヘッダのContent-Dispositionにattachmentを含まない場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。
	HTML形式のインライン形式で挿入された画像を対象とした設定に なります。
管理者ポリシー(標準): 開封通知	ヘッダのContent-Typeにmessage/disposition-notificationを含む場合、またはヘッダのContent-Typeにtext/rfc822-headersを含む場合、その添付ファイルは添付ファイル変換の対象としません。 上記形式の開封通知メールを対象とした設定になります。
	親のヘッダのContent-Typeにmultipart/reportを含む場合、その添付
report	ファイルは添付ファイル変換の対象としません。
	上記形式のバウンスメール等を対象とした設定になります。

3.2.7 パスワード

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 【管理者ポリシー (強制)】 【パスワード】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定 **】 【**グループポリシー (強制)**】 【**パスワード 】

システム管理者画面【ポリシー設定】【ユーザポリシー】【パスワード】

システム管理者画面:【ポリシー設定 **】 【**グループポリシー (標準)**】 【**パスワード 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】【管理者ポリシー (標準)】【パスワード】

添付ファイルの暗号化(パスワード付与)に関する設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

パスワードに関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。





ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

9 【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

【パスワード設定方法】

添付ファイルに付与されるパスワード設定方法を設定します。

ランダム

英数字と記号から10桁ランダムで生成。下記参照。

生成される文字列:[2-9] [a-z,A-Z(小文字[lo] 大文字[lO]除外)] [!@#\$%&*_-+=:<>?/]

手動

英数字と記号から指定します。

使用可能文字列: [0-9] [a-z,A-Z] ['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/]



メモ

パスワードの最短の長さや使用可能文字列の変更を行う場合、【システムポリシー(標準) - パスワードポリシー】にて行います。

【パスワード通知ポリシー(自分)】

付与されたパスワードを自分(送信者)宛へ通知をするかしないかの設定を行います。

通知する 自分(送信者)に通知します。

通知しない 自分(送信者)に通知をしません。

【パスワード通知ポリシー(宛先)】

付与されたパスワードを宛先へ通知をするかしないかの設定を行います。

通知する 宛先に通知します。

メールを送るたびに通知 メールを送るたびに通知メールを配信します。 初回のみ通知 宛先へ初回のみ通知メールを配信します。

通知しない 通知をしません。

【パスワード通知文言の追加ポリシー】

ログインパスワードは別メールで配送される事が、元のメールの文頭に追記するかしないかの 設定を行います。

追加する 元メールの先頭に追記します。 追加しない 元メールへの追記をしません。

(対象の宛先)

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部(未登録ドメイン宛)を対象。

内部宛先 内部(登録済みドメイン宛)を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先ドメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。

メモ

その他の宛先 の指定方法について

テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。 例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより 1 つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。 例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

【優先度設定】 $(\{i\})$

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

【追加ボタン】

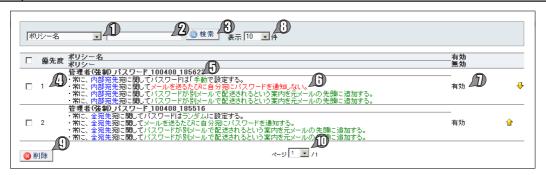
登録します。

【更新ポタン】 M

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

【キャンセル ボタン】 11)

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象を指定します。

ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。

【キーワード欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

【(検索)ボタン】

検索を実行します。

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。

【優先度】

優先度の表示。

【ポリシー名】 **(**

ポリシー名の表示。

【ポリシー】 (f))

ポリシー内容の表示。

【有効無効】

登録されたポリシーが有効か無効かの表示。

文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能で す。無効の場合一覧が灰色に表示されます。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【削除ボタン】 $(\!(\!1\!)\!)$

- 覧からポリシーを選択して削除を行います。

【 ▼/1:ページ】 1

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面 への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.8 スコア

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー(強制)】【スコア】

【その他の画面共通メニュー】 なし

ポリシー新規登録/更新

スコアに関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。



【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

【ポリシー:スコア設定】 (出)

スコアの条件を設定します。

プラスする

条件に合致した際にプラスするスコア値(数値)を入力欄に記入します。

マイナスする

条件に合致した際にマイナスするスコア値(数値)を入力欄に記入します。

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

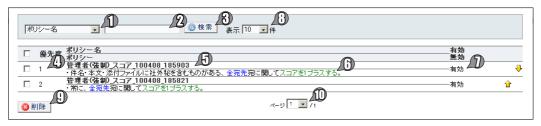
【追加がタン】 (F)

登録します。

【更新ポタン】

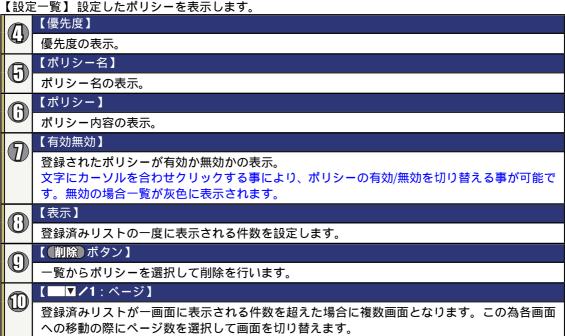
一覧から選択したポリシー内容を更新します。

【キャンセルボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。 【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。 【(検索)ボタン】 検索を実行します。



3.2.9 ヘッダ変換

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー(強制)】【ヘッダ変換】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面【ポリシー設定 **】【**グループポリシー (強制)**】【**ヘッダ変換 】

システム管理者画面【ポリシー設定】【ユーザポリシー】【ヘッダ変換】

システム管理者画面:【ポリシー設定 **】 【**グループポリシー (標準)**】 【**ヘッダ変換 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 **】 【**管理者ポリシー (標準)**】 【** ヘッダ変換 】

ヘッダ変換に関するポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

ヘッダ変換に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。





【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。

2

【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

【Bcc変換ポリシー】

設定条件により、宛先をBccに変換して送信する為の機能です。

変換する Bcc変換を行います。条件は下記項目から選択します。

外部宛先をBcc変換する

宛先が外部(Active gate に未登録のドメイン) の場合変換します。

内部宛先をBcc変換する

宛先が内部(Active gote に登録されたドメイン) の場合変換します。

変換しない Bcc変換を行いません。

【Bcc変換詳細設定】

Bcc変換を行ったメールのToアドレスを条件により指定します。

ToにFromアドレスを使う ToにFromを使用します。

Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う Toに受信者のメールアドレスを使用します。 Toに入力値[]を使う Toに指定したものを使用します。

【Dateヘッダ変更ポリシー】

Active gote を経由するメールヘッダのDate (時刻)を変更する為の機能です。

変更する 変更します。

☑保留されたメール 保留メールのみを対象とします。

☑[]時間経過したメール 保留後経過した時間を指定し、そのメールを対象とします。

変更しない 変更しません。

【Receivedヘッダ削除ポリシー】

Active gate を経由するまでのReceivedヘッダを削除する為のポリシーです。

削除する Receivedヘッダを削除します。

削除しない Receivedヘッダを削除しません。

Cc/Bcc自動追加】

設定したメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信します。

する Cc又はBccとしてメールを送信します。

Ccに追加するメールアドレス

Ccでメールを送信します。Ccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力して下さい。Bccに追加するメールアドレス

Bccでメールを送信します。Bccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力して下さい。 しない Cc又はBccとしてメールを送信しません。

【対象の宛先】

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部(未登録ドメイン宛)を対象。

内部宛先 内部(登録済みドメイン宛)を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先にメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。



メモ

その他の宛先 の指定方法について

テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。

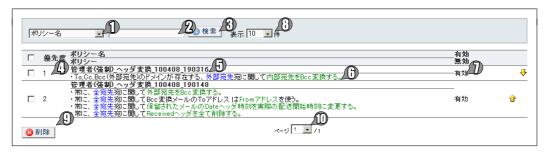
例: [user@ah80.example.jp, example2.com, example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより 1 つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。 例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

【優先度設定】 登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。 最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。 【〔追加〕ボタン】 M 登録します。 【更新ポタン】 111 -覧から選択したポリシー内容を更新します。 【キャンセルボタン】

12 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。 【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。 【(検索)ボタン】 検索を実行します。

【 ▼ /1: ページ】

1

【設定一覧】 設定したポリシーを表示します。 【優先度】 優先度の表示。 【ポリシー名】 ポリシー名の表示。 【ポリシー】 ポリシー内容の表示。 【有効無効】 (7) 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能で す。無効の場合一覧が灰色に表示されます。 【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。 【【削除】ボタン】 (H)一覧からポリシーを選択して削除を行います。

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面

への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.10 本文变换

システム管理者画面:【ポリシー設定 】・【管理者ポリシー(強制)】・【本文変換】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 「グループポリシー (強制)】 「本文変換 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 【ユーザポリシー 】 【本文変換 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】【グループポリシー (標準)】【本文変換 】

システム管理者画面:【ポリシー設定 】【管理者ポリシー(標準)】【本文変換】

本文変換に関するポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

本文変換に関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。



【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Defaultの名称を変更する場合入力欄をクリックします。

(条件設定)

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述199ページ:「条件設定」を参照して下さい。

【ウィルススキャン定型文】

ウィルススキャンの結果が陰性であった場合、メール本文に定型文を挿入する事ができます。 定型文の変更は「システムポリシー(標準)」で行います。 アンチウィルスオプション使用時のみの動作となります。

挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。 本文の先頭 本文の先頭に挿入します。

本文の末尾 本文の末尾に挿入します。

挿入しない 挿入しません。

【自由定型文】

自由定型文を挿入します。

挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。 本文の先頭 本文の先頭に挿入します。

本文の末尾 本文の末尾に挿入します。

挿入しない 挿入しません。

【自由定型文の内容】

自由定型文の内容を設定します。標準/英語から選択します。

元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は 英語の定型文が使用されます。

本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。

最大入力文字数は1024文字までとなっています。



注意

1行にて全角で493文字以上、半角で986文字以上で設定した場合、メール本文ではSMTPの仕様により上記文字数以降は文字が化けて表示されてしまいます。1行の入力文字数に制限はございませんが、最大でも1行100文字前後で入力される事を推奨します。

【対象の宛先】

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先 ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部(未登録ドメイン宛)を対象。

内部宛先 内部(登録済みドメイン宛)を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先ドメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。



メモ

その他の宛先 の指定方法について

テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。

例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

1 優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。

最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

(追加 ボタン)

登録します。

■【〔更新〕ボタン】

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

(学ャンセルボタン)

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象】 検索対象を指定します。 ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。 【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。 【検索がタン】 検索を実行します。 【表示】 登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

【優先度】 優先度の表示。 【ポリシー名】 ポリシー名の表示。 【ポリシー】 ポリシー内容の表示。 【有効無効】 登録されたポリシーが有効か無効かの表示。 文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能で す。無効の場合一覧が灰色に表示されます。 アイコン】 (1)ポリシーの優先度を変更します。 【削除がタン】 1 一覧からポリシーを選択して削除を行います。 【 ▼ /1:ページ】 O 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面 への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.2.11 通知メール

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー(強制)】【通知メール】

【その他の画面共通メニュー】

システム管理者画面【ポリシー設定】【グループポリシー(強制)】【通知メール】

システム管理者画面【ポリシー設定】【ユーザポリシー】【通知メール】

システム管理者画面【ポリシー設定】**【**グループポリシー (標準)】**【**通知メール 】

システム管理者画面【ポリシー設定】【管理者ポリシー (標準)】【通知メール】

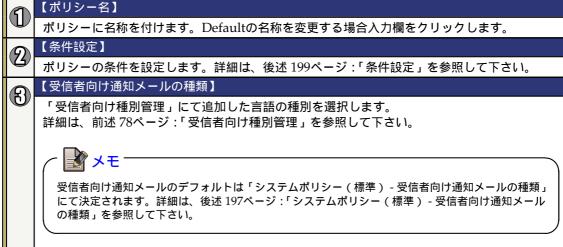
通知メールに関するポリシー設定を行います。

ポリシー新規登録/更新

通知メールに関するポリシーを登録します。

更新については既に登録されたポリシーを一覧から選択し行います。





【対象の宛先】

対象の宛先を設定します。

全宛先 ポリシーの対象を全宛先とします。

特定の宛先ポリシーの宛先を下記による特定の宛先とします。

チェックを入れると下記項目を表示します。

外部宛先 外部(未登録ドメイン宛)を対象。

内部宛先 内部(登録済みドメイン宛)を対象。

準内部宛先 「内部外部定義」で設定済みの準内部宛先を対象。

その他の宛先 ドメインまたはメールアドレスを指定します。

グループ 登録済みグループから選択します。



メモ

その他の宛先 の指定方法について

テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。

例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。

例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

[追加 ボタン]

│ 登録します。

【 更新 ボタン】

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

(キャンセルボタン)

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。



【検索メニュー】設定したポリシーに対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象を指定します。

ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。

【キーワード欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

【検索 ボタン】

検索を実行します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【設定一覧】 設定したポリシ<u>ーを表示します。</u>

【優先度】

優先度の表示。

「ポリシー名】

/ ポリシー名の表示。

分【ポリシー】

ポリシー内容の表示。

【有効無効】

登録されたポリシーが有効か無効かの表示。

文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。

[アイコン]

ポリシーの優先度を変更します。

【 削除 ボタン】

一覧からポリシーを選択して削除を行います。

1 【 ▼ /1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

3.3 グループポリシー(強制)

システム管理者画面【ポリシー設定】【グループポリシー(強制)】

管理者のみが設定するグループを対象としたポリシーです。登録されたグループに所属するユーザには 強制的適用されるポリシーです。

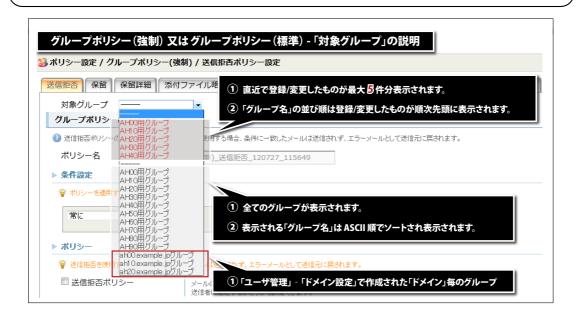


メモ

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、146ページ:管理者ポリシー(強制)を参照して下さい。

グループポリシー には「対象グループ」と言う、セレクトボックスがあります。こちらは「ユーザ管理」「ポリシーグループ管理」にて作成されたグループを表示します。グループポリシーは、この「対象グループ」よりポリシーをかけたいグループを選択し、グループ毎で各ポリシーを設定する画面となります。(下図参照)

また、「ポリシーグループ管理」で作成されたグループ以外にも「ユーザ管理」 「ドメイン設定」で作成された「ドメイン」毎のグループも自動的に表示します。詳細は、後述 211ページ:「ドメイン設定後に自動登録されるドメイングループ」を参照して下さい。



3.4 ユーザポリシー

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 【ユーザポリシー 】

各ユーザがパーソナルコントローラを使用して自分だけのポリシーを設定する事ができます。それがこのユーザポリシーです。管理者も設定する事が可能な為、システム管理者画面上に設定画面を設けてあります。



メモ

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、 146ページ:管理者ポリシー(強制)を参照して下さい。

ユーザポリシー画面には画面最上段に各メニューへのタブを表示します。「対象ユーザ」を選択するセレクトボックスからユーザを指定した後、それぞれのポリシーを設定する事が可能です。また、ユーザポリシーでは「送信拒否」及び「スコア」の設定は行えません。

3.5 グループポリシー(標準)

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 【グループポリシー (標準)】

管理者のみが設定するグループを対象としたポリシーです。登録されたグループに所属するユーザは ユーザポリシー等で上書きや しないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。ま た、ユーザが何もポリシー設定を行っていない場合も適用されるポリシーとなります。



メモ

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、 146ページ:管理者ポリシー(強制)を参照して下さい。

3.6 管理者ポリシー(標準)

システム管理者画面:【ポリシー設定 】【管理者ポリシー(標準)】

管理者のみが設定するシステム全体を対象としたポリシーです。ユーザはユーザポリシー等で上書きやしないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。また、ユーザが何もポリシー設定を行っていない場合も適用されるポリシーとなります。



メモ

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、 146ページ:管理者ポリシー(強制)を参照して下さい。

3.7 システムポリシー(標準)

システム管理者画面:【ポリシー設定 】【システムポリシー(標準)】

管理者のみが設定するシステム全体を対象としたポリシーです。ユーザはユーザポリシ等で上書きやしないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。また、ユーザが何もポリシー設定を行っていない場合、適用されるポリシーとなります。

3.7.1 保留ポリシー

保留機能を使用する場合、ポリシーにマッチしたメールは送信されず、サーバ上に保留します。



順を追って各項目についてご説明します。



【保留】

保留機能を使用するかしないかの設定を行います。

保留する 保留機能を使用します。 保留しない 保留機能を使用しません。



【確認する項目について】

設定したポリシーに該当し保留されたメールはパーソナルコントローラのメール詳細画面にて確認を行う必要があります。「確認する項目」欄はその際にチェックをするべき項目を設定します。

各項目にはアイコンが表示され、バルーン表示内にて確認し保留の解除を行う必要があります。ここで設定した確認項目をチェックしない限り配送を行えません。

宛先に関するポリシーにマッチし保留された場合、宛先をチェックする事がご利用方法として一般的に必要と思われますが、ここでは本文全体をチェックさせる事も可能です。例として、宛先に外部が含まれるポリシーにマッチし保留された場合、宛先のチェックは当然ながら、外部への送信の為、"本文の内容もチェックさせたい"として2重チェックにさせる事も可能です。

(発展) 【確認する項目】

☑全宛先:保留されたメールのチェック項目を全宛先とします。

−つずつ : 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。

全部まとめて : 宛先を全部まとめて1 度にチェックを行います。

伏世字入力: 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

☑全ドメイン:保留されたメールのチェック項目を全ドメインとします。

−つずつ : 各宛先ごとに1 つずつチェックを行います。

全部まとめて : 宛先を全部まとめて1度にチェックを行います。

伏せ字入力 : 各宛先ごとに伏せ字入力によるチェックを行います。

【確認する項目】

✓From:保留されたメールのチェック項目をFromとします。

アドレス確認 : From のチェックを行います。

| 伏世字入力 | :From に伏せ字入力によるチェックを行います。

☑件名:保留されたメールのチェック項目を件名とします。

☑本文全体:保留されたメールのチェック項目を本文全体とします。

【確認する項目】

☑全添付ファイル名:保留されたメールのチェック項目を全添付ファイル名とします。

−つずつ : 各添付ファイルごとに1 つずつチェックが必要となります。

全部まとめて : 添付ファイルを全部まとめて1 度にチェックします。

☑添付ファイル内容確認:保留されたメールのチェック項目を添付ファイルの内容とします。

☑確認する項目なし:保留されてもチェックを行わず直ちに配送処理を行えます。

【保留期間設定】

保留する期間の設定を行います。[](分/時間/日)



【保留期間経過後の処理方法】

保留期間経過後の保留メールの処理内容を設定します。

配送先に配送する

保留期間経過後、保留メールを配送先に配送します。

配送せずサーバから削除して送信者にエラーメールを返す

保留期間経過後、サーバから削除し送信者へエラーメールを配信します。

(F)

【保留通知メールポリシー】

保留された際に送信者へ保留された事を通知する為のメールを配信するかしないかの設定を行います。通知メール内のURLをクリックする事で、パーソナルコントローラにログインせずにメールの配送や削除の指示が可能です。保留通知メールはメール保留決定時点ですぐに配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

(A)

【リマインダーポリシー】

保留通知メールの再送をするかしないかの設定を行います。「通知メール」を使用する設定になっている必要があります。また、間隔と回数を後述設定で行う必要があります。

配信する リマインダー配信を行います。

配信しない リマインダー配信を行いません。

(F)

【リマインダー間隔と回数】

リマインダーメールの間隔と回数を設定します。「通知メール」及び「リマインダー」を使用する設定になっている必要があります。

リマインダー間隔 [](分/時間/日)

リマインダー回数 「

【パスワード通知保留期間設定】

添付ファイル暗号化やwebダウンロードのパスワード通知メールを保留する期間を設定できます。保留されている間は、メール一覧やメール詳細画面からパスワード通知メールを破棄する事が可能です。元メール配送完了後、この期間が経過するとパスワード通知メールは自動的に配送します。0分を指定した場合、元メール配送完了後、すぐに配送が開始します。

[](分/時間)

【伏せ字文字数(メールアドレス)】

保留ポリシーの[確認する項目] の [宛先]または[From] を「伏せ字入力」とした場合、保留解除時、バルーンの中にあるアドレスが伏せ字状態となります。

@の前 []~[]文字

各アドレスの@より前に伏せ字が出力します。最少出力数~最大出力数を入力します。

@の後 []~[]文字

各アドレスの@より後ろに伏せ字が出力します。最少出力数~最大出力数を入力します。

入力できる伏せ字数は0~9までです。

条件によっては設定より少ない文字数しか伏せ字にならない場合もあります。

1

【伏せ字文字数 (ドメ<u>イン)</u>】

保留ポリシーの[確認する項目] の [ドメイン] を「伏せ字入力」とした場合、保留解除時、バルーンの中にあるドメインが伏せ字状態となります。伏せ字にする文字数を設定します。

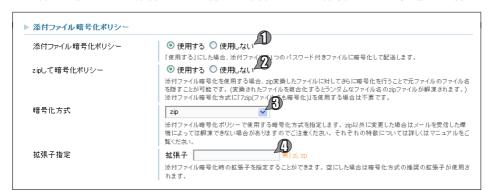
[]~[]文字

各ドメインに伏せ字が出力します。最少出力数~最大出力数までを入力します。

入力できる伏せ字数は0~9までです。

3.7.2 添付ファイル暗号化ポリシー

|添付ファイル付き送信メールの添付ファイル部分を添付ファイル暗号化させる為の設定を行います。



【添付ファイル暗号化ポリシー】

添付ファイル付きメールの添付ファイルを添付ファイル暗号化するかしないかの設定を行いま す。変換後のファイルは暗号化され解凍用パスワードが付与され配送します。

使用する 添付ファイル暗号化します。 使用しない 添付ファイル暗号化しません。



パスワードの長さや、使用可能文字列の制限につきましては、「システムポリシー(標準) - パス ワードポリシー」にて行います。詳細は、後述 193ページ:「パスワードポリシー」を参照して下

【zipして暗号化ポリシー】 2

添付ファイル暗号化にてzip変換したファイルに対してさらに暗号化を行います。元ファイル のファイル名を隠す事が可能です。(変換されたファイルを複合化するとランダムなファイル 名のzipファイルが解凍します。) 添付ファイル暗号化方式に「7zip(ファイル名も暗号化)」 を使用する場合、不要です。またzip(UTF8)を使用する場合、対応しておりません。ご注意 下さい。

使用する zipして暗号化します。 使用しない zipして暗号化しません。

【暗号化方式】 **(23)**

添付ファイル暗号化ポリシーで使用する暗号化方式を指定します。zip以外に変更した場合、 メールを受信した環境によっては解凍できない場合があります。ご注意下さい。次ページに て、それぞれの特徴について記述しています。ご確認下さい。

zip: 最も一般的なパスワード付きzip方式です。

zip(UTF8): ファイル名がUTF8の形式に変換され、zip圧縮します。

zip(**AES128**): 暗号方式に鍵長128bitのRijndael AESを使用した形式です。

zip (**AES256**): 上記と同様で鍵長に256bitを使用した形式です。

7zip: 7z形式の書庫を作成します。標準の拡張子は"7z"となります。

7zip (ファイル名も暗号化):

上記7zip形式と同様ですが、パスワードを知らない場合、書庫内のファイル名を閲覧す る事ができなくなります。

7zip(自己解凍):

上記7zip形式の自己解凍形式(Windowsの実行ファイル)となります。 標準の拡張子は"exe"となります。

【拡張子指定】

zip暗号化時の添付ファイルの拡張子を指定する為の設定です。

拡張子 []

【暗号化方式の特徴について】

前述の暗号化方式のそれぞれの特徴についてご説明致します。zip以外に変更した場合、受信 した環境によっては解凍できない場合があります。ご注意下さい。

zip:

最も一般的なパスワード付きzip方式です。

暗号方式は鍵長96bitのTraditional PKWARE Encryption、圧縮方式はdeflateとなりま す。多くの環境で解凍・複合が可能です。不特定の宛先に送信するには望ましい形式で す。パスワードを知らない場合、書庫内のファイル名を閲覧する事は可能です。 標準の拡張子は"zip"となります。

zip (UTF8):

多言語(UTF8)に対応したパスワード付きzip方式です。

UTF8の形式に変換され、zip圧縮します。解凍・複合はUTF8対応の解凍ツールにて可 能です。標準の拡張子は"zip"となります。

zipして暗号化ポリシーを使用する場合、対応しておりません。ご注意下さい。

尚、ファイル名がUTF8に対応している解凍ツールは以下があります。(弊社検証済み)

[解凍ツール]

7-ZIP(9.20), WinZIP(16.5), WinRAR(4.11), ALZip(8.22), stuffit Expander(15.0.4)

zip (AES128):

一般的なzip形式で、暗号方式に鍵長128bitのRijndael AESを使用した形式です。 拡張子が"zip"となります。通常のzip解凍ソフトで解凍できそうに見えますが、AES非 対応の解凍ソフトを使用した場合、解凍できません。ご注意下さい。パスワードを知ら ない場合、書庫内のファイル名を閲覧する事は可能です。

zip (AES256):

上記と同様で鍵長を256bitを使用した形式です。

7zip:

7z形式の書庫を作成します。

暗号方式は鍵長256bitのRijndael AES、圧縮方式はLZMAとなります。

一般的なzip形式と比較し圧縮率が高く暗号強度も高いといえますが、解凍には7z形式 対応の解凍ソフトが必要になる場合が多いようです。パスワードを知らない場合、書庫 内のファイル名を閲覧する事は可能です。標準の拡張子は"7z"となります。

7zip(ファイル名も暗号化):

上記7zip形式と同様ですが、パスワードを知らない場合、書庫内のファイル名を閲覧す る事ができなくなります。

7zip(自己解凍):

上記7zip形式の自己解凍形式(Windowsの実行ファイル)となります。

Windows上で実行してパスワードを入力する事で、書庫が解凍します。

解凍ソフトが必要ない為便利な形式ですが、パスワード付きの暗号化されたファイルで ある為社内ポリシーやウィルスフィルタ等の為、環境によっては使用できない事もあり ます。ご注意下さい。標準の拡張子は"exe"となります。



上記のzip,zip(UTF8)を除くzip(AES128,256)、7zipの書庫作成において7-zipプログラムを使 用しています。7-zipはGNU LGPLのライセンスの為ソースコードは http://www.7-zip.org/ にて 入手可能です。

次ページでは、上記の暗号化方式の追加方法、及びオプションについてご説明します。 設定を追加する事で、独自の暗号方式を用いる事も可能となります。

添付ファイル暗号化ポリシー - 暗号化方式の新規追加、及びオプションについて

Active gate では暗号化方式をお客様ご自身で変更・追加できるようになっています。Active gateのデフォルトで表示されている暗号化方式を変更する場合、設定ファイル ag.conf にて行います。また新たなモジュールを追加し使用したい場合、指定のフォルダ階層下にモジュールを設置し、設定ファイルag.conf にて追加する事で、ご使用頂けます。

以下、順を追って暗号化方式の変更方法、及び新規モジュールの追加方法をご説明を致します。

- 【暗号化方式の変更・新規モジュール追加方法】
- 1. 新たなモジュールを追加し使用したい場合、指定のフォルダ階層下に使用するモジュールを設置します。設置場所は下記になります。
 - # /usr/local/active/gate/ag/bin/enc/
- 2. デフォルトで表示されている暗号化方式の変更、及び上記で設置した新規モジュールを Active gate 上に反映させる場合、Active gate の設定ファイル "/etc/ag.conf"を編集します。

```
# vi /etc/ag.conf
```

[file]セクション以下から暗号化関係の記述となっています。

• 【[file] (親セクション)について】

変更または新たに作成した子セクションをシステムポリシー(標準) - 暗号化方式に反映させる為の親セクションです。

file_enc = "zip"

システムポリシー(標準) - 暗号化方式 にて設定反映をされた際の情報となります。常に上書きされる為、編集する必要はありません。

file_enc_list = "zip,ziputf8,zipaes128,zipaes256,7zip1,7zip2,7zip3,..." 使用する子セクション名を記述します。新たな子セクションを追加する事で、システムポリシー(標準) - 暗号化方式に反映します。

• 【[zip] (子セクション) について】

デフォルトの子セクションの設定や、新たな子セクションを追加し、親セクションの [file_enc_list]に登録する事で、システムポリシー(標準) - 暗号化方式に反映します。以下では子セクション [zip]を例に記述しています。新規追加する場合、例文を参考にご記述下さい。

[zip](子セクション名)

子セクション名を記述します。子セクション名は自由に設定できますが、必ず<mark>半角英数</mark> 字で指定して下さい。

[file_enc_name="zip"]

システムポリシー (標準) - 暗号化方式のプルダウンに表示される文言を記述します。名前は自由に設定できます。

[file_enc_cmd = "agzip -p %pass -o %out %in"]

ファイル変換を実行するコマンドを記述します。最初の引数値"agzip"はモジュールが置いてある /usr/local/active/gate/ag/bin/enc/ にあるモジュール名を指定します。使用するモジュールにオプション指定が可能な場合、"agzip"以降にオプションを記述します。

%pass:

パスワードオプションがある場合記述します。

例:-p%pass-password=%pass等

%out:

出力指定のオプションがある場合記述します。暗号化されたファイル名に置き換えられます。

%in:

入力指定のオプションがある場合記述します。暗号化されるファイル名に置き換えられます。

[file_enc_suffix="zip"]

変換後のファイルの拡張子を指定します。先頭の「.」は含まず記述します。

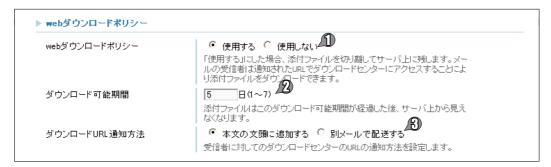
[file_enc_utf8="yes"]

no:メールで指定された文字コードのファイル名のままコマンドに渡します。 日本語の場合、Shift-JISに変換します。

yes:ファイル名をUTF-8に変換してコマンドに渡します。

3.7.3 webダウンロードポリシー

添付ファイル付き送信メールの添付ファイル部分をwebダウンロードさせる為の設定を行います。



【webダウンロードポリシー】

添付ファイル付きメールの添付ファイル部分のみを直接メール添付で配送せず、Active gate サーバに保存し、web(ブラウザベース)でダウンロードにより送達する為の機能です。メールの受信者は通知されたURLでダウンロードセンターにアクセスする事により添付ファイルをダウンロードできます。

使用する webダウンロード機能を使用します。 使用しない webダウンロード機能を使用しません。

(ダウンロード可能期間)

保存された添付ファイルのダウンロード可能な期間を設定します。[](単位:日)

【ダウンロードURL通知方法】

宛先に添付ファイルがダウンロード可能な状態である事を知らせる方法を設定します。

本文の文頭に追加する

宛先に送信したメール本文の文頭に、添付ファイルが分離されダウンロード可能である 事を追記します。

別メールで配送する

添付ファイルが分離されダウンロード可能である事を元メールとは別のメールを自動配信し通知します。

3.7.4 パスワードポリシー

添付ファイル暗号化やwebダウンロード化された添付ファイルの暗号化(パスワード設定)やパスワードの通知方法に関する設定を行います。



1 【パスワード設定方法】

添付ファイルに付与されるパスワード設定方法を設定します。

ランダム

英数字と記号から10桁ランダムで生成。下記参照。

生成される文字列: [2-9] [a-z,A-Z(小文字[lo] 大文字[lO]除外)] [!@#\$%&*_-+=:<>?/]

最低1文字最長50文字

パスワードに使う文字の制限は[項番(1):パスワード制限(ランダム)]で設定できます。 パスワードの最短の長さは[項番(1):パスワードの長さ(ランダム)]で設定できます。

手動

英数字と記号から指定します。

使用可能文字列:[0-9][a-z,A-Z]['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/]

最低1文字最長50文字

パスワードに使う文字の制限は[項番(1):パスワード制限(手動)]で設定できます。 パスワードの最短の長さは[項番(1):パスワードの最短の長さ(手動)]で設定できます。



(A) 注意:

ランダム・手動共に「 " (Double Quotation)」と「 ¥ (Back Slash)」は使用できません。

2) 【パスワード通知ポリシー(自分)】

付与されたパスワードを自分(送信者)宛へ通知をするかしないかの設定を行います。

通知する 自分(送信者)に通知します。

通知しない 自分(送信者)に通知をしません。

【パスワード通知ポリシー(宛先)】

付与されたパスワードを宛先へ通知をするかしないかの設定を行います。

通知する 宛先に通知します。

メールを送るたびに通知 メールを送るたびに通知メールを配信します。 初回のみ通知 宛先へ初回のみ通知メールを配信します。

通知しない 通知をしません。

【パスワード通知文言の追加ポリシー】

ログインパスワードは別メールで配送される事が、元のメールの文頭に追記するかしないかの 設定を行います。

追加する 元メールの先頭に追記します。 追加しない 元メールへの追記をしません。

【パスワード制限(手動)】

手動パスワードにおけるパスワードに使用する文字の種類を制限します。

英小文字を必ず含む 英小文字を必ず含ませないとパスワード設定が行えません。 英大文字を必ず含む 英大文字を必ず含ませないとパスワード設定が行えません。 数字を必ず含む 数字を必ず含ませないとパスワード設定が行えません。 記号を必ず含む 記号を必ず含ませないとパスワード設定が行えません。

【パスワードの最短の長さ(手動)】

│ 手動パスワードにおけるパスワードの長さを制限します。

「パスワード使用可能文字(手動)】

手動パスワードにおける使用可能な文字を制限します。

【パスワード制限(ランダム)】

ランダムパスワードにおける使用する文字の種類を制限します。

英小文字を必ず含む 英小文字を必ず含ませて生成します。 英大文字を必ず含む 英大文字を必ず含ませて生成します。 数字を必ず含む 数字を必ず含ませて生成します。 記号を必ず含む 記号を必ず含ませて生成します。

【パスワードの長さ(ランダム)】

ランダムパスワードにおけるパスワードの長さを制限します。

【パスワード使用可能文字(ランダム)】

ランダムパスワードにおける使用する文字の種類を制限します。

3.7.5 ヘッダ変換ポリシー

送信メールのヘッダ部分を自動で変換する為の設定を行います。



【Bcc変換ポリシー】

設定条件により、宛先をBccに変換して送信する為の機能です。

変換する Bcc変換を行います。条件は下記項目から選択します。

外部宛先をBcc変換する

宛先が外部(Active gote に未登録のドメイン)の場合、変換します。

内部宛先をBcc変換する

宛先が内部(Active gote に登録されたドメイン) の場合、変換します。

変換しない Bcc変換を行いません。

2 【Bcc变換詳細設定】

Bcc変換を行ったメールのToアドレスを条件により指定します。

ToにFromアドレスを使う ToにFromを使用します。

Toに受信者それぞれのメールアドレスを使う Toに受信者のメールアドレスを使用します。 Toに入力値[]を使う Toに指定したものを使用します。

【 Dateヘッダ変更ポリシー 】

Active gate を経由するメールヘッダのDate (時刻)を変更する為の機能です。

変更する 変更します。

- ☑ 保留されたメール 保留メールのみを対象とします。
- ☑ []時間経過したメール 保留後経過した時間を指定し、そのメールを対象と します。

変更しない 変更しません。

【Receivedへッダ削除ポリシー】

Active gate を経由するまでのReceivedヘッダを削除する為のポリシーです。内部の経路情報を外部に漏らしたくない場合、使用します。但し、メールループの検知ができなくなる場合があります。ご注意下さい。

する Receivedヘッダを削除します。 しない Receivedヘッダを削除しません。

【Cc/Bcc自動追加】

設定したメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信します。

する Cc又はBccとしてメールを送信します。

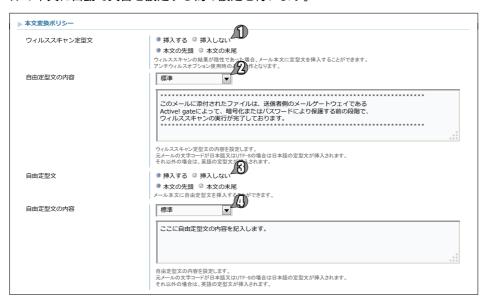
Ccに追加するメールアドレス

Ccでメールを送信します。Ccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力して下さい。 Bccに追加するメールアドレス

Bccでメールを送信します。Bccに追加するメールアドレスを1行ずつ入力して下さい。 しない Cc又はBccとしてメールを送信しません。

3.7.6 本文変換ポリシー

送信メールの本文に自動で文言を設定する為の設定を行います。



【ウィルススキャン定型文】

ウィルススキャンの結果が陰性であった場合、メール本文に定型文を挿入する事ができます。 アンチウィルスオプション使用時のみの動作となります。

挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。

本文の先頭 本文の先頭に挿入します。

本文の末尾 本文の末尾に挿入します。

挿入しない 挿入しません。

【ウィルススキャン定型文の内容】

ウィルススキャン定型文の内容を設定します。標準/英語から選択します。 元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は 英語の定型文が使用されます。

本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。

最大入力文字数は1024文字までとなっています。

【自由定型文】 8

自由定型文を挿入します。

挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。

本文の先頭 本文の先頭に挿入します。

本文の末尾 本文の末尾に挿入します。

挿入しない 挿入しません。

【自由定型文の内容】

自由定型文の内容を設定します。標準/英語から選択します。 元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は 英語の定型文が使用されます。

本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。

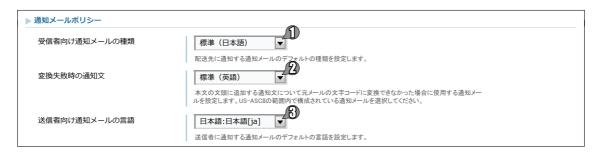
最大入力文字数は1024文字までとなっています。



自由定型文/ウィルス定型文で1行にて全角で493文字以上、半角で986文字以上で設定した場合、メール本文 ではSMTPの仕様により上記文字数以降は文字が化けて表示されてしまいます。1行の入力文字数に制限はご ざいませんが、最大でも1行100文字前後で入力される事を推奨します。

3.7.7 通知メールポリシー

送信者(ユーザ) 受信者(各宛先)に配送される通知メールのデフォルトを設定します。



【受信者向け通知メールの種類】

受信者(各宛先)配送する通知メールのデフォルトの種類を設定します。

「受信者向け種別管理」にて追加した言語が表示されます。 詳細は、前述 78ページ:「受信者向け種別管理」を参照して下さい。

②【変換失敗時の通知文】

本文の文頭に追加する通知文について元メールの文字コードに変換できなかった場合に使用する通知メールを設定します。

US-ASCIIの範囲内で構成されている通知メールを選択して下さい。

【送信者向け通知メールの言語】

送信者(ユーザ)に配送する通知メールのデフォルトの言語を設定します。

「送信者向け言語管理」にて追加した言語が表示されます。 詳細は、前述77ページ:「送信者向け言語管理」を参照して下さい。



注意

送信者(ユーザ)がパーソナルコントローラ上から「受信通知メール設定」の変更を行った場合は、そちらの設定が優先されます。詳細は、後述 222ページ:「ユーザ設定」または別紙「パーソナルコントローラマニュアル-プロパティ」を参照して下さい。



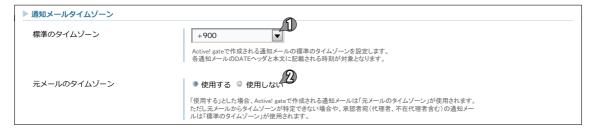
メモ

設定された通知メールの言語や種類は、その設定に合わせ定型文が変更されます。定型文は各言語に合わせ自由にカスタマイズする事が可能です。

詳細は、前述 30ページ:「通知メール設定 - 送信者向け通知メール管理」、または、70ページ:「通知メール設定 - 受信者向け通知メール管理」を参照して下さい。

3.7.8 通知メールタイムゾーン

送信者(ユーザ) 受信者(各宛先)に配送される通知メールのデフォルトの通知メールのタイムゾーンを設定します。



【標準のタイムゾーン】

Active gote で作成される通知メールの標準のタイムゾーンを設定します。各通知メールのDATEヘッダと本文に記載される時刻が対象となります。

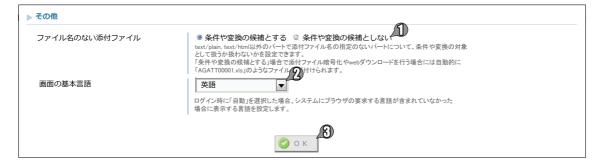
デフォルト値はインストール時に決定されます。

② 【元メールのタイムゾーン】

「使用する」とした場合、Active gote で作成される通知メールは「元メールのタイムゾーン」が使用されます。ただし元メールからタイムゾーンが特定できない場合や、承認者宛(代理者、不在代理者含む)の通知メールは「標準のタイムゾーン」が使用されます。

3.7.9 その他

1



【ファイル名のない添付ファイル】

text/plain, text/html以外のパートで添付ファイルの指定のないパートについて、条件や変換の対象として扱うか扱わないかを設定できます。「条件や変換の候補とする」で添付ファイル暗号化やwebダウンロードが行われた際は自動的に「AGATT00001.xls」のようなファイル名が付けられます。

条件や変換の候補とする 条件や変換の候補とします。 条件や変換の候補としない 条件や変換の候補としません。



゚メモ

ヘッダにContent-DispositionやFilenameが記載されずに送信されたメール(例:メーラーの特性にもよりますが開封通知メールやバウンスされるメール等が挙げられます。)に対し、Active gateにて各ポリシーの条件や対象とさせる場合、こちらの設定を操作する事で、可能となります。この設定は「添付ファイル対象ポリシー設定」より優先します。

(四面の基本言語)

ログイン時に「自動」を選択した場合、システムにブラウザの要求する言語が含まれていなかった場合に表示する言語を設定します。

3.8 条件設定

3.8.1 各ポリシー共通の条件設定

各ポリシー (承認ポリシー含む)画面の設定項目「条件設定」は、全て下記の通り共通しています。 紙面の都合上以下に集約して記載致します。



メモ

「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定は、204ページ:「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定を参照して下さい。

【常に】

条件として常に適用します。

常に ※0

0:送信される全てのメールに対し常に適用します。

【宛先】

宛先を対象として条件を設定します。

		□全て □自ドメイン宛(□自分を除く) □内部宛先 □準内部宛先 □外部宛先				【存在する】 【存在しない】 【のみが存在する】
			【キーワード】	【名前】※1 【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	キーワードを入力	【を含むものがある】 【で始まるものがある】 【で終わるものがある】 【の正規表現に一致するものがある】
			【メールアドレス】	【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	キーワードを入力	【存在する】 【存在しない】 【のみが存在する】
	□To □Cc □Bcc					【数】※6 ドメインの数 【個以上】 【個未満】
宛先		【グループ】	【登録グループから)	選択]※4		【に全て含まれる】 【に含まれるものがある】 【に全く含まれない】 【に含まれないものがある】
		□全て □自ドメイン宛(□自分を除く) □内部の部元 □準内部の充先 □外部宛先	【送信履歴】※5	【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	【存在しない】	
			【数】※6	【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	メールアドレスの数ドメインの数	【個以上】 【個未滿】
		【内外の宛先が混在】※7	内部宛先の数	*8	【個以上の内部宛先】	
		[DNSが引けない]※9				

- 1:一般的にMUA(メールソフト)で宛先に記される日本語等による名前の部分(""で囲まれた文字列)
- 2:一般的にMUA(メールソフト)で宛先に記されるメールアドレスの部分(<>で囲まれた文字列)
- 3:一般的にMUA(メールソフト)で宛先に記されるメールアドレスの部分(◇で囲まれた文字列)の@マーク以降の部分。
 - 4:事前に「ユーザ管理」の「グループ管理」にて選択するグループが登録されている必要があります。
 - 5: Active gate を使用して送信した事のある宛先。
 - 6: 宛先(アドレスまたはドメイン)の数。
 - 7:宛先に内部(登録済みドメイン)と外部(未登録ドメイン)が混在している場合。
 - 8:内部(登録済みドメイン) が含まれる数。
 - 9: 宛先がDNS (MXレコードまたはAレコード)を引けない場合。

[From]

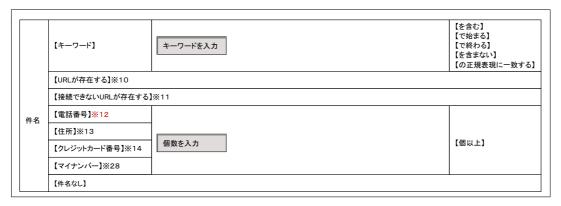
Fromを対象として条件を設定します。

From	[キーワード]	【名前】※1 【メールアドレス】※2 【ドメイン】※3	キーワードを入力	【を含む】 【で始まる】 【で終わる】 【を含まない】 【の正規表現に一致する】
	[グループ]	【登録グループから選択】※4		【に含まれる】 【に含まれない】

- 1:一般的にMUA(メールソフト)で宛先に記される日本語等による名前の部分(""で囲まれた文字列)
- 2:一般的にMUA(メールソフト)で宛先に記されるメールアドレスの部分(◇で囲まれた文字列)
- 3:一般的にMUA(メールソフト)で宛先に記されるメールアドレスの部分(⇔で囲まれた文字列)の@マーク以降の部分。
 - 4:事前に「ユーザ管理」の「グループ管理」にて選択するグループが登録されている必要があります。

【件名】

件名を対象として条件を設定します。



- 10:http(s)://で始まる文字列を検出。
- 11:http(s)://で始まるURLに接続を試み確認します。
- 12: Active gate が持つ電話番号データベースに該当する文字列(電話番号)の件数を検出します。
- 13: Active gate が持つ住所データベースに該当する文字列(住所)の件数を検出します。都道府県のみや市町村名のみを対象とはせず、ある程度連続した住所(都道府県+市町村)を対象とします。
- 14: \Box 切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また \Box 切り文字が無い場合も対象となります。
- 28:区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。



メモ

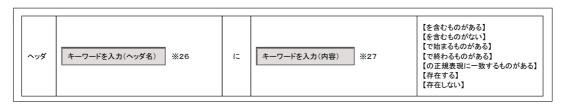
12【電話番号】の判定基準について

判定基準や対応済みフォーマット等の制限事項について、293ページ:「条件設定の補足」に集約しております。そちらを参照して下さい。

【ヘッダ】

メールのヘッダを対象として条件を設定します。

左入力欄に「Content-Type」や「MIME-Version」等のヘッダ名を入力し、右入力欄にその内容を入力します。



26: ヘッダ名は大文字小文字区別しません。

27:内容は、元のヘッダそのままではなく、MIMEデコードした結果に対して適用されます。

【本文】

本文を対象として条件を設定します。



- 2:一般的にMUA(メールソフト)で宛先に記されるメールアドレスの部分(<>で囲まれた文字列)
- 3:一般的にMUA(メールソフト)で宛先に記されるメールアドレスの部分(<>で囲まれた文字列)の@マーク以降の部分。
 - 6: 宛先(アドレスまたはドメイン)の数。
 - 10:http(s)://で始まる文字列を検出。
 - 11:http(s)://で始まるURLに接続を試み確認します。
 - 12: Active gate が持つ電話番号データベースに該当する文字列(電話番号)の件数を検出します。
 - 13: Active gate が持つ住所データベースに該当する文字列(住所)の件数を検出します。都道府県のみや市町村名のみを対象とはせず、ある程度連続した住所(都道府県+市町村)を対象とします。
 - 14:区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。
 - 23: 敬称(様、さん、殿、御中、各位、先生)等が名前の直後に付けられているかチェックします。 名前の判断は敬称の直後に、「空白」「改行」「:」「:」「、」「,」「,」「,」「・」が存在するかで判断します。
 - 24: 本文での正規表現での検索は部分一致となります。
 - 28:区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。



メモ

12【電話番号】の判定基準について

判定基準や対応済みフォーマット等の制限事項について、293ページ:「条件設定の補足」に集約しております。そちらを参照して下さい。

【添付ファイル】

添付ファイルを対象として条件を設定します。

	[キーワード]※20	添付ファイル内のキーワードを入力	【を含むものがある】 【の正規表現に一致するものがある】		
	【ファイル名】	添付ファイル内のキーワードを入力	【を含むものがある】 【を含まないものがある】 【で始まるものがある】 【で終わるものがある】		
	【URLが存在する】※1	0			
	【接続できないURLが	存在する】※11			
	【電話番号】※12				
	【住所】※13				
添付ファイル	【クレジットカード番号	※14 個数を入力	【個以上】		
	【マイナンバー】※28				
	【添付ファイル忘れ】※15				
	【数】※16	添付ファイルの数を入力	【個以上】		
	[サイズ]※17	添付ファイルのサイズを入力	【KBより大きい】 【MBより大きい】 【KB以下】 【MB以下】		
	【拡張子】※18	添付ファイルの拡張子を入力	【存在する】 【存在しない】		
	【暗号化】※19		【されているものがある】 【されていないものがある】		

- 10:http(s)://で始まる文字列を検出。
- 11: http(s)://で始まるURLに接続を試み確認します。
- 12: Active gote が持つ電話番号データベースに該当する文字列(電話番号)の件数を検出します。
- 13: Active gate が持つ住所データベースに該当する文字列(住所)の件数を検出します。都道府県のみや市町村名のみを対象とはせず、ある程度連続した住所(都道府県+市町村)を対象とします。
- 14:区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。
- 28:区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。
- 15:本文中に[添付]の文字列が含まれた場合に添付ファイルがあるかないか確認します。
- 16:添付されたファイルの合計数。
- 17:添付ファイルのサイズ(メールシステム全般に言える事ですが、windows等で表示される添付ファイルのサイズから1.4倍程度増えて認識します)
 - 18:添付ファイルの拡張子を対象とします。
 - 19:添付ファイルの暗号化を対象とします。
 - 20:添付ファイルのキーワード(添付ファイル内の「テキスト要素」)を対象とします。



12・ 19・ 20【電話番号】、【添付ファイルの暗号化】、【添付ファイルキーワード】の判定基準について

判定基準や対応済みフォーマット等の制限事項について、293ページ:「条件設定の補足」に集約しております。そちらを参照して下さい。

【日付:時間】

メールの送信日時を対象として条件を設定します。

日付·時間	【期間・時間帯】	日付や時刻を入力	%21	【から】 【まで】※22

21:時間を入力します。例)9:00

22: "から"で設定のあと" + "アイコンで"まで"を設定します。

設定した管理者のタイムゾーンでポリシーが適用されます。



注意

「まで」を日付のみで指定した場合、表示上は翌日の 00:00 になります。ご注意下さい。

[例]

ポリシー条件で以下を登録

「2015/06/19」から「2015/06/19」まで

一覧などの表示では「2015/06/19 00:00」から「2015/06/20 00:00」になります。

【件名・本文・添付ファイル】

件名・本文・添付ファイルを一まとめに対象として条件を設定します。



- 10:http(s)://で始まる文字列を検出。
- 11: http(s)://で始まるURLに接続を試み確認します。
- 12: Active gate が持つ電話番号データベースに該当する文字列(電話番号)の件数を検出します。
- 13: Active opte が持つ住所データベースに該当する文字列(住所)の件数を検出します。都道府県のみや市町村名のみを対象とはせず、ある程度連続した住所(都道府県+市町村)を対象とします。
- 14:区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。
- 28:区切り文字はハイフン、スペースを対象としています。また区切り文字が無い場合も対象となります。



XE

12【電話番号】の判定基準について

判定基準や対応済みフォーマット等の制限事項について、293ページ:「条件設定の補足」に集約しております。そちらを参照して下さい。

【スコア】

スコアを対象として条件を設定します。 管理者ポリシー(強制)のみで使用できます。

	スコア	スコア値 ※25	【以上】 【未满】	
L				

25:スコア値を入力します。

3.8.2 「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定

「添付ファイル対象」ポリシーの条件設定は、「添付ファイル対象」ポリシー独自の条件設定になっています。詳細は、前述 163ページ:「添付ファイル対象」を参照して下さい。

【添付ファイル対象】

添付ファイルの条件を設定します。

【添付ファイル名】で条件を設定します。(例:ファイル名にお見積書を含む)

拡張子 添付ファイル名の拡張子を入力 【と一致する】 【と一致しない】

【添付ファイルの拡張子】で条件を設定します。(例:拡張子がpdfと一致する)

サイズ

添付ファイルのサイズを入力

【KBより大きい】
【MBより大きい】
【KB以下】
【MB以下】

【添付ファイルのサイズ (1つずつ)】で条件を設定します。(例:ファイルのサイズが5MBより大きい)

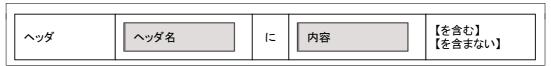
暗号化 【されている】 【されていない】

【暗号化された、又は、暗号化されていない添付ファイル】を条件として設定します。



【添付ファイルの暗号化】について

【添付ファイルの暗号化】につきまして、対応済みフォーマットや制限事項について、293ページ:「条件設定の補足」を参照して下さい。



【メールのヘッダ(添付ファイルパートのヘッダ情報)】で条件を設定します。

	親のヘッダ	親のヘッダ名	1=	内容	【を含む】 【を含まない】
ΙL					

【メールの親のヘッダ(添付ファイルパートの外側のヘッダ情報)】で条件を設定します。

ヘッダ名は例として下記の情報があります。

「ファロは方として下記の日本ののうなす。					
ヘッダ	意味				
Content-Type	文書タイプと文字コードセット				
Content-Description	文書説明				
Content-Disposition	文書表示形式 (inline / attachment)				
Content-ID	文書識別子				
Content-Transfer-Encoding	文書エンコード法				



【ヘッダ名の内容について】

ヘッダの「内容」は、途中でスラッシュ (/) で区切り、MIMEタイプとMIMEサブタイプで設定する事が可能です。MIMEタイプのみの場合、設定されたMIMEタイプ以降を対象とする事が可能です。

(例: ヘッダに Content-Type:application/ を含む場合)

上記設定の場合、application/に該当する全てのMIMEサブタイプが対象となります。

3.9 ポリシーチェイン管理

システム管理者画面:【ポリシー設定 】 ポリシーチェイン管理 】

各権限等の設定ポリシーの集合体をチェインと呼び、このチェイン内の各ポリシーには、優先順位が付けられます。優先順位は、限られた範囲内で任意に設定が可能です。優先度は、「システムポリシー」と「ユーザポリシー」の間で「管理者ポリシー」と「ポリシーグループ」で設定する事が可能です。



******* 大モ

ポリシーチェイン管理

一覧から分かる通り各ポリシーチェインに優先度が設けられています。ユーザの視点 (ユーザポリシー)から見るとユーザポリシーより上位のポリシーは強制的に適用します。ユーザポリシーより下位のポリシーは例外ポリシーや上位のポリシーで適用しない条件の場合、またはユーザポリシー自体を設定していない場合に適用されるポリシーです。

管理者として、強制的に適用させたいポリシーがある場合、ユーザポリシーより上位のポリシーに設定します。ユーザがポリシーを使用しない場合で、強制的ではなく推奨したいポリシーがある場合、ユーザポリシーより下位のポリシーを設定します。この場合ユーザポリシーの方が上位です。ユーザのポリシーを適用し、下位のポリシーを適用しない場合もあります。

【強制ポリシー】

強制的に適用されるポリシーです。

優先度1 システムポリシー (強制):システム全体に強制的に適用される最優先ポリシー

優先度2 管理者ポリシー (強制): システム全体に強制的に適用される優先度の高いポリシー

優先度3 ag99.example.jpグループポリシー:「ドメイン設定」時に自動で登録されたグループ

詳細は、後述 211ページ : 「ドメイン設定後に自動登録されるドメイングループ」を参照して下 さい。

優先度4 POL-Grp1ポリシー:「ポリシーグループ管理」で登録したポリシーグループ

【ユーザのみのポリシー】

設定したユーザにのみ適用されるポリシー

優先度5 ユーザポリシー

【標準ポリシー】

ユーザポリシーを適用しない場合やユーザポリシーを設定していない場合に適用されるポリシー

優先度6 POL-Grp1デフォルトポリシー

優先度7 ag99.example.jpグループポリシー

優先度8 管理者ポリシー(標準)

優先度9 システムデフォルトポリシー

アイコン】

ポリシーチェインの優先度を変更します。「管理者ポリシー(強制)」と「ポリシーグループ」のみ「システムポリシー(強制)」~「ユーザポリシー」までの間変更する事が可能です。

4 ユーザ管理

システム管理者画面:【ユーザ管理】

ユーザ管理メニューでは主に Active gate をご利用されるドメイン及びユーザやグループの設定・管理を行います。

4.1 ドメイン設定

システム管理者画面【ユーザ管理】【ドメイン設定】

Active gate を使用するドメインを登録管理します。 ドメインの登録と同時に各ドメイン毎に配送メールサーバや認証サーバ等を設定します。

ドメイン 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。

ドメイン基本情報



【ドメイン名】
 登録するドメイン名を入力します。
 【配送メールサーバ】
 登録済みの配送メールサーバの中から指定します。
 【SMTP AUTH認証方法 (*1.)】
 SMTP AUTH使用時の認証方法を選択します。
 【PCログイン時のユーザ認証 (*2.)】

パーソナルコントローラへのログイン時に使用する認証方法を選択します。

- (*1.)
 - " ユーザ認証サーバ (IPアドレス: 認証タイプ: プロトコル) " または " パスワード " または " SMTP-AUTH (IPアドレス: 認証タイプ: プロトコル) " を選択した時の画面下部
- (*2.)
- " ユーザ認証サーバ (IPアドレス:認証タイプ:プロトコル)"を選択した時の画面下部



【PCログイン時のユーザ自動登録】

パーソナルコントローラへ設定された認証方法にて、初回ログイン認証時に認証に成功した場 合、ユーザを自動で登録するかしないかの設定を行います。

する 自動登録します。 しない 自動登録しません。

【メール受付時のユーザ自動登録】

メール受付時に「メール受付時のユーザ確認方法」で設定された確認先へユーザの存在を確認 します。この時にご利用される確認方法としてメールのEnvelope-Fromが対象となり存在の 有無を確認します。ユーザが存在する事が確認できた場合、そのユーザを自動で登録するかし ないかの設定を行います。

使用する 自動登録します。 使用しない 自動登録しません。

【メール受付時のユーザ認確認方法】 (8)

メール受付時のユーザを確認する認証サーバを指定します。確認先のサーバ(配送メールサー バ/LDAPサーバ)は事前に登録済みである必要があります。

配送メールサーバ : 登録済みの配送メールサーバを確認先とします。

LDAP : 登録済みのLDAPサーバを確認先とします。

全て登録

:受付けたメールの送信者を全て登録します。(*2.)でパスワードが選択された時のみ表示 配送メールサーバ一覧 🗹

上段で配送メールサーバを選択した場合、登録済みの配送メールサーバがチェック ボックスと共に表示します。その中から選択します。

【パスワード設定メールの配送】

PCログイン時のユーザ認証がパスワードの場合で、メール受付時に自動登録されたユーザに はパスワードがありません。パスワード設定画面のURLが書かれた通知メールを配送する事が できます。

する 自動で通知メールを配信します。 しない 通知メールを配信しません。

【ユーザの存在を確認できなかった場合の動作】

メール受付時のユーザ確認方法で、ユーザの存在確認ができなかった場合の動作を設定します。 ユーザを削除する 存在確認ができなかった場合、登録済みのユーザを自動で削除します。 何もしない 存在確認ができなくても登録も削除もしません。

【未登録ユーザからのメールの処理方法】

未登録ユーザからのメールを受付けた場合の処理を設定します。

送信拒否 未登録ユーザからのメールの受付を拒否します。 何もしない 未登録ユーザからの受付メールをそのまま何もせず送信します。

【ユーザ自動削除】

| 設定期間メールを受付けていない場合、自動でそのユーザを削除します。

登録します。

(更新)ボタン】

一覧から選択した設定内容を更新します。

【キャンセルボタン】

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

(*2.) "パスワード"を選択した時のみ追加表示される設定項目

「バスワード設定メールの配送	್ ಕ್ಷಾ ೧ ∪ಓಬು
	PCログイン時のユーザ認証がパスワードの場合で、メール受付時に自動登録されたユーザにはパスワードがありませんので、パスワード設定画面のURLが書かれた通知メールを配送することが出来ます。

【パスワード設定メールの配送】

メール受付時に自動登録されたユーザにはパスワードがありません。パスワード設定画面のURLが書かれた通知メールを配送する事ができます。

する 配送します。

しない配送しません。

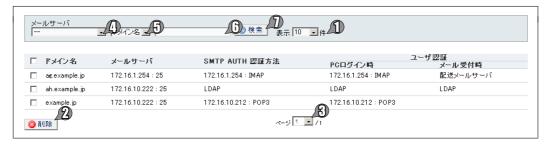
(*1.)(*2.) "LDAP"を選択した時のみ追加表示される設定項目

I DAP ReceDN	
EDNI Dasedin	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

【LDAP BaseDN】

メール受付時のユーザ確認やパーソナルコントローラの認証時、SMTP AUTH認証時にLDAP サーバを使用する場合で、基本設定(LDAPサーバ設定)で登録されたBaseDN以外のものをご利用する場合にチェックボックスのチェックを外し、BaseDNを入力します。

設定一覧 登録されたドメインを一覧で表示します。また登録された時点で、「ドメイン」毎のグループが自動的に作成します。この「ドメイン」毎のグループは「ポリシー設定」 「グループポリシー」にある「対象グループ」にのみ表示します。詳細は、後述 211ページ:「ドメイン設定後に自動登録されるドメイングループ」を参照して下さい。



【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

2 【削除 ボタン】

一覧からドメインを選択して削除を行います。



【 ▼/1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

【検索メニュー】

【メールサーバ】

検索対象とするメールサーバを指定します。

【ドメイン名】

検索対象とするドメインを指定します。

(キーワード欄)

検索対象とするキーワードを入力します。

① 【(検索)ボタン】 検索を実行します。

4.1.1 ドメイン設定後に自動登録されるドメイングループ

システム管理者画面【ポリシー設定】【グループポリシー(強制)又は グループポリシー(標準)】

ドメインを登録し、「設定一覧」に反映された時点で、「ポリシー設定」 「グループポリシー」の「対象グループ」欄に「ドメイン」毎のグループが自動的に表示します。これによりドメイン毎でのポリシーの設定を行う事が可能となります。(下図参照)





「ユーザ管理」 「ポリシーグループ管理」にてドメイン毎のポリシーグループを作成せずとも、上図の様にすぐにドメイン毎でポリシーを作成する事ができます。

また、ドメイン管理者の「管理者ポリシー」はこの「ドメイン」毎のグループを参照します。ドメイン管理者 については「システム設定」 「管理者設定・管理」を参照して下さい。

4.2 シングルサインオン

シングルサインオンの設定を行います。Active open のシングルサインオンでのSAMLは 標準規格 SAML2.0 に準拠しています。

尚、SSO連携時 Active gote はサービスプロバイダ(以下、sp)側となります。連携の際にご利用されるソフトウエア、及びサービスがアイデンティティプロバイダー(以下、IdP)側である事をお確かめの上ご利用下さい。

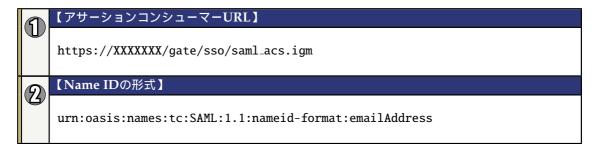


シングルサインオンとは

ユーザが個別に認証情報を管理、複数保有していると「コンピュータのログインの際」、「業務ソフトウェアのログインの際」、「メールアドレスにログインの際」…と、何度も認証作業が必要になります。これでは利用者の負担が大きくなる事、一元管理できない猥雑なセキュリティとなり、好ましくない事態を誘発します。シングルサインオンとは、一度の利用者認証で複数のコンピュータやソフトウェア、サービスなどを利用できるようにする仕組みです。

4.2.1 シングルサインオンの設定(ldp側への設定)

シングルサインオンの設定では、事前にIdp側への設定・登録を行って頂く必要がございます。以下、IdpにActive goteをサービスプロバイダとして登録する為に必要な最低限の情報を記載します。





Idp側でSSO画面が提供されていない場合に、Active of gate側へのシングルサインオンログインの際、以下を使用して下さい。

https://****/gate/pc.igm/saml_login?id=[対象ドメイン]

4.2.2 シングルサインオンの設定(ソフトウエア側への設定) 以下、Active gate 側での設定となります。



【対象ドメイン】

シングルサインオンを行う対象のドメインを選択します。

【サービスプロバイダとして使用】

選択したドメインをサービスプロバイダとして使用するか選択します。

使用する

選択したドメインをサービスプロバイダとして使用します。

使用しない

選択したドメインをサービスプロバイダとして使用しません。

[IdP@EntityID]

IdPのentityIDです。IdPから事前に取得する必要があります。

【IdPへのログインページURL】

サインオンのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。

【IdPへのログアウトページURL】

サインアウトのためのエンドポイントURLです。IdPから事前に取得する必要があります。未登録の場合Active! gateからログアウトしてもIdPからはログアウトされません。 ご注意下さい。

(IdPの証明書)

IdPが署名に使用する公開鍵の証明書です。IdPから事前に取得する必要があります。IdPから受け取ったRSAまたはDSA証明書をアップロードして下さい。

[EntityID]

Active gote 側のentityIDです。IdPに事前に通知しておく必要があります。

【ログアウトの署名】

Active gote から送信された認証要求、ログアウト要求とログアウト応答に署名する必要があるかどうか指定します。事前にIdPに公開鍵を登録する必要があります。

署名する

認証要求、ログアウト要求とログアウト応答に署名します。

署名しない

認証要求、ログアウト要求とログアウト応答に署名しません。

【 OK ボタン】

設定の確定時に実行します。

4.3 DKIM設定

各ドメイン毎にDKIMの公開鍵を発行します。



メモ

DKIMとは

迷惑メールの送信者のアドレスが、ドメイン内のユーザから送った様に偽装されている場合があります。このような偽装を防ぐため、登録されたドメインから送信されたメールのヘッダーにデジタル「署名」を追加します。

Active gote では デジタル署名は DomainKeys Identified Mail (DKIM) 規格に準拠しています。

受信者はドメインの署名を確認する事で、本当にそのドメインからのメールである事、途中で変更されていない事を確認できます。ドメインのドメイン ネーム システム (DNS) レコードに、公開キーを追加します。受信者は、その公開キーを取得して署名を確認する事で、メールの送信元を確認できます。



「対象ドメイン】

DKIMのデジタル署名を発行したいドメインをプルダウンリストから選択します。

2

【公開鍵・秘密鍵】

作成する

公開鍵のDNSレコードを作成します。作成後、下のテキストエリアにDNSレコードが出力されます。また、[作成する]ボタンが[削除する]ボタンに変わります。

削除する

DNSレコードを削除する場合は押下し、削除を行います。DKIM署名を使用しない状態に一度設定してから削除する事をお勧めします。

【公開鍵のDNSレコード】

整形された公開鍵のDNSレコードが出力されます。コピーし、DNSに登録して下さい。DNSの反映まで最大で48時間かかる場合があります。

DNSの状態によっては以下画像の青文字の部分(domainkeyの.以降のドメイン情報)を変更して頂く場合があります。ご確認後の上登録をお願いします。

20141111162309._domainkey.ah10.example.jp IN TXT"v=DKIM1; k=rsa; p=MIGfMA0G ~ 省略~ BSqG"

【DNS確認】

DNS登録後に正しく登録されたかどうかを確認します。DNS反映の確認にご使用下さい。

OKの場合

公開鍵を確認できました。

NGの場合

公開鍵を取得できませんでした。または 公開鍵が正しくありません。

[DKIM署名]

使用する

DKIMのデジタル署名を使用します。[する]を選択し、 (の)が ボタンを押します。 DNS 確認を行い、確認が取れ次第、配送時にDKIM署名を行います。

使用しない

DKIMのデジタル署名を使用しません。デフォルトは[しない]が設定されています。

(OK)ボタン】

DKIM署名の[する][しない]を決定する為に使用します。 設定の反映には画面右上部の [記念] ボタンをクリックする必要があります。



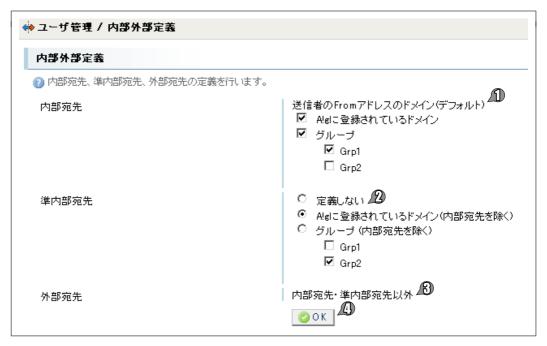
注意

メーリングリストや転送機能を使用した場合、DKIMの認証に失敗する事があります。

4.4 内部外部定義

システム管理者画面:【ユーザ管理 】-【内部外部定義 】

Active gate ではポリシー等の設定において、大別する目的として内部と外部に分けます。この画面では、内部と外部を定義致します。



内部外部定義



【内部宛先】

デフォルトでは送信者のFromアドレスのドメインです。

A!gに登録されているドメイン

Active gate に登録された全てのドメインを内部と定義します。

グループ

登録済みのポリシーグループを選択し対象とします。

2 【準内部宛先】

| 定義しない 準内部の定義を行いません。

Algに登録されているドメイン(内部宛先を除く)

内部宛先を除いた Active gate に登録された全てのドメインを準内部と定義します。

グループ(内部宛先を除く)

内部宛先を除いた登録済みのポリシーグループを選択し対象とします。

8

内部宛先・準内部宛先以外

【OK」ボタン】

【外部宛先】

設定の確定(設定の反映には画面右上部の保護の表現があります。)

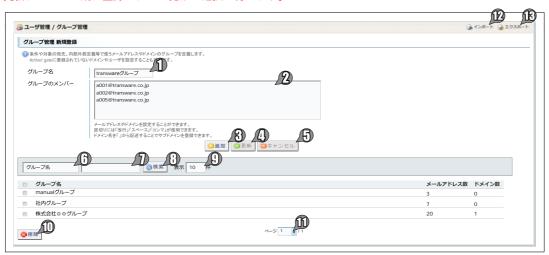
4.5 グループ管理

システム管理者画面:【ユーザ管理 】-【 グループ管理 】

Active gate ではポリシー等の設定において、大別する目的としてグループを作成する事が可能です。この画面では、グループを作成致します。

グループ管理 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。



【グループ名】

登録するグループにグループ名を付けます。

② 【グループのメンバー []】 グループのメンバーを入力します。メールアドレスまたはドメインを入力します。



ヘモ

グループのメンバー の指定方法について

テキストエリアには複数指定可能です。「改行」「スペース」「コンマ」で登録を行います。

例: [user@ah80.example.jp , example2.com , example3.co.jp]

また「@」を含まず「.」から始める事によってドメインを後方一致で指定する事が可能です。 これにより1つの指定で複数のサブドメインを対象とする事ができます。

例: [.example.jp]

上記の場合、ah80.example.jp や ah90.example.jp 等の xxxx.example.jp が対象になります。 この場合、example.jpは含まれません

(追加 ボタン)

登録します。

【更新ポタン】

一覧から選択した設定内容を更新します。

(キャンセルボタン) 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

グループ名 検索対象をグループ名で指定します。 ドメイン 検索対象をドメインで指定します。

メールアドレス 検索対象をメールアドレスで指定します。

1 キーワード欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

(**検索** ボタン) 検索を実行します。

【設定一覧】登録されたグループを一覧で表示します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

「削除」ボタン】

一覧からグループを選択して削除を行います。

11:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合、複数画面となります。

【インポート・エクスポート】

設定されたグループをエクスポートしてSVファイルとして管理したり、

逆にCSVファイルで作成されたグループの情報をインポートし一括で登録を行う事が可能です。

【インポート】

上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成されたグループインポート用のCSVファイルをインポートします。

置き換え/追加

既に設定されているグループのメンバーを変更する場合、「置き換え」を選択して下さい。「置き換え」時には、変更のないグループもファイルに記述されている必要があります。

変更の無いグループを記述してない場合、それは削除の対象となります。ご注意下さい。 グループを「置き換え」で削除する場合、ポリシーの「条件設定」の対象として使用していた際 には削除にはならずエラーを返します。

新たなグループ又はグループのメンバーを追加する場合は「追加」を選択して下さい。

参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートする C S V ファイル を選択できます。

<u>インポートする</u> ボタン 上記で指定したファイルでグループインポートを開始します。

【エクスポート】

登録されたグループをCSVファイルへエクスポートします。

マスティア メモ

【インポートファイル作成について】

インポートファイルを作成する際はメールアドレス または ドメイン、グループ名をそれぞれ半角空白区切りで1行ずつ記述します。グループ名には半角空白が含まれても構いません。

【インポートファイル作成例】

ag_group_info version: 2.1.0

a001@ah80.example.jp example グループ

a002@ah80.example.jp example グループ

a0088@ah99.trans.co.jp 株式会社トランス

a0077@ah99.trans.co.jp 株式会社トランス

:

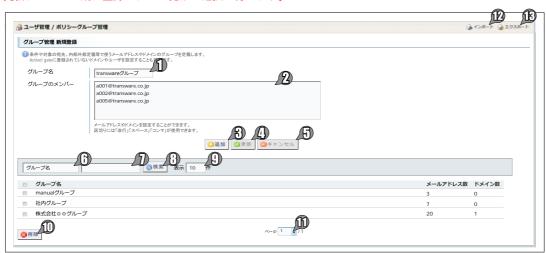
4.6 ポリシーグループ管理

システム管理者画面【ユーザ管理】【ポリシーグループ管理】

Active gate ではポリシーの設定において、大別する目的としてポリシーグループを作成する事が可能で す。送信元のメールアドレスがここで設定したグループのメンバーに含まれる場合、 このグループのポ リシーを適用します。Active qate に登録されているドメインやユーザのみ適用される為、外部のアドレ スの登録はできません。

ポリシーグループ管理 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。



【グループ名】

登録するグループにグループ名を付けます。

【グループのメンバー[]】

グループのメンバーを入力します。ユーザ名(メールアドレス)またはドメインを入力します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入 力に紐付いたユーザが選択できます。

- 【追加ボタン】
- 登録します。 【〔更新〕ボタン】
- -覧から選択した設定内容を更新します。
- 【キャンセル ボタン】 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

【検索対象】 (A)

検索対象をセレクトボックスから選択します。

グループ名 検索対象をグループ名で指定します。 ドメイン 検索対象をドメインで指定します。

メールアドレス 検索対象をメールアドレスで指定します。

【キーワード欄】 検索対象とするキーワードを入力します。

【(検索)ボタン】

検索を実行します。

【設定一覧】登録されたグループを一覧で表示します。

9

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。



【削除ポタン】

一覧からグループを選択して削除を行います。



【 ▼ /1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合、複数画面となります。

【インポート・エクスポート】

設定されたポリシーグループをエクスポートしてSVファイルとして管理したり、

逆にCSVファイルで作成されたポリシーグループの情報をインポートし一括で登録を行う事が可能です。

12

【インポート】

上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成されたポリシーグループインポート用のCSVファイルをインポートします。

置き換え/追加

既に設定されているポリシーグループのメンバーを変更する場合、「置き換え」を選択して下さい。「置き換え」時には、変更のないポリシーグループもファイルに記述されている必要があります。

変更の無いポリシーグループを記述してない場合、それは削除の対象となります。ご注意下さい。

ポリシーグループを「置き換え」で削除する場合、グループ管理の「置き換え」と違い、ポリシーとして使用していた際でもそのポリシーごと削除します。但し、ポリシーグループ管理者を作成 (管理者権限設定・管理にて作成)していた場合、削除にはならずエラーを返します。

新たなポリシーグループを追加する場合、「追加」を選択して下さい。

参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイルを選択できます。

<u>インポートする</u>ボタン 上記で指定したファイルでポリシーグループインポートを開始します。

B

【エクスポート】

登録されたポリシーグループをCSVファイルへエクスポートします。



数 メモ

【インポートファイル作成について】

インポートファイルを作成する際はメールアドレス または ドメイン、ポリシーグループ名をそれぞれ半角空 白区切りで1行ずつ記述します。ポリシーグループ名には半角空白が含まれても構いません。

【インポートファイル作成例】

ag_policy_group_info version: 2.1.0

a001@ah80.example.jp example ポリシーグループ

a002@ah80.example.jp example ポリシーグループ

a003@ah80.example.jp example ポリシーグループ

a0099@ah99.trans.co.jp 株式会社トランス

a0088@ah99.trans.co.jp 株式会社トランス

a0077@ah99.trans.co.jp 株式会社トランス

:

Active gate に登録されているドメインやユーザしか追加できません。

4.7 ユーザ設定

<u>システム管理者画面【ユーザ管理】**【**ユーザ</u>設定】

Active gate を使用するユーザの設定・管理を行います。各ユーザ毎に使用機能を選択して登録します。 ユーザ設定 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。





ユーザIDを入力し@ [DomainName] 部分を選択します。

予め使用するドメインを登録しておく必要があります。

(認証方法)

認証方法を選択します。

予め使用するユーザ認証サーバやLDAPサーバ設定を行っておく必要があります。

【パスワード】

認証サーバを使用しない場合、パスワードを設定します。



認証方式:「パスワード」で設定している場合。

入力できるパスワードの長さ:最低4文字 ~ 最長256文字

使用可能文字列:[0-9][a-z,A-Z]['~!@#\$%^&*()_-+=[{}]|:;'<>,.?/¥"]

確認の為、再度パスワードを入力します。

(

【ユーザ名】

Active gate 内での表示にのみ使用し、実際のメールの内容には影響しません。(但し、承認済定型文で指定した場合を除く)設定は任意で、ユーザ自身で設定・変更が可能です。メールアドレスだけでは分かりにくい場合、設定を行って下さい。

入力できる長さ:最低0文字~最長255文字

【通知メール言語】

送信者(ユーザ)に配送する通知メールのデフォルトの言語を設定します。

「送信者向け言語管理」にて追加した言語が表示されます。詳細は、前述 77ページ:「送信者向け言語管理」を参照して下さい。

自動を選択した場合は各ユーザのパーソナルコントローラログイン時の選択やブラウザの設定 により決定されます。

7

【追加ボタン】

登録します。

【更新」ボタン】

一覧から選択した設定内容を更新します。

(1)

【キャンセル ボタン】

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

M

【検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

ユーザメールアドレス 検索対象をユーザメールアドレスで指定します。

ユーザ名 検索対象をユーザ名で指定します。

1

【キーワード入力欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

മ

【(検索)ボタン】

一覧から入力されたキーワードを使った検索・抽出表示を行います。

【設定一覧】 登録されたユーザを一覧で表示します。

B

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【【削除】ボタン】

一覧からユーザを選択して削除を行います。

Œ

【 ▼/1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

【インポート・エクスポート】

設定されたユーザをエクスポートしてSVファイルとして管理したり、

逆にCSVファイルで作成されたユーザの情報をインポートし一括で登録を行う事が可能です。

【エクスポート】

登録されたユーザをCSVファイルへエクスポートします。



【インポート】

上記でエクスポートされたCSVファイル又は、作成されたユーザインポートのCSVファイ ルをインポートします。

置き換え/追加

既に設定されているリストを置き換えする場合、「置き換え」を選択して下さい。置き 換えの場合、すでに登録されているユーザがインポートファイルに存在してた場合、情 報を上書きします。リストに新たなユーザを追加する場合、「追加」を選択して下さい。 追加の場合、すでに登録されているユーザがインポートファイルに存在してた場合、情 報を上書きしません。

参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイル を選択できます。

(インシホタートする)ボタン 上記で指定したファイルでユーザインポートを開始します。



| メモ

【インポートファイル作成について】

インポートファイルを作成する際は[メールアドレス]、[パスワード]、[ログイン言語の初期値]、[通知メール 言語]、[ユーザ名]をそれぞれ半角空白区切りで1行ずつ記述します。

パスワード認証を使用しない場合はパスワードに「0」を記述して下さい。ログイン言語の初期値は自動選択 の場合「t [true]」、それ以外「f [false]」を記述します。ユーザ名は任意です。ユーザ名には半角空白が含ま れても構いません。通知メール言語を設定しない場合は「0」を記述して下さい。システムのデフォルトで設 定されている言語が設定されます。

【インポートファイル作成例】

taro@example.jp himitsu123 t ja 山田太郎 jiro@example.jp abcdef f en 山本 次郎 saro@example.jp 0 t 0 山本 三郎

登録されていないドメインがファイル内に含まれていた場合、エラーとなり処理が中止します。

5 メ ル一覧

システム管理者画面:【メ ルー覧】

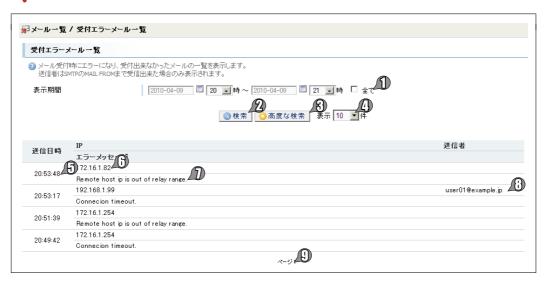
Active gate を使用する送信メールや通知メール・受付エラーとなったメールを確認する事ができます。「メール一覧」の確認画面では、 Active gate により判定された受信エラーメール/送信拒否メール/保留メール/配送メール/通知メールがそれぞれ別々の画面で確認できます。

また「Active gate サーバ設定」の「ログ・メール一覧保存期間」により設定した期間内のメールについては、メール本文を含む全ての情報を Active gate が保持しています。その保存期間内に限りいつでもシステム管理者及びユーザによって確認する事が可能です。

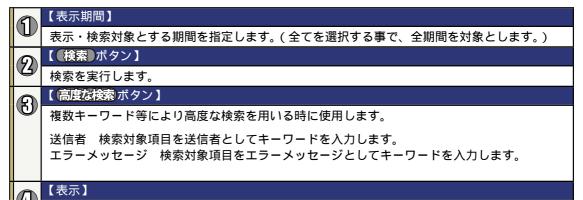
5.1 受付エラーメール一覧

システム管理者画面【メール一覧】【受付エラーメール一覧】

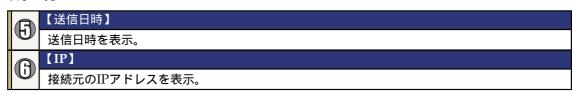
Active gate で送信を行う際に受付エラーとなったメール(接続)を一覧表示します。



表示・検索機能



表示一覧



登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【エラーメッセージ】

____ 接続時のエラー内容を表示。

【送信者】

送信者名を表示。

送信者情報の取得(MAIL FROM)までの間にエラーとなった場合、表示されません。

【 ▼ /1:ページ】

リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動 の際使用します。

「環境設定」の「ページ数表示」で変更できます。

5.2 送信拒否メール一覧

システム管理者画面【メール一覧】【送信拒否メール一覧】

設定された Active gate の送信拒否ポリシーによって送信拒否されたメールの一覧を表示します。



表示・検索機能



表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)

② 【(検索)ボタン】 検索を実行します。

[高度な検索 ボタン]

複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。

送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。

受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。

件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。 ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

【送信日時】

送信日時を表示。

【件名】

件名を表示。

● 受信者名を表示。

【ポリシー】 ポリシーを表示。

かりン とれか

送信者名を表示。

(▼/1:ページ)

┃ リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

「環境設定」の「ページ数表示」で変更できます。

5.3 保留メール一覧

システム管理者画面:【メール一覧 】 【保留メール一覧 】

設定された Active gate の保留ポリシーによって保留されたメールや保留後削除されたメールの一覧を 表示します。ここでの表示は送信者単位です。保留後配送処理されたメールは「配送メール一覧(メー ル別)」または「配送メール一覧(宛先別)」に表示します



表示・検索機能

【表示期間】

表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)

【ステータス】

保留メールのステータスを選択します。

全て 全てを選択。

保留 保留(未確認済み)のみ対象として選択。

保留(配送可能) 保留中で配送が可能なメールのみ対象として選択。

破棄 破棄されたメールを対象として選択。

保留期間経過後削除 保留期間経過後削除機能にて削除されたメールを対象として選択。

【(検索)ボタン】 8

検索を実行します。

【高度な検索ボタン】

複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。

送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。

受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。

件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。

ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。

【表示】 Θ

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

【送信日時】 送信日時を表示。

【件名】

件名を表示。

【受信者】 受信者名を表示。

【ポリシー】

該当したポリシーを表示。

【送信者】

送信者名を表示。

【ステータス】 ステータスを表示。

(強制破棄)ボタン】

管理者画面のみ <u>国制政策</u> ボタンがあり、保留状態のメールに対し管理者側から強制的に破棄する事が可能となります。

ボタンを押下し強制破棄を行った場合、管理者側、パーソナルコントローラ側のステータス欄の下には「管理者名(管理タイプ)」が記載します。 例:admin(システム管理者)

(B) 【 ▼ /1: ページ】

リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

「環境設定」の「ページ数表示」で変更できます。

5.4 承認メール一覧

システム管理者画面【メール一覧】【承認メール一覧】

追加オプション機能「上司承認機能」で使用します。

設定された Active gate の承認ポリシーによって承認されたメールや承認期間経過後削除されたメールの一覧を表示します。



表示・検索機能

【表示期間】

表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)

り【ステータス】

承認メールのステータスを選択します。

全て 全てを選択。

承認待ち 承認待ちのみ対象として選択。

承認作業中 承認作業中のみ対象として選択。

承認済 承認済のみ対象として選択。

差し戻し 差し戻しのみ対象として選択。

承認期間経過後削除 承認期間経過後削除にて削除されたメールを対象として選択。

【(検索)ボタン】

検索を実行します。

/ 複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。

送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。

受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。

件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。

ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。



【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

(b)

【送信日時】

送信日時を表示。



【承認日時】

承認日時を表示。

(B)

【件名】

件名を表示。

(1)

【受信者】

受信者名を表示。

1

【ポリシー】

該当したポリシーを表示。

1

【送信者】

送信者名を表示。

N

【ステータス】

ステータスを表示。

B

【承認者】

承認者を表示。

【(強制承認)ボタン】

管理者画面のみ (重視) ボタンがあり、承認待ち状態のメールに対し管理者側から強制的に 承認済みにする事が可能となります。

ボタンを押下し強制承認を行った場合、管理者側、承認者及び被承認者のパーソナルコントローラ側のステータス欄の下には承認を行った「管理者名(管理タイプ)」が記載します。 例:admin(システム管理者)また承認済み通知メールも同様に「管理者名(管理タイプ)」が記載され通知します。

Œ

【 ▼/1:ページ】

リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動 の際使用します。

「環境設定」の「ページ数表示」で変更できます。

5.5 配送メール一覧 (メール別)

システム管理者画面:【メール一覧 】【配送メール一覧 (メール別)】

Active gate を経由して配送されたメールの一覧を表示します。ここでの表示はメール単位です。 ユーザ登録されていないユーザからのメールは一覧に表示されません。



表示・検索機能

【表示期間】

表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)

(配送状況)

配送状況を選択します。

全て 全てを選択。

配送済 配送済みのメールのみ対象として選択。

配送中 配送中のメールのみ対象として選択。

配送失敗 配送に失敗したメールのみ対象として選択。

(検索)ボタン】

│ 検索を実行します。

【『高度な検索』ボタン】

複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。

送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。

受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。

件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。

ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。

[表示]

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

【送信日時】

送信日時を表示。

(作名)

件名を表示。

【受信者】

受信者名を表示。



配送状況を表示。

【送信者】

送信者名を表示。

10 【 開く ボタン】

クリックする事で、メールの詳細内容(メール詳細画面)を別ウィンドウで表示します。



メモ

次ページにてメール詳細画面の各項目の説明を致します。

リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動 の際使用します。

「環境設定」の「ページ数表示」で変更できます。

5.5.1 メール詳細画面とは

メール詳細画面は宛先別に配送状況の詳細を確認する事ができます。例えば、何らかの理由により宛先へのwebダウンロード通知メールやパスワードを消失されても、こちらの画面で再度確認する事が可能です。また、パスワード通知保留期間の設定により、パスワード通知メールの送信や削除、webダウンロードの有効期限の変更等も行えます。



注意

メール詳細画面はパーソナルコントローラ上から見る「送信後のメール詳細画面」と同一の物となります。 ユーザ側にもダイレクトに反映します。設定の変更や、パスワードの通知を行う際はご注意下さい。

【暗号化/webダウンロード化 処理後に配送されたメール詳細画面例】





メールの件名を表示します。

 \mathfrak{D}^{\perp}

【送信者】

メールの送信者を表示します。

(送信日時)

メールの送信日時(Active gate で受け付けた時刻)を表示します。

【添付ファイル】

各添付ファイルと、各添付ファイルに対しての添付ファイル変換の状態を表示します。 各宛先の状態と合わせて、どの添付ファイルが添付ファイル変換(【添付ファイル暗号化(zip 変換)】や【webダウンロード】)の対象となったかをアイコンにて表示しています。

添付ファイルマーク:
 添付ファイル変換の対象とならず、通常通りメールに添付されている状態を示します。

▶ zipマークのみ:
添付ファイル変換の対象となり、添付ファイル暗号化(zip化)されている状態を示します。

■ webDLマークのみ:
添付ファイル変換の対象となり、webダウンロード化されている状態を示します。

■ zipマーク + webDLマーク:
添付ファイル変換の対象となり、添付ファイル暗号化(zip化) + webダウンロード化されている状態を示します。

【パスワード通知メールについて】

元のメールを送信後にパスワード通知メールを送信するか、破棄(削除)するかを決定できます。

パスワード通知メールを送る:パスワード通知メールを送ります。 パスワード通知メールを送らない:パスワード通知メールが破棄(削除)します。



メモ

この機能は、添付ファイル暗号化機能、又はwebダウンロード機能を使用しており、保留詳細設定部のパスワード通知保留期間を0分以上設定していた場合に出力します。設定した時間までパスワード通知ボタンは出力され、時間経過後は自動でパスワード通知メールを送りボタンは消えます。

宛先別配送状況:宛先別に配送状況を表示します。以下、宛先別配送状況の説明を致します。

◯【最上段の表示】

各宛先の情報を表示します。また各宛先に対しての添付ファイル変換の状態を表示します。 どの宛先が添付ファイル変換(【添付ファイル暗号化(zip変換)】や【webダウンロード】)の 対象となったかをアイコンにて表示しています。

アイコンなし:

その宛先は添付ファイル変換を行っていません。全ての添付ファイルが通常通りメール に添付されている、または元から添付ファイルがない状態を示します。

🖹 zipマークのみ: その宛先は添付ファイル暗号化(zip化)されている状態を示します。

webDLマークのみ: その宛先はwebダウンロード化されている状態を示します。

▶■ zipマーク + webDLマーク : その宛先は添付ファイル暗号化(zip化) + webダウンロード化されている状態を示します。

7 【添付ファイル暗号化設定】

暗号化されたファイルの拡張子やzipして暗号化に関する表示。

○ 【配送ステータス】

配送に関する表示

配送状態 : 配送ステータスを表示します。

配送メッセージ :配送先からのメッセージを表示します。

【配送日時】

配送時刻に関する表示

配送開始 : 配送が開始された日時を表示します。 配送完了 : 配送が完了した時刻を表示します。

【Webダウンロード設定】

webダウンロードに関する設定

有効期限 : webダウンロードが行える有効期限を表示します。 URL通知 : webダウンロードURLの通知方法を表示します。

有効期限変更 ボタン : webダウンロードの有効期限を変更します。

ダウンロードセンターボタン : 各宛先毎のダウンロードセンター画面へ移動します。

【パスワード設定】

パスワードに関する設定

パスワード : 付与されたパスワードを表示します。 ヒント : パスワードのヒントを表示します。

②【添付ファイル】

添付ファイルに関する設定

最下段の表示

:左から「ファイル名」「ファイルサイズ」「ダウンロードが行われた回数」を表示します。

回ックボタン : webダウンロードをロックしてダウンロードできなくします。削除 ボタン :添付ファイル(ダウンロード化されたファイル)を削除します。②の充先の全ファイルを回ックボタン :表示されている全てのファイルを削除します。②の充先の全ファイルを削除がタン :表示されている全てのファイルを削除します。

【閉じるボタン】

画面を閉じます。

5.5.2 送信後メール詳細画面 2

パスワード通知メールの配送後、及びダウンロードURL通知メールを別メールにて配送の場合、各通知メールの配送後に、送信後メール詳細画面に配送された日時を示すステータス欄が追加され確認する事ができます。



注意

こちらの各通知メールのステータス欄が追加された送信後メール詳細画面は、追加される前の画面と同じ画面になります。ここでは各通知メールのステータス欄のみに焦点をあてた説明とします。追加される前の画面説明は前述 [送信後メール詳細画面] を参照して下さい。



【WebダウンロードURL通知配送ステータス】

WebダウンロードURL通知メールの配送に関する表示

配送状態 :配送ステータスを表示します。

配送メッセージ : 配送先からのメッセージを表示します。

2 【WebダウンロードURL通知配送日時】

WebダウンロードURL通知メールの配送時刻に関する表示

配送開始 :配送が開始された日時を表示します。 配送完了 :配送が完了した時刻を表示します。

【パスワード通知配送ステータス】

パスワード通知メールの配送に関する表示

配送状態 :配送ステータスを表示します。

配送メッセージ : 配送先からのメッセージを表示します。

【パスワード通知配送日時】

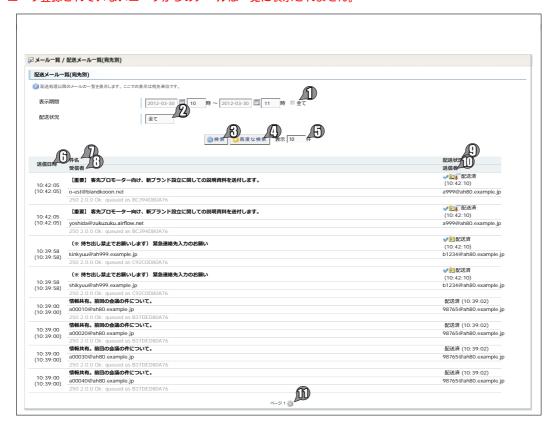
パスワード通知メールの配送時刻に関する表示

配送開始 : 配送が開始された日時を表示します。 配送完了 : 配送が完了した時刻を表示します。

5.6 配送メール一覧(宛先別)

システム管理者画面【メール一覧 】【配送メール一覧 (宛先別)】

Active gate を経由して配送されたメールの一覧を表示します。ここでの表示は宛先単位です。 ユーザ登録されていないユーザからのメールは一覧に表示されません。



表示・検索機能

【表示期間】

表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)

【配送状況】

配送状況を選択します。

全て 全てを選択。

配送済 配送済みのメールのみ対象として選択。

配送中 配送中のメールのみ対象として選択。

配送失敗 配送に失敗したメールのみ対象として選択。

【(検索)ボタン】

検索を実行します。 【『高度な検索』ボタン】

複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。

送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。

受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。

件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。

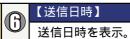
ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。

[表示]

(A)

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧



【件名】

件名を表示。

【受信者】

受信者名を表示。

【配送状況】

配送状況を表示。

【送信者】

送信者名を表示。

【 ▼/1:ページ】 1

リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動 の際使用します。

「環境設定」の「ページ数表示」で変更できます。

5.7 通知メール一覧

システム管理者画面:【メール一覧 】【通知メール一覧

配送処理以降の通知メールの一覧を表示します



表示・検索機能



表示・検索対象とする期間を指定します。(全てを選択する事で、全期間を対象とします。)

【配送状况】

配送状況を選択します。

全て 全てを選択。

配送済 配送済みのメールのみ対象として選択。

配送中 配送中のメールのみ対象として選択。

配送失敗 配送に失敗したメールのみ対象として選択。

【検索がタン】

検索を実行します。

【高度な検索ボタン】

複数キーワード等により高度な検索を用いる時に使用します。

送信者 検索対象項目を送信者としてキーワードを入力します。

受信者 検索対象項目を受信者としてキーワードを入力します。

件名 検索対象項目を件名としてキーワードを入力します。

ドメイン 検索対象を全てのドメインか一部選択したドメインのみかを設定します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧



送信日時を表示。



件名を表示。

【受信者】受信者名を表示。

【配送状況】

配送状況を表示。

【送信者】

/ 送信者名を表示。

【 ▼/1:ページ】

リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動 の際使用します。

「環境設定」の「ページ数表示」で変更できます。

6 システム情報

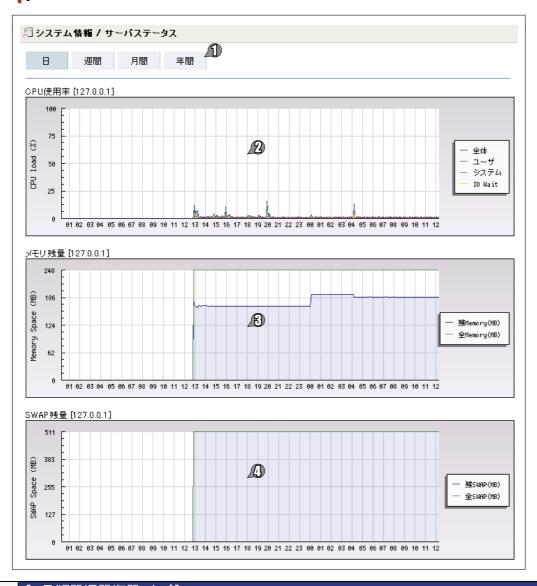
システム管理者画面【システム情報】

システム情報ではサーバリソースの情報を含めアクセス状況等 Active gate の様々な情報を管理します。

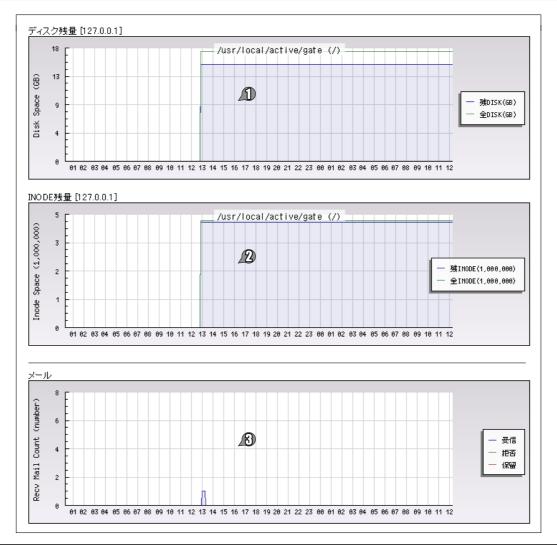
6.1 サーバステータス

システム管理者画面【システム情報】【サーバステータス】

Active gateの稼働状況を表示します。



【<日/週間/月間/年間>タブ】 各期間内でのグラフ表示を切り替えます 【CPU使用率】 CPUのロードアベレージを表示します。 【メモリ残量】 メインメモリの残量を表示します。 【SWAP残量】 SWAP領域の残量を表示します。





Active gate が動作するサーバのディスク領域の残量を表示します。

②【INODE残量】

Active gate が動作するサーバのディスクINODE領域の残量を表示します。

【メール】
 Active gate にて受信したメール数とステータス毎に表示します。

6.2 管理者アクセス状況

システム管理者画面:【システム情報 】【管理者アクセス状況 】

システム管理者画面へのログイン履歴を表示します。

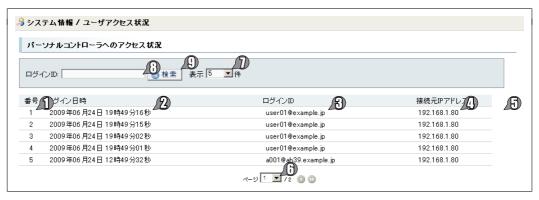


システム管理者画面へのアクセス状況 【表示】 リストの一度に表示される件数を設定します。 【番号】 上から昇順で番号を表示します。 【ログイン日時】 システム管理者画面へのログインを行った日時を表示します。 【ログインID】 ログインを行ったシステム管理者IDを表示します。 【接続元IPアドレス】 (F) ログインを行った接続元のIPアドレスを表示します。 【ログアウト日時】 ログアウトを行った日時を表示します。 回グアウトボタンよりログアウトを行わなかった場合、日時は表示されません。 【 ▼ /1:ページ】 登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合、複数画面となります。この為各画面 への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。 10件以上のリストがある場合、複数ページに分割します。

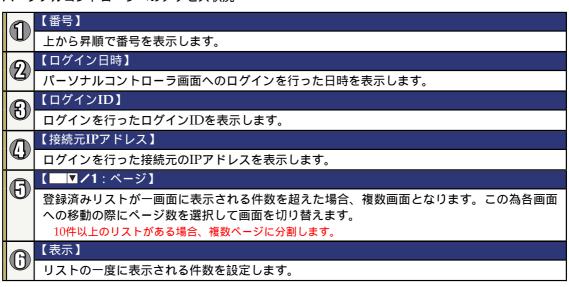
6.3 ユーザアクセス状況

システム管理者画面【システム情報 】【ユーザアクセス状況 】

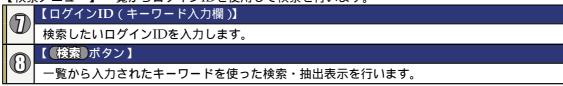
ユーザのパーソナルコントローラへのログイン履歴を表示します。



パーソナルコントローラへのアクセス状況



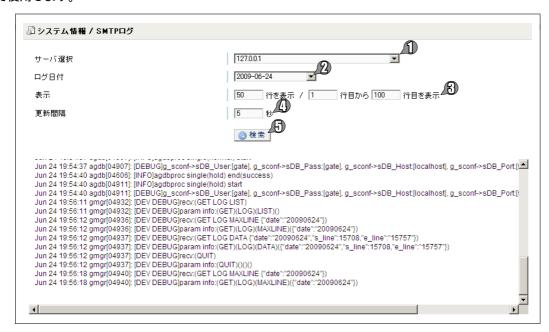
【検索メニュー】一覧からログインIDを使用して検索を行います。



6.4 SMTPログ

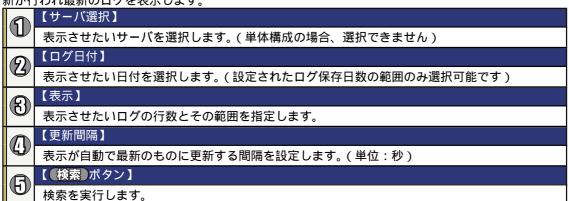
システム管理者画面:【システム情報 】【SMTPログ】

SMTPログは、Active gate の動作ログを表示します。システムのデバッグを行う際に簡易的な方法として使用します。



【検索メニュー】

表示させたいログの日時や行数等から検索します。検索を行わない限り設定された更新間隔にて自動更 新が行われ最新のログを表示します。



6. システム情報 247

6.5 全設定エクスポート

システム管理者画面【システム情報】【全設定エクスポート】

設定情報、ユーザ情報、フィルタ情報を全てエクスポートします。

エクスポートしたデータは、 Active gate を再インストールした時のみインポートする事が可能です。 万が一のシステム障害に備え定期的にエクスポートデータを作成する事をお勧めします。



注意

保留メール等のメール情報、メール本体、統計情報、ログ等のデータはエクスポートされません。



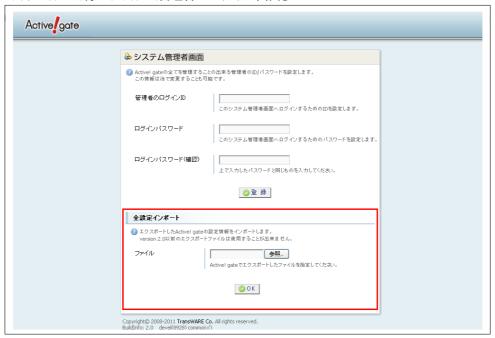
【エクスポート】

エクスポートボタンをクリック後、保存先フォルダを選択しファイルを保存して下さい。

全設定エクスポートファイルのインポート方法 6.6

Active gate を再インストールした際にエクスポートファイルをインポートする方法をご紹介します。

【再インストールした際のシステム管理者のログイン画面】



【全設定インポート】

画面下記の赤枠部が全設定インポートファイルを読み込む画面となります。

ファイル選択ボタンをクリックし、保存先フォルダから全設定エクスポートしたファイルを選択し、 のばがボタンをクリックして下さい。

VERSION 2.0以前のエクスポートファイルは使用する事ができません。

7 統計情報

システム管理者画面:【統計情報】

Active gate で処理されたメールについて、その統計を様々な視点で表示します。



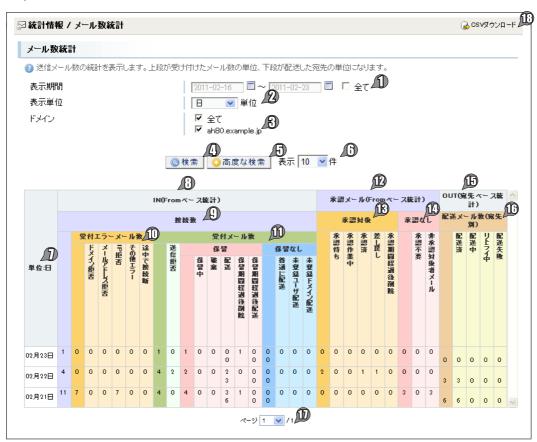
統計情報の【メール数統計】と【送信者別統計】の説明する項目には

追加オプション機能「上司承認オプション」での項目も記載していますが、通常時は表示されません。

7.1 メール数統計

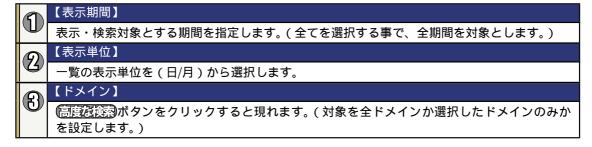
システム管理者画面:【統計情報 】 【メール数統計 】

Active gate が現在までに受付・送信した全ての送信メールについて、その統計を様々な項目に分け表示します。



表示・検索機能

表示・検索機能を使用し、統計を様々な項目に分け表示させる機能です。



【【検索」ボタン】

検索を実行します。

「高度返検索ボタン】

対象ドメインを絞って検索を用いる時に使用します。

[表示]

リストの一度に表示される件数を設定します。

表示一覧

9 【単位】

日または月:日・月毎に区切られ表示します。

【IN (Fromベース統計)】

メール送信に関する各項目別統計

【接続数】

Active gateへのSMTP接続数

【受付エラーメール数】

送信リレーの際に Active gate で受信エラーとなったメール数・SMTP接続数

ドメイン拒否 Fromのドメインが登録されていないドメインからのメール数 メールアドレス拒否 Fromが拒否対象のメール数

IP拒否 送信許可IP範囲外からの接続数

その他エラー その他何らかのエラーで拒否されたメール数

途中で接続断 途中で接続断となった接続数

【受付メール数】

送信リレーの際に Active gate で受信(受付)したメール数

送信拒否 送信拒否ポリシー等で送信拒否されたメール数

保留 保留された全体のメール数

保留中 保留中のメール数

破棄 破棄されたメール数

配送 配送されたメール数「2段目:その内ユーザ数」

保留期間経過後削除 保留期間経過後に削除されたメール数

保留期間経過後配送 保留期間経過後に配送されたメール数「2段目:その内ユーザ数」

保留なし 保留せず "受付けた"全体のメール数「2段目:その内 "宛先数"」

普通に配送 保留ポリシーに該当せず "受付けた" メール数

未登録ユーザ配送 Active gate に未登録のユーザからの送信で "受付けた" メール数

未登録ドメイン配送 Active gate に未登録のドメインからの送信で "受付けた" メール数

【 承認メール (Fromベース統計)】

| 承認メールに関する各項目別統計

【承認対象】

承認対象となった全体のメール数

承認待ち 承認が行われていない承認待ちのメール数

承認作業中 現在承認作業中のメール数

承認済 承認作業が完了し、承認済みとなったメール数

差し戻し 承認作業が完了し、差し戻しとなったメール数

承認期間経過後削除 承認作業が行われず、承認期間経過後に削除されたメール数

(14) 【承認なし】

承認対象外となった全体のメール数

承認不要 承認不要となったメール数

非承認対象者メール 非承認対象者のメール数

【OUT (宛先ベース統計)】

メール配送に関するメールのステータス毎統計(TOベース)

TOベースとはそのメールに含まれる宛先(TO)毎の集計を意味します。

【配送メール数(宛先別)】

配送メールの合計数(TO別)

配送済 配送が完了したメール数(TO別)

配送中 配送中のメール数(TO別)

リトライ中 再配送中のメール数(TO別)

配送失敗 配送が失敗したメール数 (TO別)

1 ▼ /1:ページ】

リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際使用します。

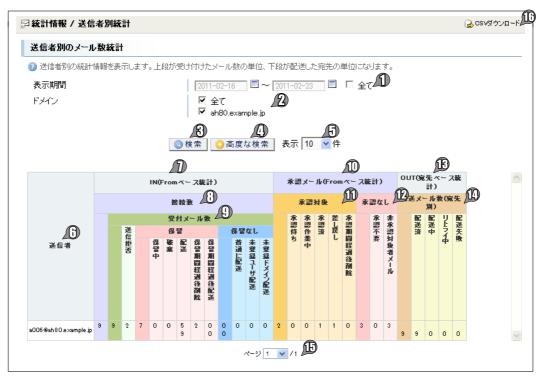
CSV ダウンロード ボタン】

統計データをCSV形式ファイルにてダウンロードする事が可能です。

7.2 送信者別統計

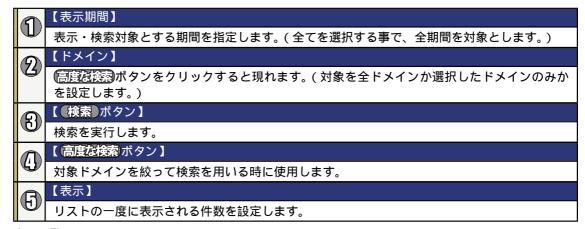
システム管理者画面:【統計情報 】 【送信者別統計】

Active gate が現在までに送信した全ての送信メールについて、送信者毎の統計を様々な項目に分け表示します。未登録ユーザのメールも表示しますが、未登録ドメインのメールは表示されません。

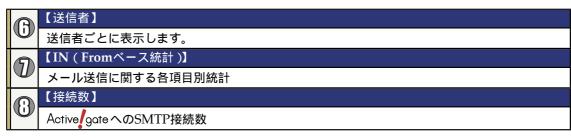


表示・検索機能

表示・検索機能を使用し、統計を様々な項目に分け表示させる機能です。



表示一覧



【受付メール数】

送信リレーの際に Active gote で受信(受付)したメール数

送信拒否 送信拒否ポリシー等で送信拒否されたメール数

保留 保留された全体のメール数

保留中 保留中のメール数

破棄 破棄されたメール数

配送 配送されたメール数「2段目:その内ユーザ数」

保留期間経過後削除 保留期間経過後に削除されたメール数

保留期間経過後配送 保留期間経過後に配送されたメール数「2段目:その内ユーザ数」

保留なし 保留せず "受付けた"全体のメール数「2段目:その内 "宛先数"」

普通に配送 保留ポリシーに該当せず "受付けた" メール数

未登録ユーザ配送 Active gate に未登録のユーザからの送信で "受付けた" メール数

未登録ドメイン配送 Active gate に未登録のドメインからの送信で "受付けた" メール数

【承認メール (Fromベース統計)】

承認メールに関する各項目別統計

【承認対象】

承認待ち 承認が行われていない承認待ちのメール数

承認作業中 現在承認作業中のメール数

承認済 承認作業が完了し、承認済みとなったメール数

差し戻し 承認作業が完了し、差し戻しとなったメール数

承認期間経過後削除 承認作業が行われず、承認期間経過後に削除されたメール数

【承認なし】

承認対象外となった全体のメール数

承認不要 承認不要となったメール数

非承認対象者メール 非承認対象者のメール数

【OUT (宛先ベース統計)】

メール配送に関するメールのステータス毎統計(TOベース)

TOベースとはそのメールに含まれる宛先(TO)毎の集計を意味します。

【配送メール数(宛先別)】

配送メールの合計数 (TO別)

配送済 配送が完了したメール数(TO数)

配送中 配送中のメール数(TO数)

リトライ中 再配送中のメール数(TO数)

配送失敗 配送が失敗したメール数(TO数)

(▼/1: ページ)

リストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。

【CSVダウンロード ボタン】

統計データをCSV形式ファイルにてダウンロードする事が可能です。

8 承認設定

システム管理者画面【承認設定】

ここからは Active gate の追加オプション「上司承認機能」について、承認機能を使用する場合の設定を説明します。



メモ

「上司承認機能」とは

ユーザ(被承認者)が送信したメールの確認や添付ファイルのチェック等を第三者(承認者)に行ってもらう機能で、承認者の承認後にメールを送信させる機能です。上司承認オプションを追加すると、管理者画面、パーソナルコントローラ画面に新たなメニュー「承認設定」や、「承認通知メール管理」、「承認者としての統計情報」等が追加される他、被承認者、代理者、不在代理者の設定、承認に関するポリシー等、様々な設定が可能になります。

8.1 承認者設定

システム管理者画面:【承認設定】 【承認者設定】

Active gate を使用する承認者の設定・管理を行います。各ユーザ毎に使用機能を選択して登録します。



承認者設定 新規登録/更新

更新については既に登録された承認者を一覧から選択し行います。



【承認者】

承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。

オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

②【承認者設定画面】

パーソナルコントローラ画面で承認者設定の画面表示の有無を設定します。「見せる」に設定した場合、その承認者はパーソナルコントローラ側で新たな承認者を設定できます。パーソナルコントローラ側で設定された内容もこの画面に反映します。

見せる パーソナルコントローラ画面で承認者設定の画面を表示させます。 見せない パーソナルコントローラ画面で承認者設定の画面を表示させません。

【追加時の通知メール発送】

承認者として設定するユーザに対し、承認者設定のメールを配信する事ができます。

追加ボタンを押し設定を確定した際に配信します。

配信する 承認者設定のメールを配信します。 配信しない 承認者設定のメールを配信しません。

【 追加 ボタン】

入力した情報を登録します。

[【更新]ボタン】

一覧から選択した設定内容を更新します。

(キャンセルボタン)

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

「検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。

【キーワード欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

【【検索】ボタン】

検索を実行します。

【設定一覧】登録された承認者を一覧で表示します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

「削除」ボタン】

一覧から承認者を選択して削除を行います。

(2)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)
(7)</p

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.2 承認者制限設定

システム管理者画面:【承認設定 】 【承認者制限設定】

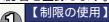
登録できる承認者、代理者、不在代理者を制限する事ができます。

ここで設定をしない場合、全ての登録ユーザを承認者、代理者、不在代理者として設定する事が可能になります。



承認者制限設定 新規登録

承認者を登録します。



承認者制限設定の使用を設定します。

制限する

制限設定を使用します。「制限する」のラジオボタンを選択した場合、すでに承認者設 定の欄で設定されているユーザが存在した場合、自動で設定一覧にインポートします。

制限しない

制限設定を使用しません。「制限しない」のラジオボタンを選択した場合、下記の様な 警告が出力します。



「OK」を選択した場合、設定一覧で設定されている全ての承認者が削除します。

(名)【承認者】

承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。

オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

(OK)ボタン】

画面上の全ての設定した内容を確定させます。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。

【キーワード欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

 【(検索)ボタン】

 検索を実行します。

【設定一覧】登録された承認者を一覧で表示します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【削除ボタン】

│ 一覧から承認者を選択して削除を行います。

【 ▼ /1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合、複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。



不在代理者制限設定 新規登録

不在代理者を登録します。



不在代理者制限設定の使用を設定します。

制限する

制限設定を使用します。「制限する」のラジオボタンを選択した場合、すでに不在代理 者設定の欄で設定されているユーザが存在し、かつそのユーザの不在代理期間の終了日 時が現在時刻より未来だった場合、自動で設定一覧にインポートします。

制限しない

制限設定を使用しません。「制限しない」のラジオボタンを選択した場合、下記の様な 警告が出力します。



「OK」を選択した場合、設定一覧で設定されている全ての不在代理者が削除します。

【不在代理者】

不在代理者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。

オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

(OK ボタン)

画面上の全ての設定した内容を確定させます。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

不在代理者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 不在代理者名 検索対象を承認者名で指定します。

【キーワード欄】

/ 検索対象とするキーワードを入力します。

【 (検索)ボタン】 検索を実行します。

【設定一覧】登録された不在代理者を一覧で表示します。

①【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【削除ボタン】

一覧から承認者を選択して削除を行います。

□【 ▼/1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。



代理者制限設定 新規登録

代理者を登録します。



代理者制限設定の使用を設定します。

制限する

制限設定を使用します。「制限する」のラジオボタンを選択した場合、すでに代理者設定の欄で設定されているユーザが存在した場合、自動で設定一覧にインポートします。

制限しない

制限設定を使用しません。「制限しない」のラジオボタンを選択した場合、下記の様な 警告が出力します。



「OK」を選択した場合、設定一覧で設定されている全ての代理者が削除します。

(代理者)

代理者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。

オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

(の人がタン)

│ 画面上の全ての設定した内容を確定させます。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

代理者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 代理者名 検索対象を承認者名で指定します。

[キーワード欄]

検索対象とするキーワードを入力します。

「日」【(検索)ボタン】

検索を実行します。

【設定一覧】登録された代理者を一覧で表示します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【削除ボタン】

一覧から承認者を選択して削除を行います。

【 ▼/1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

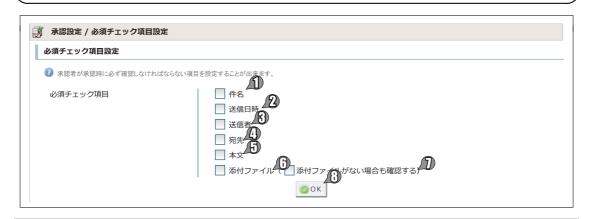
8.3 必須チェック項目

システム管理者画面【承認設定】【必須チェック項目】

承認者が承認作業中、必ず確認しなければならない項目を設定する事ができます。 各項目にはバルーンが表示されバルーン表示内のチェックを行う必要があります。



チェックを入れた項目は必須となり、バルーン表示内の**OK**ボタンを押さない限り承認済みの対象となりません。



- ① 【件名】 承認メールの件名を確認する項目とします。
- ② 【送信日時】 承認メールの送信日時(予約送信日時も含む)を確認する項目とします。
- (送信者)
 送信者を確認する項目とします。
- 【宛先】
- 本文を確認する項目とします。 【添付ファイル】
- 添付ファイルを確認する項目とします。
- (OK)ボタン】 画面上の全ての設定した内容を確定させます。

8.4 承認ポリシー

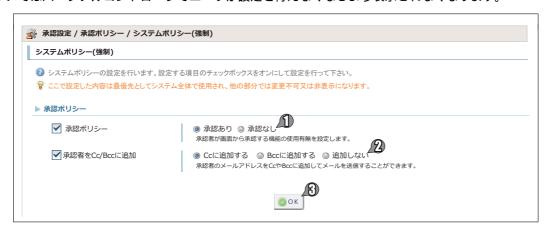
システム管理者画面:【承認設定 】【承認ポリシー】

承認ポリシーと呼ばれる条件の設定を行う事で、承認あり・なしの設定、承認待ち期間や代理者選択機能の設定の他、各種の承認通知メールの配信の設定等様々な機能がご利用可能です。以下に各承認ポリシー設定画面ごとに説明致します。

8.4.1 システムポリシー(強制)

システム管理者画面【承認設定】【承認ポリシー】【システムポリシー(強制)】

システム全体に有効となるポリシーでユーザに強制的に適用されるポリシーです。設定を行った項目についてはパーソナルコントローラでユーザが設定を行えなくなるよう表示されなくなります。



インストール直後は何も設定されていません。各項目の左のチェックボックスにチェックを入れる事によって機 能致します。

【承認ポリシー】

承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。

承認あり 機能を使用します。

承認なし 機能を使用しません。

② 【承認者をCc/Bccに追加】

承認者のメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信する事ができます。この機能は代理者・不在代理者が承認した場合も有効となります。

Ccに追加する Ccに追加し送信します。 Bccに追加する Bccに追加し送信します。 追加しない 承認者をCc/Bccに追加しません

のK ボタン】

画面上の全ての設定した内容を確定させます。

8.4.2 管理者ポリシー(強制)

システム管理者画面:【承認設定 】 【承認ポリシー 】 【管理者ポリシー(強制)】

管理者のみが設定するポリシーでユーザに強制的に適用されるポリシーです。



画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、本マニュアルの各ポリシーの章内での説明 は省略させて頂きます。

【共通設定項目の省略対象となる画面】

承認ポリシー / グループポリシー (強制)

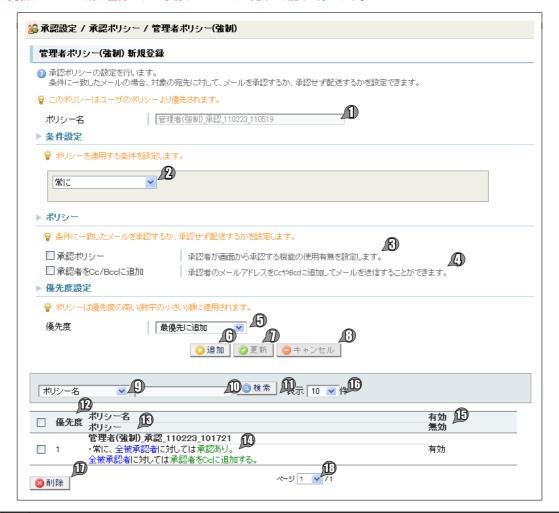
承認ポリシー / 承認者ユーザポリシー

承認ポリシー / グループポリシー (標準)

承認ポリシー/管理者ポリシー(標準)

ポリシー新規登録/更新

更新については既に登録された承認ポリシーを一覧から選択し行います。





【ポリシー名】

ポリシーに名称を付けます。Default表示の名称を変更する場合入力欄をクリックします。



【条件設定】

ポリシーの条件を設定します。詳細は、後述 273パージ:「承認ポリシー条件設定」を参照して下さい。

【承認ポリシー】

承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。

承認あり 機能を使用します。 承認なし 機能を使用しません。

【承認者をCc/Bccに追加】

承認者のメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信する事ができます。この機能は代理者・不在代理者が承認した場合も有効となります。

Ccに追加する Ccに追加し送信します。 Bccに追加する Bccに追加し送信します。 追加しない 承認者をCc/Bccに追加しません

【優先度設定】

登録するポリシーに適用される優先順位を付けます。

最優先に追加 登録するポリシーの優先順位を最優先にします。 最後に追加 登録するポリシーの優先順位を一番最後にします。

[追加 ボタン]

登録します。

77【「更新」ボタン】

一覧から選択したポリシー内容を更新します。

【キャンセルボタン】

│ 設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】 設定したポリシーに対して検索を行います。

(検索対象)

検索対象を指定します。

ポリシー名 検索対象をポリシー名とします。

【キーワード欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

(検索)ボタン 検索を実行します。

【設定一覧】設定したポリシーを表示します。

【優先度】

優先度の表示。

【ポリシー名】

│ ポリシー名の表示。

【ポリシー】

ポリシー内容の表示。 【有効無効】

登録されたポリシーが有効か無効かの表示。

文字にカーソルを合わせクリックする事により、ポリシーの有効/無効を切り替える事が可能です。無効の場合一覧が灰色に表示されます。

【表示】

(F)

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

● 「「削除」ボタン」一覧からポリシーを選択して削除を行います。



【 ▼/1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.4.3 グループポリシー(強制)

システム管理者画面:【承認設定 】-【承認ポリシー 】-【グループポリシー (強制)】

管理者のみが設定するグループを対象としたポリシーです。登録されたグループに所属するユーザには 強制的適用されるポリシーです。



画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、 263ページ:管理者ポリシー(強 制)を参照して下さい。

グループポリシー(強制)画面で「対象グループ」を選択するセレクトボックスからグループを指定した後、 ポリシーを設定する事が可能です。

8.4.4 承認者ユーザポリシー設定

■ システム管理者画面:【承認設定 】【 承認ポリシー 】【 承認者ユーザポリシー 】

各ユーザがパーソナルコントローラを使用して自分だけのポリシーを設定する事ができます。それがこ の承認者ユーザポリシーです。管理者も設定する事が可能な為、システム管理者画面上に設定画面を設 けてあります。



画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、263ページ:管理者ポリシー(強 制)を参照して下さい。

承認者ユーザポリシー画面で「対象ユーザ」を選択するセレクトボックスからユーザを指定した後、ポリシー を設定する事が可能です。

8.4.5 グループポリシー(標準)

■ システム管理者画面:【承認設定 】【 承認ポリシー 】【 グループポリシー (標準)】

管理者のみが設定するグループを対象としたポリシーです。登録されたグループに所属するユーザは ユーザポリシー等で上書きや しないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。ま た、ユーザが何もポリシー設定を行っていない場合も適用されるポリシーとなります。



/と 注意

画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、前述 承認ポリシー/管理者ポリシー(強 制)を参照して下さい。グループポリシー(標準)画面で「対象グループ」を選択するセレクトボックスから グループを指定した後、ポリシーを設定する事が可能です。

8.4.6 管理者ポリシー(標準)

システム管理者画面:【承認設定 】 【承認ポリシー 】 【管理者ポリシー (標準)】

管理者のみが設定するシステム全体を対象としたポリシーです。ユーザは承認者ユーザポリシー等で上 しないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。また、ユーザが何もポリ シー設定を行っていない場合も適用されるポリシーとなります。



画面内の各設定項目・構成については共通する部分となります為、詳細は、263ページ:管理者ポリシー(強 制)を参照して下さい。

8.4.7 システムポリシー(標準)

システム管理者画面:【承認設定】 【承認ポリシー】 【システムポリシー(標準) 】

管理者のみが設定するシステム全体を対象としたポリシーです。ユーザは承認者ユーザポリシー等で上書きや しないポリシーに合致する場合、本ポリシーは適用されません。また、ユーザが何もポリシー設定を行っていない場合も適用されるポリシーとなります。

デフォルト承認者設定



【デフォルト承認者】

承認者、もしくは被承認者として登録されていないユーザのメールを承認する承認者を設定します。

承認ポリシー設定 A認ポリシー 承認ポリシー 承認ポリシー 承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。 承認待ち期間 3 時間 ▼ (5分 ~ 3日) 承認期限までの期間を設定します。規則が経過するとメールはエラーメールとしてバウンスされます。

承認ポリシーの基本的な設定を行います。



【承認ポリシー】

承認者が画面から承認する機能の使用有無を設定します。

承認あり 機能を使用します。 承認なし 機能を使用しません。

 \mathfrak{D}

【承認待ち期間】

送信者(被承認者)が送ったメールを承認するまでの期間の設定を行います。[](分/時間/日)

設定された期間内に承認されなかった場合、メールは承認期間経過後削除となり、エラーメールとして バウンスします。

Cc/Bccポリシー ▶ Cc/Bccポリシー 承認者をCc/Bcclご追加 © Cclご追加する © Bcclご追加する © 追加しない 承認者のメールアドレスをCcやBcclご追加してメールを送信することができます。



【承認者をCc/Bccに追加】

承認者のメールアドレスをCcやBccに追加してメールを送信する事ができます。この機能は代理者・不在代理者が承認した場合も有効となります。

Ccに追加する Ccに追加し送信します。 Bccに追加する Bccに追加し送信します。 追加しない 承認者をCc/Bccに追加しません

承認待ち通知メール

▶ 承認待ち通知メール

承認待ち通知メール (送信者宛) 配信する C 配信しない

メールが承認待ちになった場合、送信者に通知メールを配信することができます。



【承認待ち通知メール(送信者宛)】

メールが承認待ちになった場合、送信者(被承認者)に通知メールを配信する事ができます。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

承認依頼メール ▶ 承認依頼メール ● 配信する ○ 配信しない 承認者宛 承認者が承認作業が必要になった場合に、その承認者に対し承認依頼メールを配信する。といできます。 することができます。 配信する C 配信しない 不在代理者: 代理者宛 不在代理者や代理者が承認作業が必要になった場合に、その不在代理者や代理者に対し承認依頼メールを配信する。 承認者宛 配信する C 配信しない (リマインダーメール) 承認者が承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にその承認者に対しリマイン ダーメールを配信することができま ・配信する へ配信しない 不在代理者: 代理者宛 (リマインダーメール) 不在代理者や代理者が承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にその不在代 理者や代理者に対しリマインダーメールを配信することができます。 分 ▼ (5分~3日) リマインダーの間隔と回数 リマインダー間隔 5 (承認者宛) リマインダー回数 3 承認者に配送するリマインダーの間隔と回数を設定することができます 分 (5分~3日) 6 リマインダーの間隔と回数 リマインダー間隔 5 (不在代理者・代理者宛) リマインダー回数 3 不在代理者や代理者に配送するリマインダーの間隔と回数を設定することができま

承認依頼メールについて基本的な設定を行います。



【承認者宛】

承認者が承認作業が必要になった場合、その承認者に対し承認依頼メールを配信する事ができます。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【不在代理者·代理者宛】

不在代理者や代理者が承認作業が必要になった場合、その不在代理者や代理者に対し承認依頼メールを配信する事ができます。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【承認者宛(リマインダーメール)】

承認者が承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にその承認者に対しリマインダーメール を配信する事ができます。

不在代理者や代理者が承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にその不在代理者や代理者に対しリマインダーメールを配信する事ができます。

(【リマインダーの間隔と回数(承認者宛)】
	上記で設定された承認依頼リマインダーメール(承認者宛) の間隔と回数を設定します。
	リマインダー間隔 [](分/時間/日) リマインダー回数 []
(A)	【リマインダーの間隔と回数(不在代理者・代理者宛)】
	上記で設定された承認依頼リマインダーメール(不在代理者・代理者宛) の間隔と回数を設定 します。
	リマインダー間隔 [](分/時間/日) リマインダー回数 []

代理者選択機能

▶ 代理者選択機能

メールが承認待ちになった後、承認作業が開始されなかった場合、一定時間経過後に送信者が代理者を選択することができます。

承認代理者選択ボタン表示までの期間

15 分 (0分~30分) 代理者選択ボタンを何分後に表示させるかの設定をします。 0分で設定した場合、初めから代理者で収が可能となります。 ● 配信する ○ 配信しない

代理者選択可能通知メール (送信者宛)

代理者が選択可能になった場合、送信者に通知メールを配信することができます。
● 配信する ○ 配信しない

承認権限移動通知メール

承認権限が移動した場合、前の承認担当者に通知メールを配信する事ができます。

メールが承認待ちになった後、承認作業が開始されなかった場合、一定時間経過後に送信者(被承認者)が代理者を選択する事ができます。

【承認代理者選択ボタン表示までの期間】

代理者選択ボタンを何分後に表示させるかの設定を行います。[0分]で設定した場合、初めから 代理者選択が可能となります。

表示までの期間 [](分/時間/日)

【代理者選択可能通知メール(送信者宛)】

代理者が選択可能になった場合、送信者(被承認者)に通知メールを配信する事ができます。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【承認権限移動通知メール】

送信者(被承認者)が代理として別の人を承認担当者に設定した場合、承認権限が移動した事により、直前の承認担当者に通知メールを配送する事ができます。新しく選択された承認担当者への通知は承認依頼メールの設定が使用します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

承認済通知メール



承認済通知メールについて基本的な設定を行います。

【承認担当者宛(承認者が担当の時)】

承認者が承認した場合、承認済みの通知メールをその承認者へ配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【承認担当者宛(不在代理者・代理者が担当の時)】

不在代理者や代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを承認を担当した不在代理者や代 理者へ配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【承認者宛】 **(**K))

不在代理者や代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを元の承認者に配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【送信者宛】

承認済みの通知メールを送信者(被承認者)にも配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

差戻し通知メール

▶ 差戻し通知メール

承認担当者宛

(承認者が担当の時)

承認担当者宛

(不在代理者・代理者が担当の時)

承認者宛

送信者宛

配信する ○ 配信しない

不在代理者や代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを承認を担当した 不在代理者や代理者へ配信しま

配信する ○ 配信しなべ

不在代理者や代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを元の承認者に配

信します。

差戻し通知メールは送信者には標準で送信されます。

差戻し通知メールについて基本的な設定を行います。

【承認担当者(承認者が担当の時)】

承認者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールをその承認者へ配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【承認担当者(不在代理者・代理者が担当の時)】

不在代理者や代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを承認を担当した不在代理者 や代理者へ配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【承認者宛】 **(**K)

不在代理者や代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを元の承認者に配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【送信者宛】

差戻し通知メールは送信者(被承認者)には標準で送信します。

配信する 通知メールを配信します。

承認期間経過通知メール

承認期間経過通知メール

承認担当者宛 (承認者が担当の時)

承認担当者宛

(不在代理者・代理者が担当の時)

承認者宛

送信者宛

配信する ○ 配信しない

承認者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールをその承認者へ配信します。

・配信する C配信しない

不在代理者や代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、 承認期間経過の通知メールをその18年代理者や代理者へ配信します。

配信する ○ 配信しない

不在代理者や代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、 承認期間経過の通知メールを元の承認者に配信します。 配信する

承認期間経過後の通知メールは送信者には標準で送信されます。

承認期間経過通知メールについて基本的な設定を行います。

【承認担当者宛(承認者が担当の時)】

承認者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メール をその承認者へ配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【承認担当者宛(不在代理者・代理者が担当の時)】

不在代理者や代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過 の通知メールをその不在代理者や代理者へ配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【承認者宛】 (片)

不在代理者や代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過 の通知メールを元の承認者に配信します。

配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

【送信者】

承認期間経過後の通知メールは送信者(被承認者)には標準で送信します。

配信する 通知メールを配信します。

承認設定に関する通知メール

▶ 承認設定に関する通知メール

不在期間開始

配信する ○配信しない

不在設定を行った場合、その不在代理者に対し、期間開始の通知メールを配信します。 この設定は設定された不在期間日の初日(午前0時)に配信されます。



承認設定に関する通知メールについて基本的な設定を行います。



【不在期間開始】

不在代理者を設定する不在設定を行った場合、その不在代理者に対し、期間開始の通知メール を配信します。この設定は設定された不在期間日の初日(午前0時)に配信します。

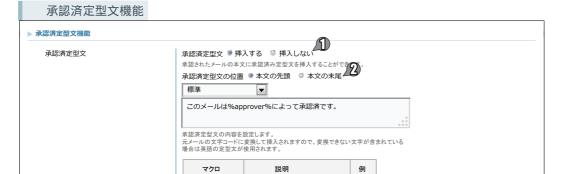
配信する 通知メールを配信します。

配信しない 通知メールを配信しません。

2

【OK」ボタン】

全ての設定の確定(設定の反映には画面右上部の保護を表現であるというでする必要があります。)



承認者のユーザ名

承認者のメールアドレス

承認されたメールの本文に承認済み定型文を挿入する事ができます。



【承認済定型文】

承認済定型文を挿入します。

挿入する 挿入します。条件は下記項目から選択します。

本文の先頭 本文の先頭に挿入します。 本文の末尾 本文の末尾に挿入します。

挿入しない 挿入しません。

2

【承認済定型文の内容】

承認済定型文の内容を設定します。標準/英語から選択します。

%approver%
%email%

元メールの文字コードに変換して挿入されますので、変換できない文字が含まれている場合は 英語の定型文が使用されます。

本文部分 画面の内容で追記します。任意に編集可能です。

8.4.8 承認ポリシー条件設定



各承認ポリシー画面の設定項目「条件設定」は、全て前述の「ポリシー設定」-「条件設定」と共通していま す。紙面の都合上集約して記載致します。詳細は、前述 199ページ:「条件設定」を参照して下さい。



゚メモ

【添付ファイルの暗号化】及び【添付ファイルキーワード】について

「条件設定」にてご説明しています【添付ファイルの暗号化】及び【添付ファイルキーワード】につきまして、 対応済みフォーマットや制限事項について、293ページ:「条件設定の補足」を参照して下さい。

8.5 承認者個別設定

システム管理者画面【承認設定】【承認者個別設定】

承認者個別設定で承認者に紐づく被承認者や不在代理者、代理者等の設定を行います。以下に各設定画面ごとに説明致します。

8.5.1 被承認者管理

システム管理者画面:【承認設定 】-【承認者個別設定 】-【被承認者管理 】

承認者毎の被承認者の設定を行います。ユーザ設定で登録されているユーザの中から被承認者を設定できます。

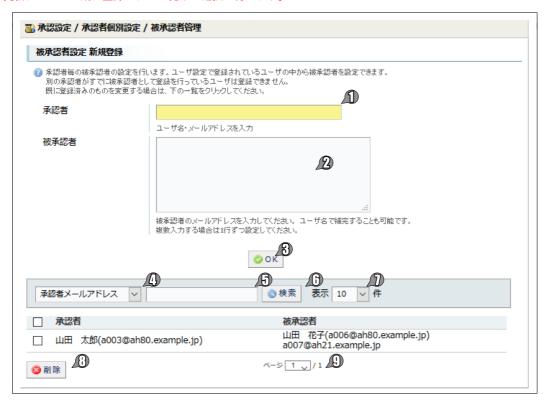


注音

別の承認者がすでに被承認者として登録を行っているユーザは登録できません。

被承認者設定 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。



【承認者】

被承認者と紐付ける承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

2 【被承認者】

承認者と紐付ける被承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

【 OK ボタン】

画面上の全ての設定した内容を確定させます。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。

「キーワード欄】

│ 検索対象とするキーワードを入力します。

 【(検索)ボタン】

 検索を実行します。

【設定一覧】登録された承認者とそれに紐付く被承認者を一覧で表示します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【削除ポタン】

一覧から承認者を選択して削除を行います。

【 ▼ /1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.5.2 不在設定

システム管理者画面【承認設定 】【承認者個別設定 】【不在設定 】

承認者毎の不在代理者の設定を行います。 ユーザ設定で登録されているユーザの中から不在代理者を設定できます。

不在設定 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。



(承認者)

不在代理者と紐付ける承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

2 【不在代理者】

承認者と紐付ける不在代理者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

【不在期間】

承認者に代わり不在代理者が承認者として承認を行う期間を設定します。

カレンダーのアイコンをクリックする事により、日付を選択し、セレクトボックスから時間を選択して下さい

不在期間の設定は同じユーザで複数登録可能ですが、同じ日付、同じ時間帯に不在代理者は複数設定できません。

【追加/更新の時の通知メール発送】

不在代理者として設定するユーザに対し、不在設定のメールを配信する事ができます。 (選加) 又は (更新)ボタンを押し設定を確定した際に配信します。

配信する 不在設定のメールを配信します。 配信しない 不在設定のメールを配信しません。

【追加 ボタン】

入力した情報を登録します。

[更新 ボタン]

一覧から選択した設定内容を更新します。

「キャンセルボタン】

設定変更した内容をキャンセルし元に戻します。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。

【キーワード欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

【(検索)ボタン】検索を実行します。

【設定一覧】登録された承認者と、それに紐付く不在代理者、不在期間を一覧で表示します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

12 「削除」ボタン】

一覧から承認者を選択して削除を行います。

(B) マノ1:ページ】

登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

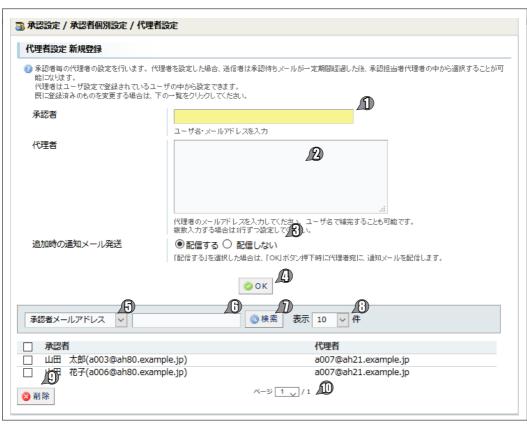
8.5.3 代理者設定

システム管理者画面:【承認設定】 【承認者個別設定】 【代理者設定】

承認者毎の代理者の設定を行います。 代理者を設定した場合、送信者(被承認者)は承認待ちメールが一定期間経過した後、承認担当者代理者の中から選択する事が可能になります。代理者はユーザ設定で登録されているユーザの中から設定できます。

代理者設定 新規登録/更新

更新については既に登録された一覧から選択し行います。



【承認者】 代理者と紐付ける承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入 力に紐付いたユーザが選択できます。 【代理者】 (2) 承認者と紐付ける代理者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入 力に紐付いたユーザが選択できます。 【追加時の通知メール発送】 R 代理者として設定するユーザに対し、代理者設定のメールを配信する事ができます。 ○K ボタンを押し設定を確定した際に配信します。 配信する 代理者設定のメールを配信します。 配信しない 代理者設定のメールを配信しません。 【〇【ボタン】 画面上の全ての設定した内容を確定させます。

【検索メニュー】設定した内容に対して検索を行います。

【検索対象】

検索対象をセレクトボックスから選択します。

承認者メールアドレス 検索対象を承認者メールアドレスで指定します。 承認者名 検索対象を承認者名で指定します。

【キーワード欄】

検索対象とするキーワードを入力します。

【(検索)ボタン】検索を実行します。

【設定一覧】登録された承認者と、それに紐付く代理者を一覧で表示します。

【表示】

登録済みリストの一度に表示される件数を設定します。

【削除ボタン】

一覧から承認者を選択して削除を行います。

① 【 ▼ /1:ページ】

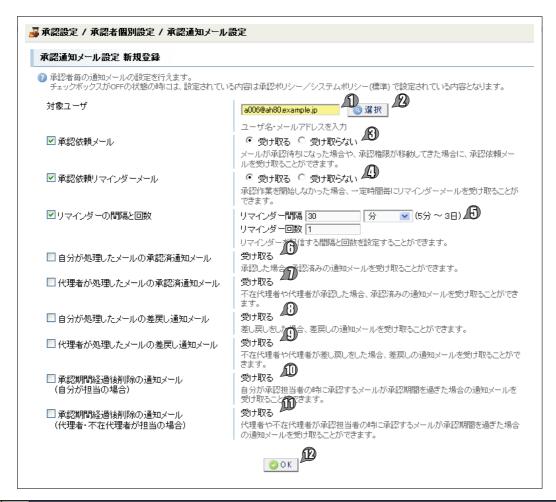
登録済みリストが一画面に表示される件数を超えた場合に複数画面となります。この為各画面への移動の際にページ数を選択して画面を切り替えます。

8.5.4 承認通知メール設定

システム管理者画面:【承認設定】【承認者個別設定】【承認通知メール設定】

承認者毎の通知メールの設定を行います。

パーソナルコントローラ画面でも設定可能で、設定された内容はこちらにも反映され変更も可能です。 チェックボックスがOFFの状態の時には、設定されている内容は承認ポリシー/システムポリシー(標準)で設定されている内容となります。



【対象ユーザ】

下部の設定を行う承認者を設定します。ユーザ名・メールアドレスから選択します。 オートコンプリーション機能が実装されており、ユーザ名・メールアドレスを入力すると自動でその入力に紐付いたユーザが選択できます。

② 【選択 ボタン】

承認者の確定を行います。

既にその承認者が承認通知メール設定を行ってる場合、選択ボタンを押す事で、その承認者で登録されている設定を表示します。

【承認依頼メール】

メールが承認待ちになった場合や、承認権限が移動してきた場合、承認依頼メールを受け取る 事ができます。

受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。

【 承認依頼リマインダーメール 】

承認作業を開始しなかった場合、一定時間毎にリマインダーメールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。

【リマインダーの間隔と回数】

上記で設定された承認依頼リマインダーメールの間隔と回数を設定します。

リマインダー間隔 [](分/時間/日) リマインダー回数 []

【自分が処理したメールの承認済通知メール】

┃ 承認した場合、承認済みの通知メールを受け取る事ができます。

受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。

【代理者が処理したメールの承認済通知メール】

│ 不在代理者 又は 代理者が承認した場合、承認済みの通知メールを受け取る事ができます。

受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。

(自分が処理したメールの差戻し通知メール)

差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを受け取る事ができます。

受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。

【代理者が処理したメールの差戻し通知メール】

不在代理者 又は 代理者が差し戻しをした場合、差戻しの通知メールを受け取る事ができます。 受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。

【 承認期間経過後削除の通知メール (自分が担当の場合)】

自分が承認担当者の時に、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間経過の通知メールを受け取る事ができます。

受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。

【承認期間経過後削除の通知メール(代理者・不在代理者が担当の場合)】

│ 不在代理者 又は 代理者が承認担当者で、承認するメールが承認期間を過ぎた場合、承認期間 │ 経過の通知メールを受け取る事ができます。

受け取る 通知メールを受け取ります。 受け取らない 通知メールを受け取りません。

(OK)ボタン】

画面上の全ての設定した内容を確定させます。

8.6 インポート・エクスポート

システム管理者画面:【承認設定 **】【**インポート・エクスポート】

承認設定で設定された承認者や被承認者をエクスポートしてSVファイルとして管理したり、逆にCSVファイルで作成された承認者、被承認者の情報をインポートし一括で登録を行う設定画面です。



【 承認者エクスポート】

登録された承認者をCSVファイルへエクスポートします。

2 【承認者インポート】

上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成された承認者インポートのCSVファイルをインポートします。

- 参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイル を選択できます。
- ○ ボタン 上記で指定したファイルで承認者インポートを開始します。
- 【承認者・被承認者エクスポート】

┙│登録された承認者・被承認者をCSVファイルへエクスポートします。

上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成された承認者・被承認者インポートのCSVファイルをインポートします。

- 参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートするCSVファイル を選択できます。

【承認者・代理者エクスポート】

登録された承認者・代理者をCSVファイルへエクスポートします。

○ 【承認者・代理者インポート】

上記でエクスポートされたCSVファイル又は、自身で作成された承認者・代理者インポートのCSVファイルをインポートします。

- 参照 参照ボタン 又は フォームエリアをクリックする事で、インポートする C S V ファイル を選択できます。
- ○ 「「「「「「」」」ではで指定したファイルで承認者・代理者インポートを開始します。

8. 承認設定 283



メモ

【承認者インポートファイル作成について】

インポートファイルを作成する際は承認者として設定するメールアドレス、承認者設定画面の公開(0:見せない、1:見せる)をカンマ区切りで1行ずつ記述します。

【インポートファイル作成例】

a001@ah80.example.jp,0 a002@ah80.example.jp,0 a003@ah80.example.jp,1

:



アメモ

【承認者・被承認者インポートファイル作成について】

インポートファイルを作成する際は承認者のメールアドレス、それに紐付く被承認者のメールアドレスをカンマ区切りで1行ずつ記述します。

【インポートファイル作成例】

a001@ah80.example.jp,b011@ah80.example.jp a001@ah80.example.jp,b012@ah80.example.jp a001@ah80.example.jp,b013@ah80.example.jp a002@ah80.example.jp,c021@ah80.example.jp a002@ah80.example.jp,c022@ah80.example.jp a003@ah80.example.jp,d031@ah80.example.jp

T

ダメモ

【承認者・代理者インポートファイル作成について】

インポートファイルを作成する際は承認者のメールアドレス、それに紐付く代理者のメールアドレスをカンマ 区切りで1行ずつ記述します。

【インポートファイル作成例】

a001@ah80.example.jp,b011@ah80.example.jp a001@ah80.example.jp,b012@ah80.example.jp a002@ah80.example.jp,c021@ah80.example.jp a002@ah80.example.jp,c022@ah80.example.jp a003@ah80.example.jp,d031@ah80.example.jp a003@ah80.example.jp,d032@ah80.example.jp

:

付録A

Active gate の運用に際して

Active gate を継続的にご利用頂く際に必要となります、各サービスやログ、バックアップリストア手順について記述致します。

1 サービス起動・停止・稼働確認手順

Active gate はそれぞれ独立したデーモンによって構成されています。 各デーモンの起動手順は以下の通りです、全てrootユーザにて実行します。

下記"起動確認"において子プロセス等複数表示される部分は省略しています。

PostgreSQL (データベース)

- ・起動
- # /etc/init.d/ac_dbpgsql start
- 停止
- # /etc/init.d/ac_dbpgsql stop
- ・稼働確認
- # ps -ef|grep postgres

postgres *** /usr/local/active/common/db/pgsql/bin/postgres -D /usr/local/active/common/db ...

apache (http 画面表示)

- ・起動
- # /etc/init.d/ac_httpd start
- ・停止
- # /etc/init.d/ac_httpd stop
- ・稼働確認
- # ps -ef|grep http

root *** /usr/local/active/common/web/apache/bin/httpd -f /usr/local/active/common/web ...

ac_manager (分散構成用管理デーモン)

- ・起動
- # /etc/init.d/ac_manager start
- ・停止
- # /etc/init.d/ac_manager stop
- ・稼働確認
- # ps -ef|grep ac_manager

root *** /usr/local/active/common/bin/python2.5 -00 /usr/local/active/common/manager ...

agqmaster (メールフィルタリング及びメールキュー)

- # /etc/init.d/ag_qmaster start
- # /etc/init.d/ag_qmaster stop
- ・稼働確認
- # ps -ef|grep agqmaster
- root *** /usr/local/active/gate/ag/bin/agqmaster

agdbproc (データ更新)

- # /etc/init.d/ag_dbproc start
- # /etc/init.d/ac_dbproc stop
- ・稼働確認
- # ps -ef|grep agdbproc
- root *** /usr/local/active/gate/ag/bin/agdbproc -d

soffice (添付ファイルのプレビュー機能)

- # /etc/init.d/ag_soffice start
- # /etc/init.d/ag_soffice stop
- 稼働確認
- # ps -ef|grep soffice
- root *** /usr/local/active/gate/common/libreoffice/program/soffice.bin ...

crond (データ更新等自動実行プログラム)

- # /etc/init.d/crond start
- ・停止
- # /etc/init.d/crond stop
- ・稼働確認
- # ps -ef|grep crond
- root * * * crond

xinetd (スーパーサーバ)

- # /etc/init.d/xinetd start
- # /etc/init.d/xinetd stop

[xinetd 管理下のプログラム]

常にプロセスとして確認できるものではありません。

agmanager (画面からの設定変更等データ更新)

```
・起動
# chkconfig --level 345 agmanager on
・停止
# chkconfig --level 345 agmanager off
・稼働確認
# chkconfig --list agmanager agmanager on
実際にtelnet で接続確認します。
# telnet localhost agmanager quit で終了します。
```

agstatus (システムリソース情報 (サーバステータスメニュー)の更新)

```
・稼働
# chkconfig --level 345 agstatus on
・停止
# chkconfig --level 345 agstatus off
・稼働確認
# chkconfig --list agstatus agstatus on

実際にtelnet で接続確認します。
# telnet localhost agstatus quit で終了します。
```

agsmtp (メールの受付け (SMTP用))

```
・起動
# chkconfig --level 345 agsmtp on
・停止
# chkconfig --level 345 agsmtp off
・稼働確認
# chkconfig --list agsmtp
agsmtp on

実際にtelnet で接続確認します。
# telnet localhost agsmtp
quit で終了します。
```

agmsa (メールの受付け (SMTP_Auth 用))

```
・起動
# chkconfig --level 345 agmsa on
・停止
# chkconfig --level 345 agmsa off
・稼働確認
# chkconfig --list agmsa
agmsa on

実際にtelnet で接続確認します。
SMTP_Auth をご利用している場合に限ります。
# telnet localhost agmsa
quit で終了します。
```

2. ログ概要 288

2 ログ概要

Active gate における動作ログについて説明します。各ログの出力先及びそれぞれの意味は以下の通りです。

2.1 ログの出力先

Active gate の動作ログの出力先は以下2通りから選択する事が可能です。 設定方法は本書<環境設定>を参照して下さい。

ログ(出力先)

ログファイル:ローカルの/usr/local/active/gate/var/logs 及び /usr/local/active/common/var/logs に出

力

Syslog:ローカルの/var/log/maillog に出力

2.2 ログファイルの内容

/usr/local/active/gate/var/logs に出力されるログファイル一覧

activegate-YYYYMMDD.log メールの受配送等含めフィルタ動作や設定変更等、概ね全てのプロセスについて出力します。

web-YYYYMMDD.log

管理者画面・パーゾナルコントローラ動作ログ

/usr/local/active/common/var/logs に出力されるログファイル一覧

apache_access.log, apache_access-YYYYMMDD.log 管理者画面・パーソナルコントローラへのアクセスログ

apache_error.log, apache_error-YYYYMMDD.log 管理者画面・パーソナルコントローラのエラーログ

php_error.log

php エラーログ(status が取得できない等、画面操作によるエラー時に出力)

postgresql-YYYYMMDD.log PostgreSQL の全般的なログ 2. ログ概要 289

2.3 ログレベルの変更方法

Active gate では任意にログ出力レベルの変更が可能です。 設定方法は本書<システム設定> - <環境設定>を参照して下さい。

ログ出力の設定は以下から選択できます。(ログ出力)

強 中 弱 その他

ログ情報の設定は以下の種類から選択できます。(ログ情報設定)

error
warning
mail (メール配送に関するログ)
appv (承認に関するログ)
info
mail_debug (メール配送に関する詳細なログ)
appv_debug (承認に関する詳細なログ)
debug (様々な詳細なログ)
dev_debug (非常に詳細なログ)
notice



メモ

Debug レベルを運用する場合、ディスク容量にご注意下さい。サーバメンテナンス時や前段及び後段MTAを含むメール配送経路等の変更やネットワーク環境のリプレイス等を行う際、または、 Active gate の大幅な設定変更等を行う際にはDebug レベルに変更して行う事を推奨致します。通常運用時の設定値はDefault 値の"15"を推奨しておりますが、ディスクの空き領域が潤沢であればDebug レベルで運用しても問題はありません。

3 バックアップ及びリストア

以下バックアップ、リストア手順に付きましては Active gate サーバ上にて手動で行う方法として記述致します。バックアップ周期や自動化の設定及びリストアの方法等に付きましては、各お客様環境及び運用方針に添った方法を行って下さい。

また、リストアの手順は、バックアップ元と同一サーバ上で、 Active gate の再インストールを行った事を前提に記述致します。

3.1 データベースのバックアップ

データベースのバックアップには、PostgreSQL に付属しているdump コマンドを行う事を前提に、 以下に記述致します。

バックアップコマンド (dumpコマンド)

/usr/local/active/common/db/pgsql/bin/pg_dump -c -U gate > バックアップファイル名

3.2 その他データのバックアップ

下記対象データのバックアップ方法と致しましては、rsync,tar,dd,dump 他、お客様環境及び運用方針に合わせた方法でバックアップを行って下さい。ここではバックアップ対象のみを記載させて頂きます。

【対象ファイル及びディレクトリ】

- ・設定ファイル (環境設定等) /etc/ag.conf
- ・設定ファイル(プログラム参照用設定データ) /usr/local/active/gate/ag/db
- ・保存メールディレクトリ /usr/local/active/gate/data
- ・フィルタリング前及び保留中等処理途中のメールデータディレクトリ/usr/local/active/gate/var/agqueue
- ・DB への更新データディレクトリ /usr/local/active/gate/var/cache
- ・アップデート履歴のバックアップ /usr/local/active/gate/update

3.3 データベースのリストア

新たに再インストールした事を前提で記述致します。

Active gate に関連したPostgreSQL 以外の全てのサービスを停止します。

サービス停止コマンド

- ・apache 停止
- # /etc/init.d/ac_httpd stop
- ・停止確認
- # ps -ef | grep httpd
- ・xinetd 停止
- # /etc/init.d/xinetd stop
- ・停止確認
- # ps -ef | grep xinetd
- ・crond 停止
- # /etc/init.d/crond stop
- # ps -ef | grep crond
- ・qmaster 停止
- # /etc/init.d/ag_qmaster stop
- ・停止確認
- # /etc/init.d/ag_qmaster stop
- ・dbproc 停止
- # /etc/init.d/ag_dbproc stop
- ・停止確認
- # ps -ef | grep agdbproc
- ・soffice 停止
- # /etc/init.d/ag_soffice stop
- ・停止確認
- # ps -ef | grep soffice
- ·manager 停止
- # /etc/init.d/ac_manager stop
- ・停止確認
- # ps -ef | grep manager
- ・PostgreSQL 起動確認
- # ps -ef | grep postgres

データベースのリストアコマンド

- ・リストアコマンド
- # /usr/local/active/common/db/pgsql/bin/psql -e -U gate -f バックアップファイル名 Password for user spam:



パスワードの入力を求められます。setup 時に設定したものを入力(Default Ligate) ERROR が出力されず終了すればリストアが正常に完了です。

3.4 その他データのリストア

リストア時は既存ファイル及びディレクトリを削除またはrename後、同パス上に配置させます。

【対象ファイル及びディレクトリ】

/etc/ag.conf /usr/local/active/gate/ag/db /usr/local/active/gate/data /usr/local/active/gate/var/agqueue /usr/local/active/gate/var/cache /usr/local/active/gate/update

その他データのリストアコマンド

- ・PostgreSQL 起動
- # /etc/init.d/ac_dbpgsql start
- ・起動確認
- # ps -ef | grep postgres
- ・manager 起動
- # /etc/init.d/ac_manager start
- ・起動確認
- # ps -ef | grep manager
- ·soffice 起動
- # /etc/init.d/ag_soffice start
- # ps -ef | grep soffice
- ・qmaster 起動
- # /etc/init.d/ag_qmaster start
- · 起動確認
- # ps -ef | grep qmaster
- ・xinetd 起動
- # /etc/init.d/xinetd start
- ・起動確認
- # ps -ef | grep xinetd
- ・dbproc 起動
- # /etc/init.d/ag_dbproc start
- ・起動確認
- # ps -ef | grep agdbproc
- ・crond 起動
- # /etc/init.d/crond start
- ・起動確認
- # ps -ef | grep crond
- ・apache 起動
- # /etc/init.d/ac_httpd start
- ・起動確認
- # ps -ef | grep httpd



・設定反映

システム管理者画面にログイン後、展り、ボタンを実行します。

4 条件設定の補足

199ページ:「条件設定」についての、いくつかの補足、制限事項をまとめました。

4.1 添付ファイルのキーワード検索について

添付ファイルのキーワード検索では添付ファイル内の「テキスト要素」が対象となります。ヘッダ、フッタ、文書プロパティ情報、Excelのマクロ、htmlのタグ、javascript等のプログラムコードは対象となりません。

また読み取り (文書を開く際の)パスワードを設定している場合も抽出できず対象となりません。予め ご留意下さい。

下記フォーマットに対応済みですが、該当する全てのファイルが抽出可能と判断されるとは限りません。予めご了承下さい。

下記フォーマットに対応済みですが、該当す	「る全てのファイルが抽出可能と判断されるとは限りません。予めご了承下さい。		
アプリケーション	ファイル形式(拡張子)		
TEXT文書	.txt .csv		
Microsoft Office 97 ~ 2003	Word (.doc), Excel (.xls), PowerPoint (.ppt)		
Microsoft Office 2007, 2010, 2013, 2016	Word (.docx) Excel (.xlsx) PowerPoint (.pptx) Excel 2007 (.xlsx) につきましては、「ブックの保護」 「シート構成」にてパスワードを設定された場合、抽出ができません。ご注意下さい。		
Microsoft Office Visio	Visio (.vsd)		
OpenOffice.org 1.x	Writer (.sxw), Calc (.sxc), Impress (.sxi)		
OpenOffice.org 2.x / 3.x	Text (.odt), Spreadsheet (.ods), Presentation (.odp)		
PDF	Adobe Acrobat PDF (.pdf)、Primo PDF (.pdf) PrimoPDFでは「PDFのセキュリティ」、Adobe Acrobat PDFでは「パスワードによるセキュリティ」もしくは「証明書によるセキュリティ」が選択されている場合、読み取り(文書を開く際の)パスワードを設定されてなくても抽出ができません。ご注意下さい。 以下、上記条件に該当するバージョンを列挙致します。 ・Primo PDF:「PDFバージョン1.2」 ・Primo PDF:「PDFバージョン1.3」 ・Primo PDF:「PDFバージョン1.4」 ・Primo PDF:「PDFバージョン1.5」 ・Adobe Acrobat PDF:「Acrobat 3.0 - 40bit RC4」 ・Adobe Acrobat PDF:「Acrobat 5.0 - 128bit RC4」		
	・Adobe Acrobat PDF: 「Acrobat 5.0 - 128bit RC4」 ・Adobe Acrobat PDF: 「Acrobat 6.0 - 128bit RC4」 ・Adobe Acrobat PDF: 「Acrobat 7.0 - 128bit AES」 ・Adobe Acrobat PDF: 「Acrobat X - 256bit AES」 ・JUST PDF 3: 「128bit AES(バージョン 7 以降)」 ・JUST PDF 3: 「256bit AES(バージョン 9 以降)」 ・JUST PDF 3: 「256bit AES(バージョン X 以降)」		
一太郎 (Ver.8 以降)	一太郎Ver8 (.jtd ,.jtdc ,.jtt ,.jttc) 保存時にパスワード設定にて暗号化の方法 (パスワード)を設定 された場合、抽出ができません。ご注意下さい。		
HTML/XML	HTML文書(.html.htm)/XML文書(.xml)/SGML(.sgml)		
各種アーカイバ	各種アーカイバ (.zip ,.gz ,.tar.gz) 各種アーカイバの中に添付されている添付ファイルが対象となります。 各種アーカイバ、および中身の添付ファイルが暗号化されていた場合、抽出ができません。また、「2回zip」等の複数回のアーカイバ方式の場合も抽出対象外となります。ご注意下さい。		

4.2 添付ファイルの暗号化について

zipファイル等のファイル圧縮形式の場合:

ファイル圧縮形式の場合「暗号化されている」と判断されるファイルはMIMEタイプでContent-Type フィールドが「application/x-zip-compressed」や「application/zip」等の場合に暗号化の有無を確認します。

但し、ご利用されるメーラーによってはzipファイルを添付したにも関わらずContent-Typeフィールドが「application/octet」や「application/x-compressed」の場合もあります。その際拡張子が「zip」だった場合、上記同様に暗号化の有無を確認します。

下記フォーマットに対応済みですが、該当する全てのファイルが暗号化されていると判断されるとは限りません。予めご了承下さい。

アプリケーション	ファイル形式 (拡張子)
ZIP	.zip
ZIP (AES128)	.zip
ZIP (AES256)	.zip



メモ

上記以外の圧縮系ファイル形式 例:rar,lzh,bn,bz2,cab,tar,7zip,自己解凍exe は未対応となります。



注意

zipファイル等のファイル圧縮形式の場合、添付させた際のファイルそのものが対象となります。その為中身の暗号化の有無までは特定の範囲に含まれません。暗号化されているファイルをzip変換(passなし)にした場合、暗号化されていないと判断します。ご注意下さい。

Microsoft Office,PDF等の場合:

Microsoft Office製品(Excel,Word,Powerpoint)や、PDF生成アプリケーションソフト(Adobe Acrobat PDF,Primo PDF等)にて、「暗号化されている」と判断されるファイルは、読み取り(文書を開く際の)パスワードを設定している場合に限定します。特にMicrosoft Office製品の「Excel」や「Word」に用いられる「シートの保護」「ブックの保護」「文書の保護」「書式の制限」、PDFでは「権限」や「許可」と呼ばれる設定を行っても暗号化されていると判断されません。ご注意下さい。

下記フォーマットに対応済みですが、該当する全てのファイルが暗号化されていると判断されるとは限りません。予めご了承下さい。

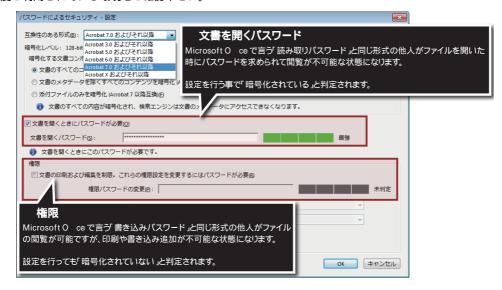
アプリケーション	ファイル形式 (拡張子)		
Microsoft Office 97 ~ 2003	Word (.doc), Excel (.xls), PowerPoint (.ppt)		
Microsoft Office 2007, 2010, 2013, 2016	Word (.docx), Excel (.xlsx), PowerPoint (.pptx)		
PDF	Adobe Acrobat PDF(.pdf) Primo PDF(.pdf) 以下、該当するバージョンを列挙致します。 ・Primo PDF:「PDFバージョン1.2」 ・Primo PDF:「PDFバージョン1.3」 ・Primo PDF:「PDFバージョン1.4」 ・Primo PDF:「PDFバージョン1.5」		
	・Adobe Acrobat PDF:「Acrobat 3.0 - 40bit RC4」 ・Adobe Acrobat PDF:「Acrobat 5.0 - 128bit RC4」 ・Adobe Acrobat PDF:「Acrobat 6.0 - 128bit RC4」 ・Adobe Acrobat PDF:「Acrobat 7.0 - 128bit AES」 ・Adobe Acrobat PDF:「Acrobat X - 256bit AES」 ・JUST PDF 3:「128bit AES(バージョン 7 以降)」 ・JUST PDF 3:「256bit AES(バージョン 9 以降)」 ・JUST PDF 3:「256bit AES(バージョン X 以降)」		



読み取りパスワードの多くは「名前を付けて保存時 ツール 全般オプション 読取パスワード」となっており、ファイルを開いた際にパスワードを聞かれ中身の閲覧が不可能なファイルとなります。書き込みパスワードの場合、ファイルを開いた際にポップアップで注意を喚起させるアプリケーションもありますが、中身の閲覧が可能なファイルとなります。



PDF生成アプリケーションをご利用されているお客様にて「暗号化されている」と判断する場合の設定についてのご質問が多く寄せられます。ここではAdobe Acrobat PDFでのパスワード設定の例を記載致します。一度ご利用されている環境をご確認下さい。



4.3 電話番号の判定基準について

ポリシーの条件に電話番号を指定した場合、下記条件が電話番号とみなします。 全角(2バイト)数字は判定されません。また - (マイナス)区切りが無い場合も電話番号として扱われません。ご注意下さい。

ABCDEFは、0以外の数字が入ります。Xは、0~9の数字が入ります。

電話番号パターン	主に使用している形態
0AB0-DEF-XXX	着信課金用電話番号(0120) 統一番号用電話番号(0570) 情報料代理徴収用電話番号(0990)
0ABCDE-XXXX	固定電話等の電話番号(市外・市内局番 5桁)
0A-BCDE-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番 1桁,市内局番 4桁)
0AB-CDE-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番2桁,市内局番3桁)
0ABC-DE-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番3桁,市内局番2桁)
0ABCD-E-XXXX	固定電話等の電話番号(市外局番 4桁,市内局番 1桁)
0A0-CDEF-XXXX	IP電話の電話番号 (050)
0A00-DEF-XXXX	着信課金用電話番号(0800)
0A0-CDE-XXXXX	携帯
81-XX-XXXX-XXXX	国際電話番号(日本の番号のみ,また数字の先頭に - (マイナス)又は + (プラス)があった場合も該当します。) 81-(上記の電話番号パターンから先頭の「0」を除いた 形式)となります。

付録B

コマンドリファレンス

1 ag_export

Active gateの設定等をエクスポートします。

【書式】

ag_export [options] [ファイル名 | -]

【パラメータ】

【ファイル名】

エクスポートするファイル名を指定します。 省略した場合、all_export.datになります。

[-]

ファイル名の代わりに「-」を指定した場合、ファイルではなく標準出力に出力します。

./ag_export - | ssh xxxx@example.jp '.../ag_export -'

のように使用する事で、別のサーバに設定を移動させる事も可能です。

【オプション】

[-m, - -maildata]

追加でメールデータもエクスポートします。

このデータをインポートした場合、メール一覧やwebdownloadが正しく動作するようになります。

また、メール詳細も表示する事はできますが、メールの配送を行う事はできません。

[-s, - -stat]

追加で統計情報もエクスポートします。

[-q, --mailqueue]

追加でメールキューをエクスポートします。

このデータをインポートした場合、配送中のメールが正しく処理します。古いエクスポートファイルからインポートした場合、古いメールが再び処理される事になります。ご注意下さい。このオプションは、-mオプションと共に使用して下さい。

[--tmpdir=TMPDIR]

一時作業ディレクトリを指定します。通常特に変更する必要はありません。

[-h, - -help]

ヘルプを表示します。

2. AG_IMPORT 300

2 ag_import

Active gateの設定等をインポートします。

【書式】

ag_import [options] [ファイル名 | -]

【パラメータ】

【ファイル名】

インポートするファイル名を指定します。

[-]

ファイル名の代わりに「-」を指定した場合、ファイルではなく標準入力から入力します。

./ag_import - | ssh xxxx@example.jp '.../ag_import -'

のように使用する事で、別のサーバに設定を移動させる事も可能です。

【オプション】

[--tmpdir=TMPDIR]

一時作業ディレクトリを指定します。通常特に変更する必要はありません。

[-h, - -help]

ヘルプを表示します。



Active gate 管理者マニュアル

発行者 ©2008-2016 QUALITIA CO., LTD.

このソフトウエアの仕様、およびマニュアルに記述されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。 本書の無断複写は、著作権上の例外を除いて禁じられています。

(開発元・発売元・お問い合せ先) 株式会社クオリティア 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 PMO日本橋茅場町 URL=http://www.qualitia.co.jp/ eMAIL=active@qualitia.co.jp TEL=03+5623+2530 FAX=03+5623+2535